

第 2 期

さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略

K P I 達成状況調査結果

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI 達成状況調査票（基本目標）

基本目標1 「誰もが生き生きと働くことができる環境をつくる」

目標指標	回答担当課	H30 現状値	最終実績値	R6 目標値
雇用の場の確保と労働環境の充実に対する市民満足度	政策課	△1.8 点 (H29 総計アンケート)	△0.42 点 (R3 総計アンケート)	0.0 点
市内事業所数	政策課	H28 1,971 件	1,954 件 (R3 経済センサス)	1,850 件

基本目標2 「さぬき市への人の流れをつくる」

目標指標	回答担当課	H30 現状値	最終実績値	R6 目標値
社会動態の人口増減数	政策課	△116 人	△197 人 (R7 年 3 月 31 日現在)	△17 人程度
観光地入込客数	商工観光課	384 万 2 千人	411 万 1 千人 (R6 年 12 月 31 日現在)	403 万 0 千人

基本目標3 「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

目標指標	回答担当課	H30 現状値	最終実績値	R6 目標値
年間出生数	国保・健康課	228 人	119 人 (R6 年 12 月 31 日現在)	250 人
児童生徒 1,000 人当たりの不登校児童生徒数	学校教育課	小 7.7 人・中 37.4 人	小 14.0 人 中 54.5 人 (R7 年 3 月 31 日現在)	小 2.4 人・中 26.8 人

基本目標4 「生きがいをもって、安心して住み続けられる地域社会をつくる」

目標指標	回答担当課	H30 現状値	最終実績値	R6 目標値
患者紹介率	市民病院	27.6%	27.7% (R7 年 3 月 31 日現在)	26.6%
要介護認定率	長寿介護課	20.48%	20.5% (R7 年 3 月 31 日現在)	21.9%

目次

基本目標 1 誰もが生き生きと働くことができる環境をつくる

基本施策（1）産業振興、企業誘致等による雇用の場の拡大

地域企業の競争力強化への支援	1
企業誘致の促進	3
生産性を向上させるための設備投資の促進	5
関係機関と連携した創業支援の充実	7

基本施策（3）後継者不足の解消

若者や女性等向けの就職支援活動の強化	15
地域産業を支える若手経営者や技術者などの育成支援	17
農林水産業における後継者育成の支援	19

基本施策（2）農林水産業振興への新たな挑戦

遊休農地活用の促進	9
農作物の産地化に向けた支援	11
水産資源の確保等に向けた支援	13

基本目標 2 さぬき市への人の流れをつくる

基本施策（1）若者などの移住・定住の促進

若者世帯等の定住促進施策の推進（三世代同居等の奨励）	21
住宅建築・購入・リフォーム支援施策の推進	23
空き家の利活用推進と空き家リフォーム支援制度の継続	25
移住ガイドツアーの実施	27
移住体験ハウスの充実	29
田舎暮らしの優位性をPRする取組の強化・推進	31

基本施策（3）地域資源を生かした観光振興と知名度アップ活動

さぬき市に何度も訪れたいくなる着地型旅行商品の開発及び発信	35
滞在型観光・交流の促進	37
さぬき市の魅力発信の強化	39
まちづくり寄附（ふるさと納税）の推進	41

基本施策（2）関係人口の創出に向けた取組の推進

都市部等の人材を活用した地域づくりの推進	33
----------------------	----

基本目標 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本施策（1）結婚・出産・子育て支援

婚活応援事業の支援	4 3
出産の希望をかなえ、子育ての不安を解消する取組の推進	4 5
子ども医療費助成制度の推進	4 7
放課後の居場所づくりの推進	4 9
安心して子育てできる環境づくりの推進	5 1

基本施策（2）働き方改革の推進

ワーク・ライフ・バランスの推進	5 3
事業所等における女性活躍推進の支援	5 5
病児・病後児保育の継続	5 7

基本施策（3）多様性のある人材の育成

ふるさと教育の推進	5 9
ひとりひとりの頑張りを評価する教育の推進	6 1
国際社会を担う子どもたちの育成支援	6 3
地域ぐるみで子どもを育てる体制の整備	6 5

基本目標 4 生きがいをもって、安心して住み続けられる地域社会をつくる

基本施策（1）さぬき市民病院による、健康に暮らし続けるためのサポート

周産期医療の充実	6 7
大川地区小児夜間急病診察室の継続	6 9
救急医療における提供体制の維持	7 1
地域包括ケア病棟の運営	7 3
認知症専門外来の継続	7 5
在宅療養支援の推進	7 7

基本施策（2）高齢になっても安心して暮らせる地域づくり

小さな交流拠点づくり	7 9
高齢者の元気づくり支援(介護予防・日常生活支援総合事業)	8 1
目的に応じて選択できる公共交通の推進	8 3

基本施策（3）災害に強いまちづくり

自主防災組織の訓練支援	8 5
地域防災、減災体制の強化と向上	8 7

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	商工観光課
-----	-------

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	1 誰もが生き生きと働くことができる環境をつくる	(1)産業振興、企業誘致等による雇用の場の拡大	地域企業の競争力強化への支援

【「具体的な施策」に関する取組状況】

R2	予定	・中小企業等振興支援事業補助金(特産品開発・改良)(展示会・商談会出展)の交付 3件	実績	・中小企業等振興支援事業補助金の交付 0件
	評価	・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、展示会への参加がなく、目標値を達成することができなかった。	課題と改善策	・市振興支援事業補助金の補助メニューにおいて支援が可能であることを周知し、同補助金の積極的な活用を促進する。

関連の深い事務事業名	・商工業等活性化支援事業
------------	--------------

R3	予定	・中小企業等振興支援事業補助金(特産品開発・改良)(展示会・商談会出展)の交付 3件	実績	・中小企業等振興支援事業補助金(特産品開発・改良)0件、展示会・商談会出展 1件)
	評価	・事業所訪問やさぬき市商工会との連携により、補助金制度の周知を図った結果、目標値には達していないものの、制度活用に至った点は評価できる。	課題と改善策	・市振興支援事業補助金の補助メニューにおいて支援が可能であることを周知し、同補助金の積極的な活用を促進する。

関連の深い事務事業名	・商工業等活性化支援事業
------------	--------------

R4	予定	・中小企業等振興支援事業補助金(特産品開発・改良)(展示会・商談会出展)の交付 3件	実績	・中小企業等振興支援事業補助金(特産品開発・改良)7件、展示会・商談会出展 0件)
	評価	・事業所訪問やさぬき市商工会との連携により、補助金制度の周知を図った結果、展示会への出店はなかったものの、特産品の開発に活用し、目標を達成することができた。	課題と改善策	・市振興支援事業補助金の補助メニューにおいて支援が可能であることを周知し、同補助金の積極的な活用を促進する。

関連の深い事務事業名	・商工業等活性化支援事業
------------	--------------

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	商工観光課
-----	-------

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	1誰もが生き生きと働くことができる環境をつくる	(1)産業振興、企業誘致等による雇用の場の拡大	地域企業の競争力強化への支援

R5	予定	・中小企業等振興支援事業補助金(特産品開発・改良)(展示会・商談会出展)の交付 3件	実績	・中小企業等振興支援事業補助金(特産品開発・改良)2件、展示会・商談会出展 1件)
	評価	・事業所訪問やさぬき市商工会との連携により、補助金制度の周知を図った結果、目標を達成することができた。	課題と改善策	・市振興支援事業補助金の補助メニューにおいて支援が可能であることを周知し、同補助金の積極的な活用を促進する。
関連の深い事務事業名		・商工業等活性化支援事業		

R6	予定	・中小企業等振興支援事業補助金(特産品開発・改良)(展示会・商談会出展)の交付 3件	実績	・中小企業等振興支援事業補助金(特産品開発・改良)0件、展示会・商談会出展 1件)
	評価	・事業所訪問やさぬき市商工会との連携により、補助金制度の周知を図ったが、特産品開発・改良に該当する者はなく、展示会・商談会出展についても1社のみとなった。	課題と改善策	・市振興支援事業補助金の補助メニューにおいて支援が可能であることを周知し、同補助金の積極的な活用を促進する。
関連の深い事務事業名		・商工業等活性化支援事業		

本施策のKPI	単位		H30現状値	R2	R3	R4	R5	R6	最終年度に対する達成率と評価
市が支援した企業の商品化・販路開拓成約件数(累計) ※中小企業等振興支援事業による支援	件	計画値	—	3	6	9	12	15	
		実績値	制度なし	0	1	8	11	12	
		達成率%	—	0	17	89	92	80	
		評価	—	D	C	B	B	B	

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課 商工観光課

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	1 誰もが生き生きと働くことができる環境をつくる	(1) 産業振興、企業誘致等による雇用の場の拡大	企業誘致の促進

【「具体的な施策」に関する取組状況】

R2	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・県と共に、県外企業の誘致に向けた都市圏でのフェアに出店 大阪市1回 ・助成金等の各種支援制度の説明 2件 ・引き合い企業との相談活動 2件 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・県外企業の誘致に向けた都市圏でのフェア出店 0回 ・各種支援制度の説明 2件 ・引き合い企業との相談活動 4件
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・県外企業の誘致に向けた都市圏でのフェア出店は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により参加できなかった。 ・各種支援制度の説明及び引き合い企業との相談活動については予定を上回った。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大の状況を注視し、県外企業の誘致に向けた都市圏でのフェアへ県と共に出店し、相談活動を実施していく。 ・企業が希望する面積や金額に合致する市有地は稀ではあるが、契約の成立を目指し丁寧な交渉をしていく。

関連の深い事務事業名 ・企業立地推進事業

R3	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・県と共に、県外企業の誘致に向けた都市圏でのフェアに出店 大阪市1回 ・助成金等の各種支援制度の説明 2件 ・引き合い企業との相談活動 2件 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・県外企業の誘致に向けた都市圏でのフェア出店 0回 ・各種支援制度の説明 10件 ・引き合い企業との相談活動 3件 ・新規雇用者数 3社 7人
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・県外企業の誘致に向けた都市圏でのフェア出店は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により参加できなかった。 ・各種支援制度の説明及び引き合い企業との相談活動については予定を上回った。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大の状況を注視し、県外企業の誘致に向けた都市圏でのフェアへ県と共に出店し、相談活動を実施していく。 ・企業が希望する面積や金額に合致する市有地は稀ではあるが、契約の成立を目指し丁寧な交渉をしていく。

関連の深い事務事業名 ・企業立地推進事業

R4	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・県と共に、県外企業の誘致に向けた都市圏でのフェアに出店 大阪市1回 ・相談企業との助成金等の各種支援制度を含めた誘致活動 4件 ・新規雇用者数 10人 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・県外企業の誘致に向けた都市圏でのフェア出店 0回 ・引き合い企業との相談活動 6件 ・新規雇用者数 6社 29人
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・県外企業の誘致に向けた都市圏でのフェア出店は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により参加できなかった。 ・各種支援制度の説明及び引き合い企業との相談活動については予定を上回った。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・香川県企業誘致推進協議会と連携し、県外企業の誘致に向けた都市圏でのフェアへ県と共に出店し、相談活動を実施していく。 ・企業が希望する面積や金額に合致する市有地は稀ではあるが、契約の成立を目指し丁寧な交渉をしていく。

関連の深い事務事業名 ・企業立地推進事業

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	商工観光課
-----	-------

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	1 誰もが生き生きと働くことができる環境をつくる	(1)産業振興、企業誘致等による雇用の場の拡大	企業誘致の促進

R5	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・県と共に、県外企業の誘致に向けた都市圏でのフェアに出店 大阪市1回 ・相談企業との助成金等の各種支援制度を含めた誘致活動 4件 ・新規雇用者数 15人 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・県外企業の誘致に向けた都市圏でのフェア出店 0回 ・引き合い企業との相談活動 9件 ・新規雇用者数 5社 48人
	評価	<p>県外企業の誘致に向けた都市圏でのフェア出店は他業務との関係上見送ったが、各種支援制度の説明及び引き合い企業との相談活動及び新規雇用者数については予定を上回った。</p>	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・香川県企業誘致推進協議会と連携し、県外企業の誘致に向けた都市圏でのフェアへ県と共に出店し、相談活動を実施していく。 ・企業が希望する面積や金額に合致する市有地は稀ではあるが、契約の成立を目指し丁寧な交渉をしていく。
関連の深い事務事業名		・企業立地推進事業		

R6	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・県と共に、県外企業の誘致に向けた都市圏でのフェアに出店 大阪市1回 ・相談企業との助成金等の各種支援制度を含めた誘致活動 4件 ・新規雇用者数 3人 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・県外企業の誘致に向けた都市圏でのフェア出店 0回 ・引き合い企業との相談活動 7件 ・新規雇用者数 1社 7人
	評価	<p>県外企業の誘致に向けた都市圏でのフェア出店は他業務との関係上見送ったが、各種支援制度の説明及び引き合い企業との相談活動及び新規雇用者数については予定を上回った。</p>	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・香川県企業誘致推進協議会と連携し、県外企業の誘致に向けた都市圏でのフェアへ県と共に出店し、相談活動を実施していく。 ・企業が希望する面積や金額に合致する市有地は稀ではあるが、契約の成立を目指し丁寧な交渉をしていく。
関連の深い事務事業名		・企業立地推進事業		

本施策のKPI	単位		H30現状値	R2	R3	R4	R5	R6	最終年度 に対する 達成率と 評価	
企業立地件数 ※助成指定企業の業務開始件数及び市有地等への企業誘致件数 ※H25年度からの累計件数	件	計画値	—	26	28	38	42	44		
		実績値	20	32	36	42	47	48		
		達成率%	—	123	129	111	112	109		109
		評価	—	A	A	A	A	A		A

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	商工観光課
-----	-------

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	1 誰もが生き生きと働くことができる環境をつくる	(1)産業振興、企業誘致等による雇用の場の拡大	生産性を向上させるための設備投資の促進

【「具体的な施策」に関する取組状況】

R2	予定	・企業設備投資額(新規及び変更認定額) 542,182,000円	実績	・企業設備投資額(新規認定) 393,024,000円 ・企業設備投資額(変更認定) 228,979,000円
	評価	・労働力が減少傾向にある中、製造促進のための設備投資により生産性が向上しており、一定の成果があった。	課題と改善策	・新型コロナウイルス感染症拡大状況下において、事業継続や雇用の維持が厳しい中、先端設備等に対する固定資産税の特例の適用期限が2年間延長された。これにより本事業を広く周知し、積極的な活用を促進する。

関連の深い事務事業名	・支出事業なし
------------	---------

R3	予定	・企業設備投資額(新規及び変更認定額) 400,000,000円	実績	・企業設備投資額(新規認定) 264,374,000円 ・企業設備投資額(変更認定) 482,382,000円
	評価	・通常事業の利益減少を補うための売電事業開始や一部事業者において生産需要拡大による設備投資が増え、目標値を上回った。	課題と改善策	・先端設備等導入計画において、事業用家屋と構築物が対象に追加され、期間も令和4年度までに延長されていることを広く周知し、積極的な活用を促進する。

関連の深い事務事業名	・支出事業なし
------------	---------

R4	予定	・企業設備投資額(新規及び変更認定額) 400,000,000円	実績	・企業設備投資額(新規認定) 663,552,000円 ・企業設備投資額(変更認定) 97,313,000円
	評価	・労働力が減少傾向にある中、製造促進のための設備投資により生産性が向上しており、一定の成果があった。	課題と改善策	・先端設備等導入計画において、事業用家屋と構築物が対象に追加され、期間も令和6年度までに延長されていることを広く周知し、積極的な活用を促進する。

関連の深い事務事業名	・支出事業なし
------------	---------

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	商工観光課
-----	-------

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	1誰もが生き生きと働くことができる環境をつくる	(1)産業振興、企業誘致等による雇用の場の拡大	生産性を向上させるための設備投資の促進

R5	予定	・企業設備投資額(新規及び変更認定額) 400,000,000円	実績	・企業設備投資額(新規認定) 546,948,000円 ・企業設備投資額(変更認定) 546,336,000円
	評価	・労働力が減少傾向にある中、製造促進のための設備投資により生産性が向上しており、一定の成果があった。	課題と改善策	・先端設備等導入計画において、事業用家屋と構築物が対象に追加され、期間も令和7年度までに延長されていることを広く周知し、積極的な活用を促進する。
関連の深い事務事業名		・支出事業なし		

R6	予定	・企業設備投資額(新規及び変更認定額) 400,000,000円	実績	・企業設備投資額(新規認定) 147,189,000円 ・企業設備投資額(変更認定) 509,609,000円
	評価	・労働力が減少傾向にある中、製造促進のための設備投資により生産性が向上しており、一定の成果があった。	課題と改善策	・先端設備等導入計画において、事業用家屋と構築物が対象に追加され、期間も令和7年度までに延長されていることを広く周知し、積極的な活用を促進する。
関連の深い事務事業名		・支出事業なし		

本施策のKPI	単位		H30現状値	R2	R3	R4	R5	R6	最終年度 に対する 達成率と 評価
先端設備等導入計画に係る設備投資額 (申請ベース)(累計)	万円	計画値	—	118,000	146,000	290,000	332,500	375,000	
		実績値	56,900	168,526	243,201	319,287	428,615	494,295	
		達成率%	—	143	167	110	129	132	
		評価	—	A	A	A	A	A	

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	商工観光課
-----	-------

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	1誰もが生き生きと働くことができる環境をつくる	(1)産業振興、企業誘致等による雇用の場の拡大	関係機関と連携した創業支援の充実

【「具体的な施策」に関する取組状況】

R2	予定	・創業支援事業計画に基づく創業件数 5件	実績	・創業件数 0件
	評価	・さぬき市商工会主催の創業塾は年5回開催され、受講者は述べ26人であったものの、創業には至らなかった。	課題と改善策	・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により厳しい社会情勢ではあるが、今後もさぬき市商工会と連携し、創業に至る問題解決や事業計画策定など支援体制整備の充実を図る。

関連の深い事務事業名	・商工業振興事業
------------	----------

R3	予定	・創業支援事業計画に基づく創業件数 5件	実績	・創業件数 0件 (創業融資相談件数 2～3件)
	評価	・さぬき市商工会主催の創業塾は年5回開催され、受講者は述べ8人と前年度より減少している。	課題と改善策	・コロナ禍の影響により厳しい社会情勢が続いているが、今後もさぬき市商工会と連携し、創業に至る問題解決や事業計画策定など支援体制整備の充実を図っていく。

関連の深い事務事業名	・商工業振興事業
------------	----------

R4	予定	・創業支援事業計画に基づく創業件数 5件	実績	・創業件数 3件
	評価	・さぬき市商工会主催の創業塾は年5回開催され、受講者は述べ8人と前年度と同数であった。	課題と改善策	・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により厳しい社会情勢ではあるが、今後もさぬき市商工会と連携し、創業に至る問題解決や事業計画策定など支援体制整備の充実を図る。

関連の深い事務事業名	・商工業振興事業
------------	----------

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	商工観光課
-----	-------

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	1誰もが生き生きと働くことができる環境をつくる	(1)産業振興、企業誘致等による雇用の場の拡大	関係機関と連携した創業支援の充実

R5	予定	・創業支援事業計画に基づく創業件数 5件	実績	・創業件数 5件
	評価	・さぬき市商工会主催の創業塾は全6回開催され、受講者は述べ14人と前年度より増加している。	課題と改善策	・新型コロナウイルス感染症が5類となって以降、創業の相談も増加傾向にある。変わらず厳しい社会情勢ではあるが、今後もさぬき市商工会と連携し、創業に至る問題解決や事業計画策定など支援体制整備の充実を図る。
関連の深い事務事業名		・商工業振興事業		

R6	予定	・創業支援事業計画に基づく創業件数 5件	実績	・創業件数 6件
	評価	・さぬき市商工会主催の「さぬき創業塾」は全6回開催され、受講者は延べ15人であった。他にも個別指導事業への参加者が2名と、前年度より増加している。	課題と改善策	・創業に関する相談は増加傾向にある。変わらず厳しい社会情勢ではあるが、今後もさぬき市商工会と連携し、創業に至る問題解決や事業計画策定など支援体制整備の充実を図る。
関連の深い事務事業名		・商工業振興事業		

本施策のKPI	単位		H30現状値	R2	R3	R4	R5	R6	最終年度に対する達成率と評価
創業支援事業計画に基づく創業件数 ※商工会支援実績	件	計画値	—	8	8	3	3	3	
		実績値	7	0	0	3	5	6	
		達成率%	—	0	0	100	167	200	
		評価	—	D	D	A	A	A	

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	1 誰もが生き生きと働くことができる環境をつくる	(2) 農林水産業振興への新たな挑戦	遊休農地活用の促進

【「具体的な施策」に関する取組状況】

R2	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・遊休農地の再活用と雇用の創出につなげるため、農地利用状況調査をもとに農業委員会による調査、指導の徹底 ・市遊休農地活用事業等を利用した、遊休農地活用の推進 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・現地調査 令和2年8月から10月 総勢51名 ・さぬき市遊休農地活用事業補助金交付要綱に基づき、農業者6経営体が事業実施
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化や人口減少により、耕作放棄地が増加しているが、担い手農家が当事業を活用し、遊休農地を再生することで、その活用に繋がっている。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・実績額(再生面積)を増やしていくことが課題であり、担い手農家等に対し、広報活動をさらに充実させることで、事業の認知度を向上させ、積極的に活用してもらうよう努めていく。

関連の深い事務事業名 ・農業委員会交付金事業 ・耕作放棄地対策事業

R3	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・遊休農地の再活用と雇用の創出につなげるため、農地利用状況調査をもとに農業委員会による調査、指導の徹底 ・市遊休農地活用事業等を利用した、遊休農地活用の推進 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・現地調査 令和3年8月から10月 総勢50名 ・さぬき市遊休農地活用事業補助金交付要綱に基づき、農業者2経営体が事業実施
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化や人口減少により、耕作放棄地が増加しているが、担い手農家が当事業を活用し、遊休農地を再生することで、その活用に繋がっている。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・実績額(再生面積)を増やしていくことが課題であり、担い手農家等に対し、広報活動をさらに充実させることで、事業の認知度を向上させ、積極的に活用してもらうよう努めていく。

関連の深い事務事業名 ・農業委員会交付金事業 ・耕作放棄地対策事業

R4	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・遊休農地の再活用と雇用の創出につなげるため、農地利用状況調査をもとに農業委員会による調査、指導の徹底 ・市遊休農地活用事業等を利用した、遊休農地活用の推進 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・現地調査 令和4年8月から10月 総勢49名 ・さぬき市遊休農地活用事業補助金交付要綱に基づき、農業者6経営体が事業実施。
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化や人口減少により、耕作放棄地が増加しているが、担い手農家が当事業を活用し、遊休農地を再生することで、その活用に繋がっている。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・実績額(再生面積)を増やしていくことが課題であり、担い手農家等に対し、広報活動をさらに充実させることで、事業の認知度を向上させ、積極的に活用してもらうよう努めていく。

関連の深い事務事業名 ・農業委員会交付金事業 ・耕作放棄地対策事業

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課 農業委員会事務局・農林水産課

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	1 誰もが生き生きと働くことができる環境をつくる	(2) 農林水産業振興への新たな挑戦	遊休農地活用の促進

R5	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・遊休農地の再活用と雇用の創出につなげるため、農地利用状況調査をもとに農業委員会による調査、指導の徹底 ・市遊休農地活用事業等を利用した、遊休農地活用の推進 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・現地調査 令和5年8月から10月 総勢50名 ・さぬき市遊休農地活用事業補助金交付要綱に基づき、農業者8経営体が事業実施。
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化や人口減少により、耕作放棄地が増加しているが、担い手農家が当事業を活用し、遊休農地を再生することで、その活用に繋がっている。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・実績額(再生面積)を増やしていくことが課題であり、担い手農家等に対し、広報活動をさらに充実させることで、事業の認知度を向上させ、積極的に活用してもらうよう努めていく。

関連の深い事務事業名 ・農業委員会交付金事業 ・耕作放棄地対策事業

R6	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・遊休農地の再活用と雇用の創出につなげるため、農地利用状況調査をもとに農業委員会による調査、指導の徹底 ・市遊休農地活用事業等を利用した、遊休農地活用の推進 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・現地調査 令和6年9月から10月 総勢48名 ・さぬき市遊休農地活用事業補助金交付要綱に基づき、農業者7経営体が事業実施。
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化や人口減少により、耕作放棄地が増加しているが、担い手農家が当事業を活用し、遊休農地を再生することで、その活用に繋がっている。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・実績額(再生面積)を増やしていくことが課題であり、担い手農家等に対し、広報活動をさらに充実させることで、事業の認知度を向上させ、積極的に活用してもらうよう努めていく。

関連の深い事務事業名 ・農業委員会交付金事業 ・耕作放棄地対策事業

本施策のKPI	単位		H30現状値	R2	R3	R4	R5	R6	最終年度に対する達成率と評価
遊休農地活用事業で再生した農地面積 ※H28からの累計面積	ha	計画値	—	1.50	2.00	8.00	9.00	10.00	
		実績値	0.50	1.23	5.00	8.00	10.34	12.30	
		達成率%	—	82	250	100	115	123	123
		評価	—	B	A	A	A	A	A

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	農林水産課
-----	-------

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	1 誰もが生き生きと働くことができる環境をつくる	(2) 農林水産業振興への新たな挑戦	農作物の産地化に向けた支援

【「具体的な施策」に関する取組状況】

R2	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・県や農協と連携し、市内農産品に消費者ニーズに合わせた付加価値をつけるための生産活動の支援 ・トップセールスによる大消費地へのPR活動の継続 ・農業者に対する6次産業化への取組支援 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市長によるトップセールス 高松市のマルナカ栗林南店1回
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニマートの販売促進を図り、農産物の産地化を促進するためのトップセールス活動を通して、市外の住民に対する市内農産物のPR及び販売額の向上につながった。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・トップセールスによるPR活動は、ミニマートを中心に実施しているが、複数種類の農産物についての販売促進活動の実施が課題である。 ・トップセールスを通じて、市内農産物のPR活動を推進し、生産拡大や農業者の所得向上に努めていく。

関連の深い事務事業名	・農業振興事業
------------	---------

R3	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・県や農協と連携し、市内農産品に消費者ニーズに合わせた付加価値をつけるための生産活動の支援 ・トップセールスによる大消費地へのPR活動の継続 ・農業者に対する6次産業化への取組支援 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市長によるトップセールス 高松市の新鮮市場きむら太田本店1回
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニマートの販売促進を図り、農産物の産地化を促進するためのトップセールス活動を通して、市外の住民に対する市内農産物のPR及び販売額の向上につながった。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・トップセールスによるPR活動は、ミニマートを中心に実施しているが、複数種類の農産物についての販売促進活動の実施が課題である。 ・トップセールスを通じて、市内農産物のPR活動を推進し、生産拡大や農業者の所得向上に努めていく。

関連の深い事務事業名	・農業振興事業
------------	---------

R4	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・県や農協と連携し、市内農産品に消費者ニーズに合わせた付加価値をつけるための生産活動の支援 ・トップセールスによる大消費地へのPR活動の継続 ・農業者に対する6次産業化への取組支援 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、店頭での販売促進活動を行うことが困難であったため、活動実績はなし。
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、店頭での販売促進活動を行うことが困難であったため、活動実績はなし。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・トップセールスによるPR活動は、ミニマートを中心に実施しているが、複数種類の農産物についての販売促進活動の実施が課題である。 ・トップセールスを通じて、市内農産物のPR活動を推進し、生産拡大や農業者の所得向上に努めていく。

関連の深い事務事業名	・農業振興事業
------------	---------

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	農林水産課
-----	-------

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	1 誰もが生き生きと働くことができる環境をつくる	(2) 農林水産業振興への新たな挑戦	農作物の産地化に向けた支援

R5	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・県や農協と連携し、市内農産品に消費者ニーズに合わせた付加価値をつけるための生産活動の支援 ・トップセールスによる大消費地へのPR活動の継続 ・農業者に対する6次産業化への取組支援 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市長によるトップセールス 大阪府高槻市のマルヤス宮田店 1回
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニマートの販売促進を図り、農産物の産地化を促進するためのトップセールス活動を通して、市外の住民に対する市内農産物のPR及び販売額の向上につながった。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・トップセールスによるPR活動は、ミニマートを中心に実施しているが、複数種類の農産物についての販売促進活動の実施が課題である。 ・トップセールスを通じて、市内農産物のPR活動を推進し、生産拡大や農業者の所得向上に努めていく。
関連の深い事務事業名		・農業振興事業		

R6	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・県や農協と連携し、市内農産品に消費者ニーズに合わせた付加価値をつけるための生産活動の支援 ・トップセールスによる大消費地へのPR活動の継続 ・農業者に対する6次産業化への取組支援 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・副市長によるトップセールス 大阪府高槻市のマルヤス宮田店 1回
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニマートの販売促進を図り、農産物の産地化を促進するためのトップセールス活動を通して、市外の住民に対する市内農産物のPR及び販売額の向上につながった。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・トップセールスによるPR活動は、ミニマートを中心に実施しているが、複数種類の農産物についての販売促進活動の実施が課題である。 ・トップセールスを通じて、市内農産物のPR活動を推進し、生産拡大や農業者の所得向上に努めていく。
関連の深い事務事業名		・農業振興事業		

本施策のKPI	単位		H30現状値	R2	R3	R4	R5	R6	最終年度 に対する 達成率と 評価
農産物の販売額 ※JA報告による	万円	計画値	—	118,000	120,000	122,000	124,000	126,000	
		実績値	115,000	109,545	106,713	107,483	106,618	112,212	
		達成率%	—	93	89	88	86	89	
		評価	—	B	B	B	B	B	

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	農林水産課
-----	-------

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	1 誰もが生き生きと働くことができる環境をつくる	(2) 農林水産業振興への新たな挑戦	水産資源の確保等に向けた支援

【「具体的な施策」に関する取組状況】

R2	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・県や漁協と連携し、水産資源確保や環境保全の意識啓発活動を目的とした種苗放流の実施 ・水産物の販売拡大や漁業者の作業効率向上及び負担軽減のための漁業施設等の改修 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・種苗放流事業 ウナギ1回、ヒラメ2回 ・新技術の研究、開発を目的とした水産振興基礎調査に対する負担金補助 ・道路改良工事及び漁村センタートイレ改修工事
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・種苗放流事業を実施することで、水産資源の確保や陸揚量の維持に繋がっている。また、水環境資源の重要性について考える機会にもなっている。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・漁協が実施する種苗放流事業には補助金を交付しているが、補助金の増額や現在放流している種以外の種の放流を関係機関と協議して水産資源の確保に努める。

関連の深い事務事業名 ・水産業振興事業

R3	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・県や漁協と連携し、水産資源確保や環境保全の意識啓発活動を目的とした種苗放流の実施 ・水産物の販売拡大や漁業者の作業効率向上及び負担軽減のための漁業施設等の改修 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・種苗放流事業 ウナギ1回、ヒラメ2回 ・新技術の研究、開発を目的とした水産振興基礎調査に対する負担金補助 ・室沖漁港照明修繕(波止先端赤灯台)
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・種苗放流事業を実施することで、水産資源の確保や陸揚量の維持に繋がっている。また、水環境資源の重要性について考える機会にもなっている。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・漁協が実施する種苗放流事業には補助金を交付しているが、補助金の増額や現在放流している種以外の種の放流を関係機関と協議して水産資源の確保に努める。

関連の深い事務事業名 ・水産業振興事業

R4	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・県や漁協と連携し、水産資源確保や環境保全の意識啓発活動を目的とした種苗放流の実施 ・水産物の販売拡大や漁業者の作業効率向上及び負担軽減のための漁業施設等の改修 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・種苗放流事業 ウナギ1回、ヒラメ2回 ・新技術の研究、開発を目的とした水産振興基礎調査に対する負担金補助 ・小田漁村センター屋根修繕
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・種苗放流事業を実施することで、水産資源の確保や陸揚量の維持に繋がっている。また、水環境資源の重要性について考える機会にもなっている。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・漁協が実施する種苗放流事業には補助金を交付しているが、補助金の増額や現在放流している種以外の種の放流を関係機関と協議して水産資源の確保に努める。

関連の深い事務事業名 ・水産業振興事業

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	農林水産課
-----	-------

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	1 誰もが生き生きと働くことができる環境をつくる	(2) 農林水産業振興への新たな挑戦	水産資源の確保等に向けた支援

R5	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・県や漁協と連携し、水産資源確保や環境保全の意識啓発活動を目的とした種苗放流の実施 ・水産物の販売拡大や漁業者の作業効率向上及び負担軽減のための漁業施設等の改修 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・種苗放流事業 ウナギ1回、ヒラメ2回 ・新技術の研究、開発を目的とした水産振興基礎調査に対する負担金補助 ・うなぎ放流祭を津田川で実施
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・種苗放流事業を実施することで、水産資源の確保や陸揚量の維持に繋がっている。また、水環境資源の重要性について考える機会にもなっている。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・漁協が実施する種苗放流事業には補助金を交付しているが、補助金の増額や現在放流している種以外の種の放流を関係機関と協議するなど水産資源の確保に努める。
関連の深い事務事業名		・水産業振興事業		

R6	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・県や漁協と連携し、水産資源確保や環境保全の意識啓発活動を目的とした種苗放流の実施 ・水産物の販売拡大や漁業者の作業効率向上及び負担軽減のための漁業施設等の改修 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・種苗放流事業 ウナギ1回、ヒラメ2回 ・新技術の研究、開発を目的とした水産振興基礎調査に対する負担金補助 ・小田漁村センター空調機修繕
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・種苗放流事業を実施することで、水産資源の確保や陸揚量の維持に繋がっている。また、水環境資源の重要性について考える機会にもなっている。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・漁協が実施する種苗放流事業には補助金を交付しているが、補助金の増額や現在放流している種以外の種の放流を関係機関と協議するなど水産資源の確保に努める。
関連の深い事務事業名		・水産業振興事業		

本施策のKPI		単位	H30現状値	R2	R3	R4	R5	R6	最終年度に対する達成率と評価
陸揚量 ※港勢調査による	計画値	t	—	2,250	2,250	2,000	2,000	2,000	
	実績値		2,290	1,950	2,062	1,682	1,665	1,968	
	達成率%		—	87	92	84	83	98	
	評価		—	B	B	B	B	B	

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	1 誰もが生き生きと働くことができる環境をつくる	(3) 後継者不足の解消	

【「具体的な施策」に関する取組状況】

R2	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・就職サポートセンターによる求人開拓とマッチングの実施及び求人情報紙発行 ・県や商工会等が開催する就職イベントへの参加 ・県内大学の学生を対象とした就職支援策の実施 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・求人情報紙発行 2回 ・就職イベント参加 0回 ・就職支援策実施 0回
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・求人情報紙は広報を通じて啓発できたが、採用者数は新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、例年並みの成果を上げることができなかった。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・県内大学や就職イベントで求職登録された求職者に丁寧なマッチングを行う。

関連の深い事務事業名 ・地域就職サポートセンター事業

R3	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・就職サポートセンターによる求人開拓とマッチングの実施及び求人情報紙発行 ・県や商工会等が開催する就職イベントへの参加 ・県内大学の学生を対象とした就職支援策の実施 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・求人情報紙発行 2回 ・就職イベント参加 0回 ・就職支援策実施 0回 ・就職相談をオンラインで対応できる窓口を設置した
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・求人情報紙は広報を通じて啓発できたが、採用者数は新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、例年並みの成果を上げることができなかった。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・県内大学や就職イベントで求職登録された求職者に丁寧なマッチングを行う。

関連の深い事務事業名 ・地域就職サポートセンター事業

R4	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン相談窓口を利用した就職支援活動の実施 ・就職サポートセンターによる求人開拓とマッチングの実施及び求人情報紙発行 ・県や商工会等が開催する就職イベントへの参加 ・県内大学の学生を対象とした就職支援策の実施 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・求人情報紙発行 1回 ・就職イベント参加 0回 ・就職支援策実施 2回 ・オンライン就職相談 0回 ・大学出張相談 4回
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・求人情報紙は広報を通じて啓発できたが、採用者数は新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、例年並みの成果を上げることができなかった。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・県内大学や就職イベントで求職登録された求職者に丁寧なマッチングを行う。

関連の深い事務事業名 ・地域就職サポートセンター事業

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課 商工観光課

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	1誰もが生き生きと働くことができる環境をつくる	(3)後継者不足の解消	若者や女性等向けの就職支援活動の強化

R5	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン相談窓口を利用した就職支援活動の実施 ・就職サポートセンターによる求人開拓とマッチングの実施及び求人情報紙発行 ・県や商工会等が開催する就職イベントへの参加 ・県内大学の学生を対象とした就職支援策の実施 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・求人情報紙発行 1回 ・就職イベント参加 0回 ・就職支援策実施 2回 ・オンライン就職相談 0回 ・大学出張相談 4回
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・求人情報紙は広報紙の全戸配布への変更に伴い、新聞折込に変更して実施した。事業所登録数は毎年増加しているが、採用者数はコロナ前の水準まで回復していない。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・県内大学や就職イベントで求職登録された求職者に丁寧なマッチングを行う。

関連の深い事務事業名 ・地域就職サポートセンター事業

R6	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン相談窓口を利用した就職支援活動の実施 ・就職サポートセンターによる求人開拓とマッチングの実施及び求人情報紙発行 ・県や商工会等が開催する就職イベントへの参加 ・県内大学の学生を対象とした就職支援策の実施 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・就職面接会の実施:1回(企業14社、求職者27名参加) ・高校内企業等説明会:1回(寒川高校2年生参加) ・大学出張相談:2回(高松大学、徳島文理大学) ・大学主催イベントへの参加:1回 ・地域子育て支援センターへの出張相談 ・求人情報誌の発行:2回
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・実績のとおり、各種イベントを通して若者世代や女性も含めた就職支援を実施することができた。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化が進む本市においては、地元へのUターンの促進が課題である。今後も引き続き教育機関や労働関係機関と連携し、地元企業の魅力を伝える事業に取り組む。

関連の深い事務事業名 ・地域就職サポートセンター事業

本施策のKPI	単位		H30現状値	R2	R3	R4	R5	R6	最終年度に対する達成率と評価
就職サポートセンターの斡旋による採用内定件数	件	計画値	—	30	30	30	30	30	
		実績値	54	16	15	13	14	13	
		達成率%	—	53	50	43	47	43	
		評価	—	C	C	C	C	C	

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	1誰もが生き生きと働くことができる環境をつくる	(3)後継者不足の解消	地域産業を支える若手経営者や技術者などの育成支援

【「具体的な施策」に関する取組状況】

R2	予定	・中小企業等振興支援事業補助金(人材育成)の交付 3件	実績	・中小企業等振興支援事業補助金の交付 0件
	評価	・新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、個々のレベルアップより事業の継続が重点目標となったため、申請がなかった。	課題と改善策	・市振興支援事業補助金の補助メニューにおいて支援が可能であることを周知し、同補助金の積極的な活用を促進する。

関連の深い事務事業名	・商工業等活性化支援事業
------------	--------------

R3	予定	・中小企業等振興支援事業補助金(人材育成)の交付 2件	実績	・中小企業等振興支援事業補助金の交付 4件
	評価	・事業所訪問やさぬき市商工会との連携により、補助金制度の周知を図った結果、目標値が達成できた。	課題と改善策	・市振興支援事業補助金の補助メニューにおいて支援が可能であることを周知し、同補助金の積極的な活用を促進する。

関連の深い事務事業名	・商工業等活性化支援事業
------------	--------------

R4	予定	・中小企業等振興支援事業補助金(人材育成)の交付 3件	実績	・中小企業等振興支援事業補助金(人材育成)の交付 7件
	評価	・事業所訪問やさぬき市商工会との連携により、補助金制度の周知を図った結果、目標値を達成できた。	課題と改善策	・市振興支援事業補助金の補助メニューにおいて支援が可能であることを周知し、同補助金の積極的な活用を促進する。

関連の深い事務事業名	・商工業等活性化支援事業
------------	--------------

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	商工観光課
-----	-------

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	1誰もが生き生きと働くことができる環境をつくる	(3)後継者不足の解消	地域産業を支える若手経営者や技術者などの育成支援

R5	予定	・中小企業等振興支援事業補助金(人材育成)の交付 3件	実績	・中小企業等振興支援事業補助金(人材育成)の交付 7件
	評価	・事業所訪問やさぬき市商工会との連携により、補助金制度の周知を図った結果、目標値を達成できた。	課題と改善策	・市振興支援事業補助金の補助メニューにおいて支援が可能であることを周知し、同補助金の積極的な活用を促進する。
関連の深い事務事業名		・商工業等活性化支援事業		

R6	予定	・中小企業等振興支援事業補助金(人材育成)の交付 3件	実績	・中小企業等振興支援事業補助金(人材育成)の交付 3件
	評価	・事業所訪問やさぬき市商工会との連携により、補助金制度の周知を図った結果、目標値を達成できた。	課題と改善策	・市振興支援事業補助金の補助メニューにおいて支援が可能であることを周知し、同補助金の積極的な活用を促進する。
関連の深い事務事業名		・商工業等活性化支援事業		

本施策のKPI	単位		H30現状値	R2	R3	R4	R5	R6	最終年度 に対する 達成率と 評価
人材育成取組企業数(累計) ※中小企業等振興支援事業による支援	社	計画値	—	3	6	9	12	15	
		実績値	制度なし	0	4	11	18	21	
		達成率%	—	0	67	122	150	140	140
		評価	—	D	C	A	A	A	A

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課

農林水産課

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	1誰もが生き生きと働くことができる環境をつくる	(3)後継者不足の解消	

【「具体的な施策」に関する取組状況】

R2	予定	<ul style="list-style-type: none"> 認定新規就農者や認定農業者の育成 支援制度の積極的活用による農地や資金の確保及び栽培技術の習得のためのサポート 漁協と連携し、水産業の担い手育成の一環として、地元小学生を対象とした水産教室の実施 	実績	<ul style="list-style-type: none"> 認定農業者 新規認定 2件 認定辞退 1件 再認定を受けなかった者 8件 トータル 7件の減 水産教室 (柵網の引き揚げ作業及びハマチのエサやり等) 地元小学生40名参加
	評価	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化により再認定を辞退する農業者が増加したことに加え、認定農業者の新規認定者が2名だったこともあり、トータル数は減少した。 地元小学生が漁業を体験することで、水環境資源の重要性を考える機会になるとともに、漁業への理解と関心を高めた。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> 既認定農業者の高齢化のため継続更新辞退による後継者不足と新たな担い手の確保のため、認定新規就農者を経験した者に対して、引き続き認定農業者の認定を受けるよう積極的に支援し、担い手確保に努める。 水産業の後継者不足が重要課題の一つであり、県や各種団体が実施している漁業塾や体験教室を推進・PRすることにより漁業に関心を持ってもらい水産業に関する理解を深めることで、後継者の育成に努める。
関連の深い事務事業名		・担い手育成事業 ・水産業振興事業		

R3	予定	<ul style="list-style-type: none"> 認定新規就農者や認定農業者の育成 支援制度の積極的活用による農地や資金の確保及び栽培技術の習得のためのサポート 漁協と連携し、水産業の担い手育成の一環として、地元小学生を対象とした水産教室の実施 	実績	<ul style="list-style-type: none"> 認定農業者 新規認定 3件 認定辞退 3件 再認定を受けなかった者 12件 トータル 12件の減 水産教室 (柵網の引き揚げ作業及びハマチのエサやり等) 地元小学生 45名参加
	評価	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化により再認定を辞退する農業者が増加したことに加え、認定農業者の新規認定者が3名だったこともあり、トータル数は減少した。 地元小学生が漁業を体験することで、水環境資源の重要性を考える機会になるとともに、漁業への理解と関心を高めた。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> 既認定農業者の高齢化等による継続更新辞退及び目標未達成者の増による担い手不足のため新たな担い手の確保のため、認定新規就農者を経験した者に対して、引き続き認定農業者の認定を受けるよう積極的に支援し、担い手確保に努める。 水産業の後継者不足が重要課題の一つであり、県や各種団体が実施している漁業塾や体験教室を推進・PRすることにより漁業に関心を持ってもらい水産業に関する理解を深めることで、後継者の育成に努める。
関連の深い事務事業名		・担い手育成事業 ・水産業振興事業		

R4	予定	<ul style="list-style-type: none"> 認定新規就農者や認定農業者の育成 支援制度の積極的活用による農地や資金の確保及び栽培技術の習得のためのサポート 漁協と連携し、水産業の担い手育成の一環として、地元小学生を対象とした水産教室の実施 	実績	<ul style="list-style-type: none"> 認定農業者 新規認定 4件 再認定を受けなかった者 5件 トータル 1件の減 水産教室 (柵網の引き揚げ作業及びハマチのエサやり等) 地元小学生 32名参加
	評価	<ul style="list-style-type: none"> 認定農業者の再認定を受けなかった農業者が5件に対し新規に認定を受けた農業者が4名だったため、トータル数は1減少した。 地元小学生が漁業を体験することで、水環境資源の重要性を考える機会になるとともに、漁業への理解と関心を高めた。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> 既認定農業者の高齢化等による継続更新辞退及び目標未達成者の増による担い手不足のため新たな担い手の確保に向け、認定新規就農者を経験した者に対して、引き続き認定農業者の認定を受けるよう積極的に支援し、担い手確保に努める。 水産業の後継者不足が重要課題の一つであり、県や各種団体が実施している漁業塾や体験教室を推進・PRすることにより漁業に関心を持ってもらい水産業に関する理解を深めることで、後継者の育成に努める。
関連の深い事務事業名		・担い手育成事業 ・水産業振興事業		

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	農林水産課
-----	-------

施策体系	基本目標		基本施策		具体的な施策	
	1誰もが生き生きと働くことができる環境をつくる		=M5		農林水産業における後継者育成の支援	

R5	予定	<ul style="list-style-type: none"> 認定新規就農者や認定農業者の育成 支援制度の積極的活用による農地や資金の確保及び栽培技術の習得のためのサポート 漁協と連携し、水産業の担い手育成の一環として、地元小学生を対象とした水産教室の実施 	実績	<ul style="list-style-type: none"> 認定農業者 新規認定 4件 再認定を受けなかった・辞めた者・国県認定 7件 トータル 3件の減 水産教室 (柵網の引き揚げ作業及びハマチのエサやり等) 地元小学生 32名参加 	
	評価	<ul style="list-style-type: none"> 認定農業者の再認定を受けなかった農業者が5件、新規に認定を受けた農業者が4件、認定辞退1件、国県認定1件、トータル数は3減少した。 地元小学生が漁業を体験することで、水環境資源の重要性を考える機会になるとともに、漁業への理解と関心を高めた。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> 既認定農業者の高齢化等による継続更新辞退及び目標未達成者の増による担い手不足のため新たな担い手の確保に向け、認定新規就農者を経験した者に対して、引き続き認定農業者の認定を受けるよう積極的に支援し、担い手確保に努める。 水産業の後継者不足が重要課題の一つであり、県や各種団体が実施している漁業塾や体験教室を推進・PRすることにより漁業に関心を持ってもらい水産業に関する理解を深めることで、後継者の育成に努める。 	
関連の深い事務事業名		・担い手育成事業 ・水産業振興事業			

R6	予定	<ul style="list-style-type: none"> 認定新規就農者や認定農業者の育成 支援制度の積極的活用による農地や資金の確保及び栽培技術の習得のためのサポート 漁協と連携し、水産業の担い手育成の一環として、地元小学生を対象とした水産教室の実施 	実績	<ul style="list-style-type: none"> 認定農業者 新規認定 3件 再認定を受けなかった・辞退・死亡 9件 トータル 6件の減 水産教室 調整がつかず未実施 	
	評価	<ul style="list-style-type: none"> 認定農業者の再認定を受けなかった農業者が7件、新規に認定を受けた農業者が3件、認定辞退1件、死亡1件、トータル数は6減少した。 地元小学生が漁業を体験することで、水環境資源の重要性を考える機会になるが調整がつかず未実施となった。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> 既認定農業者の高齢化等による継続更新辞退及び目標未達成者の増による担い手不足のため新たな担い手の確保に向け、認定新規就農者を経験した者に対して、引き続き認定農業者の認定を受けるよう積極的に支援し、担い手確保に努める。 水産業の後継者不足が重要課題の一つであり、県や各種団体が実施している漁業塾や体験教室を推進・PRすることにより漁業に関心を持ってもらい水産業に関する理解を深めることで、後継者の育成に努める。 	
関連の深い事務事業名		・担い手育成事業 ・水産業振興事業			

本施策のKPI		単位	H30現状値	R2	R3	R4	R5	R6	最終年度 に対する 達成率と 評価
認定農業者数	人	計画値	—	112	113	94	94	94	
		実績値	110	106	94	93	90	84	
		達成率%	—	95	83	99	96	89	
		評価	—	B	B	B	B	B	
漁業協同組合員数	人	計画値	—	345	345	300	300	300	
		実績値	341	321	315	308	308	314	
		達成率%	—	93	91	103	103	105	
		評価	—	B	B	A	A	A	

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課

政策課

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	2さぬき市への人の流れをつくる	(1)若者などの移住・定住の促進	若者世帯等の定住促進施策の推進(三世代同居等の奨励)

【「具体的な施策」に関する取組状況】

R2	予定	<ul style="list-style-type: none"> 結婚定住奨励金の交付 90組 三世代同居・近居支援金の交付 40組 移住促進家賃等補助金の交付 46件 広報の実施(タウン情報誌、HP、広報紙、文字放送) 	実績	<ul style="list-style-type: none"> 結婚定住奨励金の交付 56組 三世代同居・近居支援金の交付 22組 移住促進家賃等補助金の交付 34件 広報の実施(タウン情報誌、HP、広報紙、文字放送)
	評価	<ul style="list-style-type: none"> 結婚定住奨励金の交付組数前年度比は約26%減、三世代同居・近居支援金は約15%減となった。 三世代同居・近居支援金は、令和3年度からの制度拡充の広報を行うとともに、他の既存制度の紹介も合わせて行った。 移住促進家賃等補助金の申請者数は、前年度比約20%減となった。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、結婚を控えるカップルが多いといわれている反面、地方移住を検討する若者の増加が指摘されていることから、広報活動を拡充して行いたい。

関連の深い事務事業名 ・定住促進事業

R3	予定	<ul style="list-style-type: none"> 結婚定住奨励金の交付 65組 三世代同居・近居支援金の交付 移住型40組、定住型200組 移住促進家賃等補助金の交付 35件 結婚新生活支援金の交付 5組 広報の実施(タウン情報誌、HP、広報紙、文字放送) 	実績	<ul style="list-style-type: none"> 結婚定住奨励金の交付 61組 三世代同居・近居支援金の交付 移住型30組、定住型195組 移住促進家賃等補助金の交付 41件 結婚新生活支援金の交付 5組 広報の実施(タウン情報誌、ラジオ、新聞、HP、広報紙、文字放送)
	評価	<ul style="list-style-type: none"> 結婚定住奨励金の交付組数前年度比は約9%増、三世代同居・近居支援金移住型は約36%増となった。 三世代同居・近居支援金は、制度を拡充する旨の広報を行った結果、申請数の増加につながったと考えられる。 移住促進家賃等補助金の申請者数は、前年度比約20%増となった。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> 香川県人口移動調査によると、さぬき市の出生数は令和2年と比較して微増の状態ではあったものの、令和元年から比較すると14人減少している。引き続き、三世代での子育てを支援することにより、人口増加につながるよう広報活動を行う。

関連の深い事務事業名 ・定住促進事業

R4	予定	<ul style="list-style-type: none"> 結婚定住奨励金の交付 65組 三世代同居・近居支援金の交付 移住型40組、定住型90組 移住促進家賃等補助金の交付 45件 結婚新生活支援金の交付 20組 広報の実施(タウン情報誌、ラジオ、新聞、HP、広報紙、文字放送) 	実績	<ul style="list-style-type: none"> 結婚定住奨励金の交付 41組 三世代同居・近居支援金の交付 移住型24組、定住型80組 移住促進家賃等補助金の交付 34件 結婚新生活支援金の交付 5組 広報の実施(タウン情報誌、ラジオ、新聞、HP、広報紙、文字放送)
	評価	<ul style="list-style-type: none"> 結婚定住奨励金の交付組数前年度比は約33%減、三世代同居・近居支援金移住型は約20%減となった。 移住促進家賃等補助金の申請者数は、前年度比約17%減となった。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> 香川県人口移動調査によると、さぬき市の出生数は令和3年と比較して約9%減となった。引き続き、三世代での子育てを支援することにより、人口増加につながるよう広報活動を行う。

関連の深い事務事業名 ・定住促進事業

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	政策課
-----	-----

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	2さぬき市への人の流れをつくる	(1)若者などの移住・定住の促進	若者世帯等の定住促進施策の推進(三世帯同居等の奨励)

R5	予定	<ul style="list-style-type: none"> 結婚定住奨励金の交付 60組 三世帯同居・近居支援金の交付 移住型35組、定住型90組 移住促進家賃等補助金の交付 45件 婚新生活支援金の交付 20組 広報の実施(タウン情報誌、ラジオ、新聞、HP、広報紙、文字放送) 	実績	<ul style="list-style-type: none"> 結婚定住奨励金の交付 27組 三世帯同居・近居支援金の交付 移住型25組、定住型60組 移住促進家賃等補助金の交付 37件 結婚新生活支援金の交付 13組 広報の実施(タウン情報誌、ラジオ、新聞、HP、広報紙、文字放送)
	評価	<ul style="list-style-type: none"> 結婚定住奨励金の交付組数は前年度から14組減、三世帯同居・近居支援金は19組減となった。 移住促進家賃等補助金の申請者数は、前年度比約8%増となった。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> 香川県人口移動調査によると、本市の出生数を令和4、5年と比較すると16人減。また、本戦略の初年度である令和2年と令和5年を比較すると、32人減。毎年減少し続けており、出生数の減少が止まらない。 少子化に関する既存制度の棚卸を行ったり、各種データを収集したりして、EBPMに基づく事業の見直し等を行う必要がある。
関連の深い事務事業名		定住促進事業		

R6	予定	<ul style="list-style-type: none"> 結婚定住奨励金の交付 50組 三世帯同居・近居支援金の交付 移住型30組、定住型80組 移住促進家賃等補助金の交付 12件 婚新生活支援金の交付 20組 広報の実施(タウン情報誌、ラジオ、新聞、HP、広報紙、文字放送、WEB広告) 	実績	<ul style="list-style-type: none"> 結婚定住奨励金の交付 29組 三世帯同居・近居支援金の交付 移住型27組、定住型42組 移住促進家賃等補助金の交付 11件 婚新生活支援金の交付 15組 広報の実施(タウン情報誌、ラジオ、新聞、HP、広報紙、文字放送、WEB広告)
	評価	<ul style="list-style-type: none"> 結婚定住奨励金の交付組数は前年度から2組増、三世帯同居・近居支援金は16組減となった。 移住組数は減少したが、移住者数は昨年度と同じ148名であった。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> 香川県人口移動調査によると、本市の出生数を令和5(158人)、6年(119人)と比較すると39人減。また、本戦略の初年度である令和2年(190人)と令和6年を比較すると、71人減となっており、出生数の減少が止まらない。 少子化に関する既存制度の棚卸、各種データを収集し、取組を検討する事業を次年度計画している。
関連の深い事務事業名		定住促進事業		

本施策のKPI	単位	H30現状値	R2	R3	R4	R5	R6	最終年度に対する達成率と評価	
移住組数	組	計画値	—	74	76	78	80		80
		実績値	71	72	66	65	82		73
		達成率%	—	97	87	83	103		91
		評価	—	B	B	B	A	B	B

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課 政策課・都市整備課

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	2さぬき市への人の流れをつくる	(1)若者などの移住・定住の促進	住宅建築・購入・リフォーム支援施策の推進

【「具体的な施策」に関する取組状況】

R2	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・定住奨励金の交付 440件 ・広報の実施(タウン情報誌、HP、広報紙、文字放送) ・住宅リフォームの支援 100件 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・定住奨励金の交付 新築308件 購入 77件 合計385件 ・広報の実施(タウン情報誌、HP、広報紙、文字放送、音声告知放送) ・住宅リフォームの支援 131件
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・定住奨励金の交付件数は、前年度比約1%増となった。 ・住宅リフォーム支援事業対象工事費総額 18,160万円 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅を取得した後に当該事業を知る人が若干多いことから、より広く周知できるように広報を行う。 ・定住奨励金の対象者は令和5年1月1日までに住宅を取得した者であることから、その後は若者の移住・定住に効果的な施策を検討する必要がある。 ・住宅リフォーム支援事業は令和2年度までの時限事業であったが1年間延長した。これまでの実績等を踏まえて事業内容を精査する。

関連の深い事務事業名 ・定住促進事業 ・住宅リフォーム支援事業

R3	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・定住奨励金の交付 480件 ・広報の実施(タウン情報誌、HP、広報紙、文字放送) ・住宅リフォームの支援 100件 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・定住奨励金の交付 新築298件 購入 84件 合計382件 ・広報の実施(タウン情報誌、ラジオ、新聞、HP、広報紙、文字放送、音声告知放送) ・住宅リフォームの支援 127件
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・定住奨励金の交付件数は、前年度から微減した。 ・住宅リフォーム支援事業対象工事費総額 22,632万円 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅を取得した後に当該事業を知る人が若干多いことから、より広く周知できるように広報を行う。 ・定住奨励金の対象者は令和5年1月1日までに住宅を取得した者であることから、その後は若者の移住・定住に効果的な施策を検討する。 ・住宅リフォーム支援事業は令和3年度までの時限事業であったが1年間延長した。これまでの実績等を踏まえて事業内容を精査する。

関連の深い事務事業名 ・定住促進事業 ・住宅リフォーム支援事業

R4	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・定住奨励金の交付 460件 ・広報の実施(タウン情報誌、ラジオ、新聞、HP、広報紙、文字放送、音声告知放送) ・住宅リフォームの支援 100件 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・定住奨励金の交付 新築269件 購入 77件 合計346件 ・広報の実施(タウン情報誌、ラジオ、新聞、HP、広報紙、文字放送、音声告知放送) ・住宅リフォームの支援 131件
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅リフォーム支援事業対象工事費総額 22,825万円 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅を取得した後に当該事業を知る人が若干多いことから、より広く周知できるように広報を行う。 ・定住奨励金の対象者は令和5年1月1日までに住宅を取得するという期限あったが、令和9年同日まで延長することとなった。 ・住宅リフォーム支援事業は令和4年度までの時限事業であったが1年間延長した。これまでの実績等を踏まえて事業内容を精査する。

関連の深い事務事業名 ・定住促進事業 ・住宅リフォーム支援事業

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課 政策課・都市整備課

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	2さぬき市への人の流れをつくる	(1)若者などの移住・定住の促進	住宅建築・購入・リフォーム支援施策の推進

R5	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・定住奨励金の交付 450件 ・広報の実施(タウン情報誌、ラジオ、新聞、HP、広報紙、文字放送、音声告知放送) ・住宅リフォームの支援 100件 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・定住奨励金の交付 新築246件 購入 77件 合計323件 ・広報の実施(タウン情報誌、ラジオ、新聞、HP、広報紙、文字放送、音声告知放送) ・住宅リフォームの支援 128件
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・定住奨励金の交付件数は前年度から23件減となった。 ・住宅リフォーム支援事業対象工事費総額243万円 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・本戦略の初年度である令和2年以降、交付件数が年々減少している。購入物件数はそれほど変化はないが、新築物件数が減少を続けている。建築コストの高騰が住宅価格を引き上げていることが原因と考えられる。 ・住宅リフォーム支援事業は令和5年度までの時限事業であったが1年間延長した。これまでの実績等を踏まえて事業内容を精査する。
関連の深い事務事業名		・定住促進事業 ・住宅リフォーム支援事業		

R6	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・定住奨励金の交付 400件 ・広報の実施(タウン情報誌、ラジオ、新聞、HP、広報紙、文字放送、WEB広告) ・住宅リフォームの支援 100件 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・定住奨励金の交付 新築222件 購入 75件 合計297件 ・広報の実施(タウン情報誌、ラジオ、新聞、HP、広報紙、文字放送、音声告知放送) ・住宅リフォームの支援 128件
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・定住奨励金の交付件数は前年度から26件減となった。 ・住宅リフォーム支援事業対象工事費総額23,377万円 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・本戦略の初年度である令和2年以降、交付件数が年々減少している。購入物件数はそれほど変化はないが、新築物件数が減少を続けている。建築コストの高騰が住宅価格を引き上げていることが原因と考えられる。 ・住宅リフォーム支援事業は令和5年度までの時限事業であったが1年間延長した。これまでの実績等を踏まえて事業内容を精査する。
関連の深い事務事業名		・定住促進事業 ・住宅リフォーム支援事業		

本施策のKPI	単位		H30現状値	R2	R3	R4	R5	R6	最終年度に対する達成率と評価	
住宅新築軒数 ※課税年度ベース	軒	計画値	—	140	140	140	150	150		
		実績値	134	140	117	116	109	85		
		達成率%	—	100	84	83	73	57		57
		評価	—	A	B	B	C	C		C

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課 政策課・都市整備課・農業委員会事務局・農林水産課

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	2さぬき市への人の流れをつくる	(1)若者などの移住・定住の促進	空き家の利活用推進と空き家リフォーム支援制度の継続

【「具体的な施策」に関する取組状況】

R2	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家等対策プロジェクト会議の開催 ・空家等対策協議会の開催 ・空き家リフォーム支援事業補助金の交付 10件 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家等対策プロジェクト会議 3回 ・空家等対策協議会 1回 ・空き家リフォーム支援 7件
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家等の対策を総合的に検討する空き家等対策プロジェクト会議による農地付き空き家の検討や、空き家全般について意見交換を行う空き家等対策協議会での意見交換など取組には一定の進捗があった。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・農地付き空き家については、遊休農地の解消と移住・定住の観点の双方から検討を行ったが、引き続き先進自治体の事例について情報収集を行い、農政と移住・定住施策間の擦り合わせを継続して行う必要がある。

関連の深い事務事業名 ・企画事業 ・住宅リフォーム支援事業 ・空き家等対策事業

R3	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・農地付き空き家について、先進自治体の取組事例の収集を行い、必要に応じて空き家等対策プロジェクト会議での検討 ・空家等対策協議会の開催 ・空き家リフォーム支援事業補助金の交付 10件 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家等対策プロジェクト会議 1回 ・空家等対策協議会 1回 ・空き家リフォーム支援 12件
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・空家等実態調査の結果について、空き家等対策プロジェクト会議や空き家等対策協議会で意見交換を行うなど取組には一定の進捗があった。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> 空家等実態調査の結果を踏まえた上で、空き家利活用の促進に向けた具体的な取組を進める必要がある。

関連の深い事務事業名 ・企画事業 ・空き家等対策事業

R4	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家等対策プロジェクト会議の開催 ・空家等対策協議会の開催 ・空き家等対策計画の改訂 ・空き家リフォーム支援事業補助金の交付 10件 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・空家等対策プロジェクト会議 2回 ・空家等対策協議会 2回 ・空家等対策計画の改訂 ・空き家リフォーム支援 10件
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・空家等対策プロジェクト会議や空家等対策協議会で意見交換を行うなど取組には一定の進捗があった。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・空家等実態調査の結果を踏まえた上で、空き等家の利活用の促進に向けた具体的な取組を進める必要があることから、民間と連携した取り組みを進めていく。

関連の深い事務事業名 ・企画事業 ・空き家等対策事業

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課 政策課・都市整備課・農業委員会事務局・農林水産課

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	2さぬき市への人の流れをつくる	(1)若者などの移住・定住の促進	空き家の利活用推進と空き家リフォーム支援制度の継続

R5	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・空家等対策プロジェクト会議の開催 ・空家等対策協議会の開催 ・民間による空き家等利活用度調査及び相談会の実施 ・空き家リフォーム支援事業補助金の交付 10件 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・空家等対策プロジェクト会議 1回 ・空家等対策協議会 1回 ・民間による空き家等利活用度調査及び相談会の実施 5回 ・空き家リフォーム支援 10件
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・特定空家等の解消に向け、関係課による協議、空家等対策協議会へ実施の提案を行うなど一定の進捗があった。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家バンク等の活用による居宅の流通を加速させるため、空き家の所有者等への周知だけでなく、建築物を所有する全ての方を対象とした取組を進める必要がある。

関連の深い事務事業名 ・企画事業 ・空き家等対策事業

R6	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・空家等対策プロジェクト会議の開催 ・空家等対策協議会の開催 ・民間による空き家等利活用度調査及び相談会の実施 ・空き家リフォーム支援事業補助金の交付 15件 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・空家等対策プロジェクト会議 1回 ・空家等対策協議会 1回 ・民間による空き家等利活用度調査及び相談会の実施 3回 ・空き家リフォーム支援 5件
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・特定空家等の解消に向け、関係課による協議、空家等対策協議会へ実施の提案を行うなど一定の進捗があった。 ・民間の相談会等を実施した結果、空き家バンクの登録物件数が増加した。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家バンク等の活用による居宅の流通を加速させるため、空き家所有者等への周知だけでなく、空き家になる前の家の所有者も含めて対象とした取組を進める。

関連の深い事務事業名 ・企画事業 ・空き家等対策事業

本施策のKPI	単位	H30現状値	R2	R3	R4	R5	R6	最終年度に対する達成率と評価	
空き家バンク登録物件数	件	計画値	—	44	44	47	47		50
		実績値	42	39	33	37	49	74	
		達成率%	—	89	75	79	104	148	148
		評価	—	B	C	C	A	A	A

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	2さぬき市への人の流れをつくる	(1)若者などの移住・定住の促進	移住ガイドツアーの実施

【「具体的な施策」に関する取組状況】

R2	予定	・さぬき市での暮らしをイメージできる「移住ガイドツアー」の実施 (教育・保育施設をはじめとする市内主要施設巡り、空き家物件の紹介、先輩移住者等との交流等)	実績	・移住ガイドツアーの参加者 9名
	評価	・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、移住ガイドツアーの希望者が少なく、実施内容についても制限があったため、実績は前年度比約36%減となり大幅に減少した。	課題と改善策	・都市部に住む人々の地方移住への興味・関心は高まってきていることから、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、移住希望者のニーズに答えられるよう、移住ガイドツアーの内容を検討する必要がある。

関連の深い事務事業名	・定住促進事業
------------	---------

R3	予定	・新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、さぬき市での暮らしをイメージできる「移住ガイドツアー」の実施 (教育・保育施設をはじめとする市内主要施設巡り、空き家物件の紹介、先輩移住者等との交流等)	実績	・移住ガイドツアーは未実施
	評価	・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、移住ガイドツアーを実施することができなかった。	課題と改善策	・地方移住を検討されている人からさぬき市が選ばれるためにウィズコロナに対応した移住ガイドツアーの内容を検討する必要がある。

関連の深い事務事業名	・定住促進事業
------------	---------

R4	予定	・ウィズコロナに対応した「移住ガイドツアー」の実施	実績	・車を分けて移住ガイドツアーを行うなど検討した。移住体験ハウス利用者や移住相談者に対して、周知を行ったが、要望がなく未実施。
	評価	・新型コロナウイルス感染症拡大の不安感から、希望がなかった。	課題と改善策	・令和5年度より、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行するにあたり、積極的なPRと魅力的なガイドツアーを打ち出すことが必要である。

関連の深い事務事業名	・定住促進事業
------------	---------

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	政策課
-----	-----

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	2さぬき市への人の流れをつくる	(1)若者などの移住・定住の促進	移住ガイドツアーの実施

R5	予定	・さぬき市での暮らしをイメージできる魅力的な「移住ガイドツアー」の実施及び周知。	実績	オーダーメイド型の移住ガイドツアー 5回実施
	評価	新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことや、オーダーメイド型のニーズの向上から、ガイドツアーの要望が増えた。	課題と改善策	空き家の見学や、先輩移住者へのインタビューなど、要望が多岐にわたるため、何れにも対応できるような体制づくりとガイドツアーをウェブサイトなどで、広く周知していくことが重要である。

関連の深い事務事業名 定住促進事業

R6	予定	・さぬき市での暮らしをイメージできる魅力的な「移住ガイドツアー」の実施。 ・移住フェアやSNS等での周知。	実績	オーダーメイド型の移住ガイドツアー 9回実施
	評価	20歳代以下から60歳代以上まで、また単身や家族連れなど幅広くガイドツアーが実施できた。 空き家の見学やスーパー、小学校や観光地などオーダーメイド型の移住ガイドツアーの要望が増えた。	課題と改善策	多岐にわたる要望に応える体制づくりの継続と、オーダーメイド型の移住ガイドツアーの実施について、参加者の感想を含めてSNS等を活用してさらに周知していくことが重要である。

関連の深い事務事業名 定住促進事業

本施策のKPI	単位		H30現状値	R2	R3	R4	R5	R6	最終年度に対する達成率と評価
移住ガイドツアー参加者数	人	計画値	—	34	34	37	37	40	
		実績値	32	9	0	0	10	19	
		達成率%	—	26	0	0	27	48	48
		評価	—	C	D	D	C	C	C

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	政策課
-----	-----

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	2さぬき市への人の流れをつくる	(1)若者などの移住・定住の促進	移住体験ハウスの充実

【「具体的な施策」に関する取組状況】

R2	予定	・短期滞在型生活体験施設「さぬき市移住体験ハウス」の運営	実績	・利用件数 0件 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため消毒液等の準備 ・運営再開に向けてガイドライン等の作成
	評価	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため運営休止となった。	課題と改善策	・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、都市部に住む人々の地方移住への興味・関心は高まってきているため、移住体験ができる施設のニーズも高まると予想される。 ・運営再開後に利用率を高める取組（農業体験等の検討）や新たなロケーションの移住体験ハウスの設置を検討する。

関連の深い事務事業名 ・定住促進事業

R3	予定	・短期滞在型生活体験施設「さぬき市移住体験ハウス」の運営 ・新しい移住体験ハウスの設置 ・移住ハウス利用者が活用できる体験の検討	実績	・移住体験ハウス利用件数 3件 利用日数 53日間（うち20日間は令和4年度） ・新しい移住体験ハウスの募集 ・移住体験プログラムの創設
	評価	・移住体験ハウスについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用期間を制限して運営した。 ・新しい移住体験ハウスについては、募集を行ったが要件等が合致せず設置には至らなかった。 ・農業者と調整を行い移住体験プログラムを創設できた。	課題と改善策	・地方移住への関心が高まる中で、ウィズコロナに対応した様々な移住体験メニューを整備することが必要である。

関連の深い事務事業名 ・定住促進事業

R4	予定	・移住体験ハウスの運営 ・新しい移住体験ハウスの設置 ・移住体験プログラムの拡充	実績	・移住体験ハウス（津田）の利用件数 12件 利用日数 258日間 ・旧多和小学校榎川分校を改修し、移住体験ハウスを整備した。
	評価	・世の中がウィズコロナに順応してきた上に、移住への関心が高まっていることから、移住体験ハウスの利用件数は増えた。 ・津田の海側に加え、多和の山側に体験ハウスを整備できたことは、利用者の多様な生活ニーズに対応できる強みになった。 ・津田地区で、移住体験プログラムについて関係者と協議を進めたが、拡充には至らなかった。	課題と改善策	・市内で2拠点目となる移住体験ハウスを設置したことから、1拠点目も含めて、ウィズコロナに対応した様々な移住体験メニューを整備することが必要である。

関連の深い事務事業名 ・定住促進事業

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	政策課
-----	-----

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	2さぬき市への人の流れをつくる	(1)若者などの移住・定住の促進	移住体験ハウスの充実

R5	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・移住体験ハウス利用者へのアンケート ・移住体験ハウスの周知・運営 ・移住体験プログラムの拡充・周知 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・移住体験ハウス 津田の利用件数 20件 利用日数 265日間 多和の利用件数 7件 利用日数 75日間 ・多和地区について、農業体験など移住体験プログラムを構築し、チラシを作成した。
	評価	<p>新しく、山側(多和)に移住体験ハウスを設置し、利用者の多様な生活ニーズに対応できるようになったが、利便性の問題もあり、利用件数は海側(津田)に比べて少なかった。</p> <p>海側の移住体験ハウスは、稼働率が7割を超えているため、引き続き適切に運営していきたい。</p>	課題と改善策	<p>多和の移住体験ハウスは、コンビニまで車で20分と不便さもあるが、山間部での暮らしを体験できる貴重な施設であるため、魅力を発信していく必要がある。</p>

関連の深い事務事業名	・定住促進事業
------------	---------

R6	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・津田、多和の移住体験ハウスの周知・運営 ・地域住民と調整し、移住体験プログラムを拡充させる。 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・移住体験ハウス 津田の利用件数 23件 利用日数 240日間 多和の利用件数 11件 利用日数 151日間 ・移住体験プログラムの参加者 2名
	評価	<p>移住体験ハウスの認知度が向上したためか、利用件数は、昨年度よりも増加した。</p> <p>リピーターも一定数存在する。</p> <p>利便性の違いか、山側(多和)よりも海側(津田)の方が利用されている。</p>	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・多和地区の移住体験ハウスについては、引き続き魅力化、周知を強化していく必要がある。 ・移住につながらない利用(観光目的)も見受けられるため、対応策を検討していきたい。

関連の深い事務事業名	・定住促進事業
------------	---------

本施策のKPI	単位		H30現状値	R2	R3	R4	R5	R6	最終年度に対する達成率と評価
移住体験ハウス年間利用件数	組	計画値	—	16	17	18	19	20	
		実績値	14	0	3	12	27	34	
		達成率%	—	0	18	67	142	170	170
		評価	—	D	C	C	A	A	A

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	2さぬき市への人の流れをつくる	(1)若者などの移住・定住の促進	田舎暮らしの優位性をPRする取組の強化・推進

【「具体的な施策」に関する取組状況】

R2	予定	・田舎暮らしパンフレットの作成及び配布	実績	・田舎暮らしパンフレット作成 2,000部 配布先 香川県東京事務所50部、大阪事務所50部、 ふるさと回帰センター20部、 香川県就職・移住支援センター10部、 移住相談者等35部
	評価	・田舎暮らしパンフレットの作成及び配布を行った。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により移住フェア等が中止になったため、配布先は限定的である。	課題と改善策	・移住フェアが中止になる等県外での配布が非常に困難な状況となっている。 ・香川県移住・定住推進協議会で実施している移住フェア以外でも、市の観光部門と協力しながら、県外でPRする機会を増やすことを検討するとともに、オンライン相談を実施する等新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら実施する。
関連の深い事務事業名		・定住促進事業		

R3	予定	・移住促進イベントの実施 ・田舎暮らしパンフレットの配布 ・オンライン移住相談の実施 ・Uターンを促進する動画の作成及び公開	実績	・田舎暮らしパンフレットの配布 主な配布先 道の駅PRイベント 200部、市内SA 300部 道の駅(市内2、市外1か所) 210部、 観光協会 115部、市内宿泊施設 50部、 移住相談者等 60部 ・移住フェアへのオンライン参加 ・Uターン促進動画の作成及び公開
	評価	・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により対面によるPRイベント等の開催が限定的であったため、WEBや紙面の活用によるPRが中心となった。	課題と改善策	・県が実施する移住フェア以外にも、市の観光担当部局等と連携を図り、県外においてPRする機会を増やすことを検討するとともに、オンライン相談など、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながらの実施方法を引き続き検討する。 ・Uターン促進動画の視聴機会を増加させるために積極的にPRを行う必要がある。
関連の深い事務事業名		・定住促進事業		

R4	予定	・移住促進イベントの実施 ・田舎暮らしパンフレットの配布 ・オンライン移住相談の実施 ・Uターン促進動画の作成及び公開	実績	・田舎暮らしパンフレットを1,000部増刷した。 主な配布先 市内SA150部、移住PRイベント150部、道の駅(市内3か所)150部、東京・大阪事務所100部、市内宿泊施設200部、移住相談者等200部、 ふるさと回帰支援センター50部 ・移住PRイベントへの参加(東京2回、大阪2回、高松空港1回、オンライン4回) ・Uターン促進動画を作成し公式youtubeで公開した。
	評価	・ウィズコロナに対応した形で、対面でのPRイベントが増えた。 ・Uターン促進動画について、視聴者は市への郷土愛が強まった。	課題と改善策	・Uターン促進動画も作成し、移住促進を推進するコンテンツが増えたことにより、引き続き積極的にイベントやHP等でPRしていく必要がある。
関連の深い事務事業名		・定住促進事業		

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課

政策課

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	2さぬき市への人の流れをつくる	(1)若者などの移住・定住の促進	田舎暮らしの優位性をPRする取組の強化・推進

R5	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・移住促進イベントの実施 ・田舎暮らしパンフレットの配布 ・Uターン促進動画の周知 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・田舎暮らしパンフレットの情報を更新し、300部増刷した。 主な設置先 市内SA300部、移住PRイベント90部、道の駅(市内3か所)100部、東京・大阪事務所50部、移住相談者等83部、香川県60部、ふるさと回帰支援センター30部、移住交流ガーデン30部 ・移住PRイベントへの参加(東京2回、大阪1回、オンライン3回)
	評価	<p>田舎暮らしパンフレットについて、市内サービスエリアでの在庫のなくなり方が早く、目に触れる機会が多い。移住PRイベントについて、オンラインは相談者と詳しく意見交換することができ、対面形式であれば多くの相談者と話すことが出来るため、それぞれの良さがある。</p>	課題と改善策	<p>田舎暮らしパンフレットの情報が古く、在庫もなくなってきていることから、実態に即した新たなパンフレットの制作が必要である。</p> <p>移住PRイベントについては、夏季に偏っていたため、一年を通して、イベントに参加することを検討する。</p>

関連の深い事務事業名 ・定住促進事業

R6	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・東京及び大阪の移住PRイベントへ積極的に参加 ・田舎暮らしパンフレットの刷新 ・Uターン促進動画の周知 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・移住パンフレットの刷新 1,000部 主な設置先(既存のパンフレットから) 市内SA50部、移住PRイベント140部、道の駅(市内3か所)20部、東京・大阪事務所25部、移住相談者等64部、香川県30部、ふるさと回帰支援センター50部 ・移住PRイベントへの参加(東京3回、大阪2回、オンライン3回) ・移住ノベルティカード 400枚
	評価	<p>移住パンフレットには、先輩移住者の声や移住施策など、移住を考える上で参考となるお得な情報が掲載されている。また、新しく市内要所を360° VRで紹介する動画も作成し、QRコードを移住パンフレットに掲載しており、まちの様子も一目で分かるようにした。</p>	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・移住パンフレットを刷新し、ノベルティカードやまちのイメージが分かる360° VR動画もyoutubeで公開しているため、周知を強化していく必要がある。 ・移住PRイベントでは、ピンポイントでさぬき市に移住したいというよりも、ぼんやり「瀬戸内のどこかで」という人が多いため、本市へ呼び込むきっかけづくりの検討が必要がある。

関連の深い事務事業名 ・定住促進事業

本施策のKPI		単位	H30現状値	R2	R3	R4	R5	R6	最終年度に対する達成率と評価
PR回数	計画値	—	パンフレット制作	3	5	8	10		
	実績値	制度なし	パンフレット制作	1	9	6	8		
	達成率%	—	—	33	180	75	80	80	
	評価	—	D	C	A	C	B	B	

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	2さぬき市への人の流れをつくる	(2)関係人口の創出に向けた取り組みの推進	都市部等の人材を活用した地域づくりの推進

【「具体的な施策」に関する取組状況】

R2	予定	・関係人口の創出に向けた取組の検討	実績	・関係人口の創出に向けた具体的な取組の検討には至らなかった。
	評価	・関係人口の創出に向けた具体的な取組の検討には至らなかった。	課題と改善策	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン上で関係人口と関われる事業の検討が必要である。

関連の深い事務事業名 ・企画事業

R3	予定	・地域おこし協力隊による関係人口創出に向けた情報発信の実施	実績	・地域おこし協力隊員を1名委嘱し、SNS等による地域情報の発信を行い、関係人口の創出に努めた。 活動実績： Instagram投稿 242回(写真122、動画120)、 TikTok投稿 120回、You Tube投稿 3回
	評価	・地域おこし協力隊による地域情報の発信を行うことで一定程度の関係人口の創出に繋がった。	課題と改善策	・SNS等に対するフォロワー数や閲覧回数を更に増やすための対策を講じる必要がある。

関連の深い事務事業名 ・地域おこし協力隊 ・集落支援員事業

R4	予定	・地域おこし協力隊による関係人口創出に向けた情報発信の実施	実績	・地域おこし協力隊員がSNS等による地域情報の発信を行い、関係人口の創出に努めた。 活動実績： Instagram投稿 265回(写真182、動画183)、 TikTok投稿 183回、You Tube投稿 34回
	評価	・地域おこし協力隊による地域情報の発信を行うことで一定程度の関係人口の創出に繋がった。	課題と改善策	・SNS等に対するフォロワー数や閲覧回数を更に増やすための対策を講じる必要がある。 ・地域と交流できる体験プログラムを検討する必要がある。

関連の深い事務事業名 ・地域おこし協力隊 ・集落支援員事業

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	政策課・各課
-----	--------

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	2さぬき市への人の流れをつくる	(2)関係人口の創出に向けた取り組みの推進	都市部等の人材を活用した地域づくりの推進

R5	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊による関係人口創出に向けた情報発信の実施 ・関係人口の創出・拡大のための地域おこし協力隊を委嘱し、体験プログラムを検討 ・多和地区の集落支援員により、地域の体験プログラムを検討 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊員がSNS等による地域情報の発信を行い、関係人口の創出に努めた。 活動実績: Instagram投稿 266回(写真183、動画183)、 TikTok投稿 183回、You Tube投稿 1回 ・地域おこし協力隊及び集落支援員が体験プログラムの検討や地域との交流の場を案内を行った。 ・集落支援員の働きかけにより、地域の方が集まる機会が増えた。
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊による地域情報の発信を行うことで一定程度の関係人口の創出に繋がった。 ・地域おこし協力隊及び集落支援員が地域と交流できる体験プログラムの検討を行った。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS等に対するフォロワー数や閲覧回数を更に増やすための対策を講じる必要がある。 ・地域と交流できる体験プログラムを検討、実施する必要がある。 ・集落の方が、自分たちの集落の持続可能な在り方について考える機会を作っていく必要がある。

関連の深い事務事業名 | 地域おこし協力隊・集落支援員事業

R6	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊による関係人口創出に向けた情報発信の実施、体験プログラムの検討 ・地域おこし協力隊及び多和地区の集落支援員により、地域の体験プログラムを検討、実施 ・持続できない可能性がある地域に対して、新規の集落支援員の設置を検討する。 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊員がSNS等による地域情報の発信を行い、関係人口の創出に努めた。 活動実績:Instagram(動画)投稿数:179回 Instagram(写真)投稿数:181回、TikTok(動画)投稿数:173回、YouTube(動画)投稿数:1回、店舗来客組数:3,462組、地域交流対応組数:16組 ・多和地区集落支援員において、地域の子どもを集めたイベントを企画したほか、地域の人と一緒に耕作放棄地の利活用(コスモス畑)に努めた。 ・前山地区に集落支援を設置し、地域の把握、課題抽出に努めた。
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊による地域情報の発信や企画を実施することで一定程度の関係人口の創出に繋がった。 ・集落支援員は、地域と行政のパイプ役になるほか、住民が集まる機会を提供するなど一定の効果がある。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と交流できる体験プログラムを検討、実施する必要がある。 ・持続可能であり続けるための方策(交通・買い物・産直の維持等)を検討する必要がある。

関連の深い事務事業名 | 地域おこし協力隊・集落支援員事業

本施策のKPI	単位	H30現状値	R2	R3	R4	R5	R6	最終年度に対する達成率と評価	
都市部等の人材で継続して本市で活動する者の数	人	計画値	—	制度検討	2	4	6	8	63 C
		実績値	制度なし	制度検討	1	3	4	5	
		達成率%	—	—	50	75	67	63	
		評価	—	D	C	C	C	C	

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	2さぬき市への人の流れをつくる	(3)地域資源を生かした観光振興と知名度アップ活動	さぬき市に何度も訪れたくなる着地型旅行商品の開発及び発信

【「具体的な施策」に関する取組状況】

R2	<p>予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「さぬき市遊学のススメ」の企画・実施 (地域資源を活用した体験プラン) ・JR四国と連携した「四国家のお宝」ツアーの企画・実施 (地域資源を掘り起こし、付加価値付けされた観光素材に磨き上げた旅行商品化) ・ナイトコンテンツの造成 (観光客の滞在時間を延ばし、消費を促すための夜型観光にふさわしいコンテンツの造成) 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「さぬき市遊学のススメ」 中止 ・「四国家のお宝」ツアー 2コース実施 ・ナイトコンテンツ「さぬき夜バル～特別編～」と題し、ドライブインシアター・マルシェ・ワークショップ等を実施 (12月)
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・食体験などを想定していた「さぬき市遊学のススメ」は中止となったが、新型コロナウイルス感染症収束後の実施に向けて準備する。 ・新型コロナウイルス感染症対策を施して実施した「四国家のお宝」ツアーは、募集定員に近い参加があり、定着化している。 ・ナイトコンテンツは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により大幅な計画変更を余儀なくされたが、規模を縮小して夜ならでの新しいイベントを実施し、概ね好評であった。 	課題と改善策

関連の深い事務事業名 ・観光事業

R3	<p>予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「さぬき市遊学のススメ」の企画・実施 (地域資源を活用した体験プラン) ・JR四国と連携した「四国家のお宝」ツアーの企画・実施 (地域資源を掘り起こし、付加価値付けされた観光素材に磨き上げた旅行商品化) ・上記以外の滞在型観光コンテンツを造成 (感染症による状況も勘案し、観光客が安心して楽しめる新しい生活様式に対応したコンテンツの造成) 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「さぬき市遊学のススメ」 2プラン実施 ・「四国家のお宝」ツアー 2コース実施 ・上記以外の滞在型観光コンテンツとして、「さぬきバル～門入の郷編 マルシェ×ワークショップ」を実施 (10月)
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、中止となった「さぬき市遊学のススメ」を再開。過去に好評であった陶芸体験と移住農家による収穫体験という新しい企画を実施し、募集定員に近い人数が参加した。 ・昨年度と同じ内容で実施された「四国家のお宝」ツアーのうち、平賀源内と和三盆をテーマにしたツアーは、JR四国で販売商品化されることが決定した。 ・昨年度に引き続き開催した「さぬきバル」は、アウトドアで人気の門入の郷を会場とし、自然とアートを組み合わせ、椿の城を装飾するなど、これまでにない新たなコンテンツが造成された。 	課題と改善策

関連の深い事務事業名 ・観光事業

R4	<p>予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「さぬき市遊学のススメ」の企画・実施 (地域資源を活用した体験プラン) ・JR四国と連携した「四国家のお宝」ツアーの企画・実施 (地域資源を掘り起こし、付加価値付けされた観光素材に磨き上げた旅行商品化) ・上記以外の滞在型観光コンテンツを造成 (感染症による状況も勘案し、観光客が安心して楽しめる新しい生活様式に対応したコンテンツの造成) 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「さぬき市遊学のススメ」 3プラン実施 ・「四国家のお宝」ツアー 2コース実施 ・上記以外の滞在型観光コンテンツとして、「さぬきバル～源内通り編」を実施 (9、11月)
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・「遊学のススメ」については、実績あるプランのほか、市内業者による木工体験という新しい体験プランを立ち上げ、実施することができた。 ・「四国家のお宝」ツアーについては、感染症対策のため、催行人数を縮小したものの、予定通り2コース実施することができた。 ・「さぬきバル」は、新たに源内通りに会場を移し、琴電と連携したランタン電車の運行や町並みにランタンを灯すなど、コロナ前に目指していた夜型観光への取組みとして新しいコンテンツを造成できた。 	課題と改善策

関連の深い事務事業名 ・観光事業

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	商工観光課
-----	-------

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	2さぬき市への人の流れをつくる	(3)地域資源を生かした観光振興と知名度アップ活動	さぬき市に何度も訪れたくなる着地型旅行商品の開発及び発信

R5	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・「さぬき市遊学のススメ」の企画・実施 (地域資源を活用した体験プラン) ・JR四国と連携した「四国家のお宝」ツアーの企画・実施 (地域資源を掘り起こし、付加価値付けされた観光素材に磨き上げた旅行商品化) ・上記以外の滞在型観光コンテンツを造成 (感染症による状況も勘案し、観光客が安心して楽しめる新しい生活様式に対応したコンテンツの造成) 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「さぬき市遊学のススメ」2プラン企画、1プラン実施 ・「四国家のお宝」ツアー 2コース企画、1コース実施 ・上記以外の滞在型観光コンテンツとして、「さぬきバル～源内通り編」を実施(11月)
	評価	<p>「遊学のススメ」「四国家のお宝ツアー」いずれも、最小催行人数に到達せず、実施が見送られたプラン(コース)が発生した。</p> <p>「さぬきバル」については、昨年度に引き続いての実施だったが、内容をブラッシュアップし、来場者数が約1.1倍に増加した。</p>	課題と改善策	<p>体験プログラムや日帰りツアーは、昨年度同様、参加人数が増えず、一部未催行となった。</p> <p>これまでの実績から、プランやツアー内容に関心が高いターゲットに上手く情報が伝わっていなかったと思われるため、効果的な発信方法を検討したい。</p>
関連の深い事務事業名		・観光事業		

R6	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・「さぬき市遊学のススメ」の企画・実施 (地域資源を活用した体験プラン) ・JR四国と連携した「四国家のお宝」ツアーの企画・実施 (地域資源を掘り起こし、付加価値付けされた観光素材に磨き上げた旅行商品化) ・上記以外の滞在型観光コンテンツを造成 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「さぬき市遊学のススメ」 1プラン実施 ・「四国家のお宝」ツアー 2コース実施 ・上記以外の滞在型観光コンテンツとして、「さぬきバル～竹あかり長尾寺編」を実施(10月)
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・「遊学のススメ」については、オリジナルカイトを作り、津田の松原で凧揚げ体験という新しい体験プランを立ち上げ、実施することができた。 ・「四国家のお宝」ツアーについては、予定通り2コース実施することができた。 ・「さぬきバル」は、新たに長尾寺に会場を移し、バンジョイ塾の協力の元、竹灯りで境内を灯し、夜型観光への取組みとして新しいコンテンツを造成できた。 	課題と改善策	<p>体験プログラムや日帰りツアーは、昨年度よりも参加人数が増加したが、「四国家のお宝」の1コースは、最小催行人数に到達せず、実施が見送られた日があったため、昨年度に引き続き、効果的な発信方法を検討したい。</p>
関連の深い事務事業名		・観光事業		

本施策のKPI	単位		H30現状値	R2	R3	R4	R5	R6	最終年度に対する達成率と評価
着地型旅行商品参加者数 ※「さぬき市遊学のススメ」として、実施した体験プランの参加者数	人	計画値	—	150	150	80	80	80	
		実績値	128	0	52	49	31	50	
		達成率%	—	0	35	61	39	63	
		評価	—	D	C	C	C	C	C

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	2さぬき市への人の流れをつくる	(3)地域資源を生かした観光振興と知名度アップ活動	滞在型観光・交流の促進

【「具体的な施策」に関する取組状況】

R2	<p>予定</p> <p>【大串半島】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大串温泉及びグリーンヒル大串の除却工事 大串半島活性化基本構想の完了及び基本設計業務の着手 施設修繕や清掃・除草作業等の維持管理の継続 <p>【みろく自然公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度の導入 施設修繕等の維持管理の継続 	<p>実績</p> <p>【大串半島】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大串温泉及びグリーンヒル大串の除却完了 令和2年8月大串半島活性化基本構想議決、同年11月基本設計業務着手(令和3年度完了予定) 施設修繕や清掃・除草作業の実施 <p>【みろく自然公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の利用促進を図るため、指定管理者による営業活動の実施 キャンプ場受水槽ポンプ及び駐車場進入路の修繕
	<p>評価</p> <p>【大串半島】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により一時的に公園の利用自粛を呼びかけた時期もあったが、外遊びが流行した背景もあり、公園利用者は増加した。 テアトロンコンサート等の大規模イベントは中止となった。 <p>【みろく自然公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者の維持管理により、球場及び球技場を中心に施設の安全性・快適性は向上したが、樹木管理等、一部行き届かない箇所も発生した。 新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりスポーツ合宿利用が激減し、公園全体の入込客数に影響した。 	<p>課題と改善策</p> <p>【大串半島】</p> <ul style="list-style-type: none"> 活性化事業は予定通りの進捗である。除却工事後、未整備の土地は立入禁止としており、公園の利用を一部制限している。市議会との意見調整をとりまとめて活性化事業を進めることで、過ごしやすい公園を目指す。 <p>【みろく自然公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> 来園者の利便性向上のため、指定管理者と協議しつつ維持管理を継続する。
<p>関連の深い事務事業名</p> <p>・大串自然公園管理事業 ・シーサイドコリドール維持管理事業 ・観光施設事業</p>		

R3	<p>予定</p> <p>【大串半島】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大串半島活性化施設建設工事基本設計業務の完了及び実施設計業務の着手 大串半島中央広場公衆トイレ改修工事の実施 施設修繕や清掃・除草作業等の維持管理の継続 <p>【みろく自然公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者と管理運営の協議及び施設改修の実施(公園内の崩落した法面修繕、みろく球場芝生化) 	<p>実績</p> <p>【大串半島】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年7月大串半島活性化施設建設工事基本設計業務を完了、同年12月実施設計業務に着手(令和4年度完了予定) 大串半島中央広場公衆トイレ改修工事は、設計内容の見直しを行い、令和4年度に実施することとなった 施設修繕や清掃・除草作業等の維持管理の継続 <p>【みろく自然公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の利用促進を図るため、みろく球場芝生化の実施、みろく荘雨樋修繕、みろく荘自動ドア化修繕 公園内の崩落した法面修繕(ブロック積擁壁工等)の実施
	<p>評価</p> <p>【大串半島】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により一時的に公園の利用自粛を呼びかけた時期もあったが、外遊びが流行した背景もあり、公園利用者は増加した。 野外音楽広場テアトロンでは、感染対策を講じたうえで9月にコンサートを実施した。 <p>【みろく自然公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> みろく荘自動ドア化を実施したことにより、車椅子利用者を含め公園利用者の利便性が向上した。 新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりスポーツ合宿利用が昨年同様に減少し、公園全体の入込客数に影響した。 	<p>課題と改善策</p> <p>【大串半島】</p> <ul style="list-style-type: none"> 活性化事業は予定通りの進捗である。除却工事後、未整備の土地は立入禁止としており、公園の利用を一部制限している。市議会との意見調整をとりまとめて活性化事業を進めることで、過ごしやすい公園を目指す。 <p>【みろく自然公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> 来園者の利便性向上のため、指定管理者と協議しつつ維持管理を継続する。
<p>関連の深い事務事業名</p> <p>・大串自然公園管理事業 ・シーサイドコリドール維持管理事業 ・観光施設事業</p>		

R4	<p>予定</p> <p>【大串半島】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大串半島活性化施設建設工事実施設計業務の完了及び敷地造成工事、建物建設工事の着手 大串半島中央広場公衆トイレ改修工事の実施 施設修繕や清掃・除草作業等の維持管理の継続 <p>【みろく自然公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理制度更新に係る管理体制の更新 指定管理者と管理運営の協議及び施設改修の実施(みろく荘舗装修繕工事、新設ユニバーサルデザイン遊具設置) 	<p>実績</p> <p>【大串半島】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年12月大串半島活性化施設建設工事実施設計業務を完了、同年11月敷地造成工事に着手(令和5年5月竣工) 令和5年2月大串半島中央広場公衆トイレ改修工事を完了 施設修繕や清掃・除草作業等の維持管理の継続 <p>【みろく自然公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理制度更新に係る管理体制の更新 指定管理者と管理運営の協議及び施設改修の実施(みろく荘舗装修繕工事、新設ユニバーサルデザイン複合遊具設置)
	<p>評価</p> <p>【大串半島】</p> <ul style="list-style-type: none"> 野外音楽広場テアトロンでは、感染対策を講じたうえで5月及び7月にコンサートを実施した。 公共工事実施に伴う安全上の理由から、令和5年1月以降、公園を立入禁止としている。 <p>【みろく自然公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> みろく荘舗装修繕工事を実施したことにより、車椅子利用者を含め公園利用者の利便性が向上した。 新設ユニバーサルデザイン複合遊具を設置したことにより、市民や市内幼稚園等から問い合わせが多くあり、設置以前に比べ利用者数が2倍以上に増加した。 	<p>課題と改善策</p> <p>【大串半島】</p> <ul style="list-style-type: none"> 活性化事業は予定通りの進捗である。大串自然公園芝生広場は工事期間中は立入禁止としている。市議会との意見調整をとりまとめて活性化事業を進めることで、過ごしやすい公園を目指す。 <p>【みろく自然公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> 来園者の利便性向上のため、指定管理者と協議しつつ維持管理を継続する。
<p>関連の深い事務事業名</p> <p>・大串自然公園管理事業 ・シーサイドコリドール維持管理事業 ・観光施設事業</p>		

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課 商工観光課

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	2さぬき市への人の流れをつくる	(3)地域資源を生かした観光振興と知名度アップ活動	滞在型観光・交流の促進

R5	予定	<p>【大串半島】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大串半島活性化施設建設工事の着手及び竣工 施設修繕や清掃・除草作業等の維持管理の継続 旧大串児童館を宿泊・キャンプ施設へ改修するための設計業務の実施 <p>【みろく自然公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者と管理運営の協議及び施設改修の実施(みろく公園駐車場手すり設置、公園入口看板撤去・リニューアル) 	実績	<p>【大串半島】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年12月大串半島活性化施設建設工事実施設計業務を完了、同年11月敷地造成工事に着手(令和5年5月竣工) 令和5年2月大串半島中央広場公衆トイレ改修工事を完了 施設修繕や清掃・除草作業等の維持管理の継続 <p>【みろく自然公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者と管理運営の協議及び施設改修の実施(みろく公園駐車場手すり設置、公園入口看板撤去・リニューアル) 森林資源利用促進事業を活用し、公園内に木製ベンチを11基設置
	評価	<p>【大串半島】</p> <ul style="list-style-type: none"> 野外音楽広場テアトロンでは、感染対策を講じたうえで5月及び7月にコンサートを実施した。 公共工事実施に伴う安全上の理由から、令和5年1月以降、公園を立入禁止としている。 <p>【みろく自然公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> みろく公園内で手すり設置工事と公園入口看板のリニューアルの実施に加え、木製ベンチを設置したことにより、公園利用者の利便性が向上した。 公園内の支障木の伐採を実施し、利用者の満足度向上と安全確保に努めた。 	課題と改善策	<p>【大串半島】</p> <ul style="list-style-type: none"> 活性化事業は予定通りの進捗である。大串自然公園芝生広場は工事期間中は立入禁止としている。市議会との意見調整をとりまとめて活性化事業を進めることで、過ごしやすい公園を目指す。 <p>【みろく自然公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> 来園者の利便性向上のため、指定管理者と協議しつつ維持管理を継続する。

関連の深い事務事業名 大串自然公園管理事業 ・シーサイドコリドール維持管理事業 ・観光施設事業

R6	予定	<p>【大串半島】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大串半島活性化施設建設工事の着手及び竣工 施設修繕や清掃・除草作業等の維持管理の継続 旧大串児童館を宿泊・キャンプ施設へ改修するための設計業務の実施 <p>【みろく自然公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者と管理運営の協議及び施設改修の実施(みろく荘雨漏り修繕、階段撤去、イベントドーム横トイレ改修工事) 	実績	<p>【大串半島】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和6年4月大串半島活性化施設外灯設備工事を実施(竣工7月) 同年6月大串半島活性化施設の営業を開始、施設運営に係る厨房機器及び施設備品・消耗品購入業務を実施(通年) 令和7年2月旧大串管理事務所除却工事を完了 同年3月旧大串児童館大規模改修工事実施設計業務を完了 施設修繕や清掃・除草作業等の維持管理の継続 <p>【みろく自然公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者と管理運営の協議及び施設改修の実施(みろく荘雨漏り修繕、階段撤去、イベントドーム横トイレ改修工事)
	評価	<p>【大串半島】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大串半島活性化施設に係る工事が完了し、令和6年6月30日にオープンした。瀬戸内海の優美な原風景を楽しめる施設として多くの来場者が訪れている。 大串半島活性化施設の整備と併せて旧大串児童館宿泊体験施設の大規模改修も予定しており、関係者と連携を取りつつ実施設計業務を完了した。 <p>【みろく自然公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> みろく荘雨漏り修繕とみろく公園イベントドーム横トイレの改修工事を実施したことにより、公園利用者の利便性が向上した。 公園内の支障木の伐採を実施し、利用者の満足度向上と安全確保に努めた。 	課題と改善策	<p>【大串半島】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大串半島活性化施設「時の納屋」は多くの来場者が訪れており、評価も高いことから、市議会等との意見調整を取りまとめつつ適宜修繕等を実施し、過ごしやすい施設の維持に努める。 <p>【みろく自然公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> 来園者の利便性向上のため、指定管理者と協議しつつ維持管理を継続する。

関連の深い事務事業名 大串自然公園管理事業 ・シーサイドコリドール維持管理事業 ・観光施設事業

本施策のKPI	単位		H30現状値	R2	R3	R4	R5	R6	最終年度に対する達成率と評価	
大串半島における観光地入込客数 ※大串自然公園、さぬきワイナリー、シーサイドコリドールにおける観光動態調査の入込客数(コンサート客を除く)	人	計画値	—	23,900	23,900	37,100	38,000	38,900		/
		実績値	25,055	31,623	33,265	38,466	18,725	179,913		
		達成率%	—	132	139	104	49	463	463	
		評価	—	A	A	A	C	A	A	
みろく自然公園における観光地入込客数 ※自然休養村内施設、ゆーとぴあみろく(宿泊者)、旧恵利家住宅、歴史民俗資料館における観光動態調査の入込客数	人	計画値	—	130,000	131,000	131,000	132,000	133,000	/	
		実績値	129,639	62,547	56,082	66,515	79,691	85,983		
		達成率%	—	48	43	51	60	65		65
		評価	—	C	C	C	C	C		C

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	2さぬき市への人の流れをつくる	(3)地域資源を生かした観光振興と知名度アップ活動	さぬき市の魅力発信の強化

【「具体的な施策」に関する取組状況】

R2	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・ブログやSNS等を活用したさぬき市知名度向上プロモーション事業の実施 ・観光協会による、さぬきマルシェ等催事への出店による特産品を活用したPR活動の実施 ・特産品を活用した産地間連携PR強化事業の実施 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な観光情報発信 ブログ 205回 Instagram 205回 Facebook 215回 ・催事への出店 県内出店29回 ・トモニ市場やせとうち旬彩館等でのさぬきワインのコラボPRは中止
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ブログやHPへのアクセスは伸び悩んだが、SNSへのアクセスは向上した。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、催事での出店は県内に限られ、PR機会を十分に確保できなかった。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により県を跨いだ積極的なPR事業を展開できない状況である。一方、SNSへのアクセスは好調であることから、今後も積極的に活用していくとともに、感染症収束後は観光に対する需要も増加すると予想されるため、それに向けて準備・対策を講じたい。

関連の深い事務事業名	・観光事業
------------	-------

R3	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・ブログやSNS等を活用したさぬき市知名度向上プロモーション事業の実施 ・観光協会による、SNSでの情報発信、さぬきマルシェ等催事への出店による特産品を活用したPR活動の実施 ・特産品を活用した産地間連携PR強化事業の実施 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な観光情報発信 ブログ 206回 Instagram 203回 Facebook 225回 ・催事への出店 県内 24回、県外 1回 ・トモニ市場やせとうち旬彩館等でのさぬきワインのコラボPRは中止
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ブログや観光協会HPへの訪問者数は減少傾向にあるが、Instagramへのアクセスは昨年度の約3.6倍に増加している。 特に、インバウンド対応として、初めて台湾を対象とした広告記事を作成し、発信したところ、期間中約25万アクセスを記録した。 ・昨年度に引き続き、催事の出店は限られたが、新たに高松空港でのPR活動が実施できた。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により県を跨いだ積極的なPR事業を展開できない状況である。 ・SNSへのアクセスは好調であり、今年度初めてインバウンド向け誘客広告を発信し、新たな閲覧者を獲得できたことから、今後もターゲットを見極めながら、効果的な発信を続けていく。

関連の深い事務事業名	・観光事業
------------	-------

R4	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・ブログやSNS等を活用したさぬき市知名度向上プロモーション事業の実施 ・観光協会による、SNSでの情報発信、さぬきマルシェ等催事への出店による特産品を活用したPR活動の実施 ・特産品を活用した産地間連携PR強化事業の実施 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な観光情報発信 ブログ 207回 Instagram 187回 Facebook 204回 ・催事への出店 県内 20回、県外 8回 ・トモニ市場やせとうち旬彩館等でのさぬきワインのコラボPRを実施。(2回)
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ブログの訪問者数や観光協会HPのアクセス数は、新型コロナウイルス感染症の規制緩和・取扱変更などに伴い、増加傾向にある。 ・昨年度に引き続き、インバウンド対応として、韓国を対象とした広告記事を作成し、発信を行ったが、昨年度の台湾と比べると閲覧ユーザー数など、思ったほど数字が伸びなかった。 ・これまで中止となっていた県外での催事参加・PR活動を再開することができた。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・徐々に県外での催事への参加が再開されている状況であるが、東讃エリア観光振興連携協定を締結したこともあり、2025年関西・大阪万博を視野に関西圏でのPR活動の機会を確保していく必要がある。 ・SNSを通じたアジア圏に向けての発信を進めているが、国による反応の差がでていることから、ターゲットや発信方法を見極めながら、より効果的な発信を行う。

関連の深い事務事業名	・観光事業
------------	-------

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	商工観光課
-----	-------

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	2さぬき市への人の流れをつくる	(3)地域資源を生かした観光振興と知名度アップ活動	さぬき市の魅力発信の強化

R5	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・ブログやSNS等を活用したさぬき市知名度向上プロモーション事業の実施 ・観光協会による、SNSでの情報発信、さぬきマルシェ等催事への出店による特産品を活用したPR活動の実施 ・特産品を活用した産地間連携PR強化事業の実施 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な観光情報発信 ブログ 206回 Instagram 156回 Facebook 200回 ・催事への出店 県内 24回、県外 9回 ・トモニ市場等でのさぬきワインのコラボPRを実施。(2回)
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS等の発信回数は、これまでと変化はないが、観光協会HPへのアクセス数が前年度比約1.1倍となった。 ・駅、高速道路サービスエリア、商業施設エリアなど、新たなPR活動の場を獲得し、出展回数も増加している。 ・昨年度の課題であった東讃エリア観光振興連携事業において、関西圏でのPRキャンペーンを実施することができた。また、英語圏向けFacebook発信にも着手した。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・東讃エリアでの連携した観光PRについては、エリア自治体間の調整を図りつつ、引き続き、関西圏でのPR機会を獲得しつつ、県内においても、「東讃」の知名度向上に取り組む。 ・SNSを通じた発信については、アジア圏だけでなく、英語圏に向けても着手しているが、認知度が低いことから、拡散させる効果的な方法を検討しつつ、継続的な発信に努める。
関連の深い事務事業名		・観光事業		

R6	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・ブログやSNS等を活用したさぬき市知名度向上プロモーション事業の実施 ・観光協会による、SNSでの情報発信、さぬきマルシェ等催事への出店による特産品を活用したPR活動の実施 ・特産品を活用した産地間連携PR強化事業の実施 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な観光情報発信 ブログ 207回 Instagram 158回 Facebook 209回 ・催事への出店 県内 19回、県外 10回 ・トモニ市場(東京都)等でのさぬきワインのコラボPRを実施。(1回)
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS等の発信回数は、これまでと変化はないが、アクセス数が観光協会HPは前年度比約1.25倍、Facebookは1.45倍、Instagramは1.82倍となった。 ・催事への出展回数は、昨年度より減少しているが、昨年度同様のPR活動の場を獲得している。 ・東讃エリア観光振興連携推進協議会として、関西圏と県内でPRキャンペーンを実施し、昨年度同様英語圏向けFacebookの発信もした。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・東讃エリアでの連携した観光PRについて、引き続きエリア自治体間の調整を図りつつ、関西圏及び県内でのPRを実施し、「東讃」の知名度向上に取り組む。 ・SNSを通じた発信については、アジア圏及び英語圏に向けているが、認知度が低いことから、拡散させる効果的な方法を検討しつつ、継続的な発信に努める。
関連の深い事務事業名		・観光事業		

本施策のKPI	単位		H30現状値	R2	R3	R4	R5	R6	最終年度に対する達成率と評価
さぬき市観光協会ホームページ総アクセス数	回	計画値	—	92,000	95,000	96,000	96,000	96,000	219 A
		実績値	90,351	85,157	71,657	149,312	167,654	210,229	
		達成率%	—	93	75	156	175	219	
		評価	—	B	C	A	A	A	
さぬき市再発見ブログ訪問者数	人	計画値	—	345,000	345,000	240,000	240,000	240,000	107 A
		実績値	343,571	254,112	234,002	257,619	220,548	256,047	
		達成率%	—	74	68	107	92	107	
		評価	—	C	C	A	B	A	

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	総務課
-----	-----

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	2さぬき市への人の流れをつくる	(3)地域資源を生かした観光振興と知名度アップ活動	まちづくり寄附(ふるさと納税)の推進

【「具体的な施策」に関する取組状況】

R2	予定	<ul style="list-style-type: none"> ポータルサイト「ふるさとチョイス」の追加及び返礼品の掲載 寄附制度の利用者や寄附金額の増加及び返礼品の充実を目的とした取組の実施 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ポータルサイト「ふるさとチョイス」の追加 令和2年8月3日～ まちづくり寄附推進本部及びまちづくり寄附推進チームの設置(新規返礼品の検討や意見交換) 少額の寄附コース設置(5,000円、7,000円)
	評価	<ul style="list-style-type: none"> 新規返礼品の充実や、ポータルサイトへの返礼品掲載を2か所に増やしたが、寄附金額の増加に至らなかった。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> 中間事業者により返礼品の種類や在庫数が限定されたことから、ポータルサイトへの返礼品掲載数に偏りがあった。 寄附コースの返礼率が低いため、寄附件数の増加に至らなかった。 ポータルサイトや中間事業者の拡充、寄附コースの見直し及び返礼品の拡充を行いたい。

関連の深い事務事業名 ・まちづくり寄附推進事業

R3	予定	<ul style="list-style-type: none"> ポータルサイトや中間事業者の拡充 寄附コースの見直しや返礼品の拡充 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ポータルサイト「楽天ふるさと納税」の追加 令和3年10月1日～ さぬき市まちづくり寄附金事務の一括代行業務委託事業者の追加 令和3年8月30日～ 生産者支援プロジェクト「チャレンジ応援品」の活用 事業者説明会の開催 新規返礼品登録数181品 寄附コース設定方法の見直し
	評価	<ul style="list-style-type: none"> 寄附コース設定方法の見直し及び新規返礼品の拡充を行い、3つのポータルサイトによる地場産品のPRを行った 令和2年度新規返礼品数106個 令和3年度新規返礼品数181個(約1.7倍) 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> 返礼品数の更なる拡充のため、新規返礼品の開拓を行う 知名度向上のため、web広告及びパンフレット等によるPRの実施

関連の深い事務事業名 ・まちづくり寄附推進事業

R4	予定	<ul style="list-style-type: none"> 新規返礼品の拡充 事業者説明会の実施 ポータルサイトの追加 web広告及びパンフレット等によるPRの実施 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ポータルサイト「ふるなび」(令和4年4月1日～)、「セゾンのふるさと納税」(令和4年11月30日～)、「auPAY」(令和4年12月8日～)の追加 志度カントリークラブに「ふるさと納税自動販売機」設置(令和5年3月2日～) 事業者説明会の開催 SNS(LINE)やラジオ(FMかがわ)での広報 ふるさとチョイスの自治体掲載枠などのweb広告やパンフレットの作成
	評価	<ul style="list-style-type: none"> 新規返礼品の拡充を行い、各ポータルサイトによる地場産品のPRを行った 令和3年度新規返礼品数181個 令和4年度新規返礼品数285個(約1.5倍) 事業者説明会の開催により、返礼品提供事業者の拡充を行った 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> 返礼品数の更なる拡充のため、新規返礼品の開拓を行う 寄附金の活用状況の発信等を行う

関連の深い事務事業名 ・まちづくり寄附推進事業

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	総務課
-----	-----

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	2さぬき市への人の流れをつくる	(3) 地域資源を生かした観光振興と知名度アップ活動	まちづくり寄附(ふるさと納税)の推進

R5	予定	<ul style="list-style-type: none"> 新規返礼品の拡充 ポータルサイトの追加 事業者説明会及び交流会の開催 web広告等によるPRの実施 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ポータルサイト「三越伊勢丹ふるさと納税」(令和5年11月16日～)の追加 事業者説明会の開催 SNS(LINE)やラジオ(FMかがわ)での広報 ふるさとチョイス自治体紹介枠などのweb広告やふるさと納税専門誌での広報
	評価	<ul style="list-style-type: none"> 新たなポータルサイトを導入したことで、新たな寄附者層を獲得することができた 新規返礼品の拡充を行い、各ポータルサイトによる地場産品のPRを行った <p>令和4年度新規返礼品数 285個 令和5年度新規返礼品数 430個(約1.5倍)</p>	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> 返礼品数の更なる拡充のため、新規返礼品の開拓を行う

関連の深い事務事業名	・まちづくり寄附推進事業
------------	--------------

R6	予定	<ul style="list-style-type: none"> 新規返礼品の拡充 ポータルサイトの追加 事業者説明会の開催 web広告等によるPRの実施 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ポータルサイト「ふるぽ」「JRE MALLふるさと納税」(令和6年10月～)、「KABU&ふるさと納税」「ふるラボ」(令和6年11月～)、「LINEヤフー」「Vふるさと納税」「Amazon」(令和6年12月～)の追加 事業者説明会の開催 SNS(LINE)やラジオ(FMかがわ)での広報
	評価	<ul style="list-style-type: none"> 新たなポータルサイトを追加するとともに、一棟貸切型の宿泊施設の宿泊券など体験型観光に関連する返礼品を拡充し、地場産品や観光に関するPRも行った <p>令和5年度新規返礼品 430個 令和6年度新規返礼品 203個</p>	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> 地場産品や観光などのPRのために、新たなポータルサイトの追加を検討する 新規返礼品の開拓を行う

関連の深い事務事業名	・まちづくり寄附推進事業
------------	--------------

本施策のKPI	単位		H30現状値	R2	R3	R4	R5	R6	最終年度に対する達成率と評価
まちづくり寄附額 ※ふるさと納税分に限る	万円	計画値	—	15,000	15,000	40,000	40,000	40,000	
		実績値	6,975	8,419	38,633	46,103	67,298	68,358	
		達成率%	—	56	258	115	168	171	
		評価	—	C	A	A	A	A	

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	3結婚・出産・子育ての希望をかなえる	(1)結婚・出産・子育て支援	婚活応援事業の支援

【「具体的な施策」に関する取組状況】

R2	予定	・婚活イベントによるカップル成立数 8組	実績	・カップル成立数 0組
	評価	・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、事業が中止となり目標値を達成することができなかった。	課題と改善策	・さぬき市商工会と連携し、若手経営者及び事業主の後継者不足等解消のため、万全な感染症対策のもと積極的に婚活支援事業に取り組む。

関連の深い事務事業名 ・商工業振興事業

R3	予定	・婚活イベントによるカップル成立数 6組	実績	・カップル成立数 0組
	評価	・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、事業が中止となり目標値を達成することができなかった。	課題と改善策	・さぬき市商工会と連携し、若手経営者及び事業主の後継者不足等解消のため、コロナ禍でも安心安全に婚活イベントが実施できるよう、万全な感染症対策を検討し実現につなげたい。

関連の深い事務事業名 ・商工業振興事業

R4	予定	・婚活イベントによるカップル成立数 6組	実績	・カップル成立数 0組
	評価	・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、事業が中止となり目標値を達成することができなかった。	課題と改善策	・さぬき市商工会と連携し、若手経営者及び事業主の後継者不足等解消のため、コロナ禍でも安心安全に婚活イベントが実施できるよう、万全な感染症対策を検討し実現につなげたい。

関連の深い事務事業名 ・商工業振興事業

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	商工観光課・政策課
-----	-----------

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	3結婚・出産・子育ての希望をかなえる	(1)結婚・出産・子育て支援	婚活応援事業の支援

R5	予定	・婚活イベントによるカップル成立数 6組	実績	・カップル成立数 0組
	評価	・昨年度の参加者が目標数に達せず事業が中止となったことから、今年度は内容の見直しを図るため、事業を行うことができなかった。	課題と改善策	・さぬき市商工会と連携し、若手経営者及び事業主の後継者不足等解消のため、気楽に参加できるようなコンテンツを検討し、万全な感染症対策のもと積極的に婚活支援事業に取り組む。
関連の深い事務事業名		・商工業振興事業		

R6	予定	・婚活イベントによるカップル成立数 6組	実績	・カップル成立数 3組
	評価	・コロナ禍を経て5年ぶりに開催することができ、参加者数は男性12名、女性14名であった。	課題と改善策	・当該イベントについて、さぬき市商工会青年部より令和7年度は開催しない旨の連絡があったことから、次年度以降、商工会と連携して当該イベントを行うことは難しい。このことから、本施策の在り方については移住・定住、地方創生の主管課である政策課と協議をする必要があると思われる。
関連の深い事務事業名		・商工業振興事業		

本施策のKPI	単位		H30現状値	R2	R3	R4	R5	R6	最終年度に対する達成率と評価
婚活イベントのカップル成立数 ※H26年度からの累計数	組	計画値	—	56	62	68	74	80	
		実績値	44	48	48	48	48	51	
		達成率%	—	86	77	71	65	64	64
		評価	—	B	C	C	C	C	C

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	3結婚・出産・子育ての希望をかなえる	(1)結婚・出産・子育て支援	出産の希望をかなえ、子育ての不安を解消する取組の推進

【「具体的な施策」に関する取組状況】

R2	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・特定不妊治療に要した費用について、香川県特定不妊治療費助成事業に加えて一部助成 ・父親が参加しやすい日曜日にパパママ教室を8回開催(出産・育児をイメージしやすい指導や講義) ・妊娠届出時、アンケートをもとに母子保健コーディネーター(保健師)が相談や保健指導を行い、安心して出産・育児を迎えられるよう支援 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・特定不妊治療助成 香川県特定不妊治療助成事業の承認を受けた34件 ・パパママ教室 6回 (母48名・父42名・家族3名(延べ人数)) ・母子保健コーディネーター(保健師)による妊娠届出時の面接 206名(実施率100%)
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・特定不妊治療支援事業の申請者は前年度より増加しており、妊娠・出産を希望する夫婦の経済的負担の軽減につながっている。 ・パパママ教室は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により参加者数は減少しているが、安心・安全に教室を開催するための定員(1回につき8組)に毎回達する参加があった。 ・妊娠届出時の母子保健コーディネーター(保健師)による面接を実施し、必要に応じてサービスの紹介や関係機関への連携を行い、妊娠・出産・育児を切れ目なく支援することで、不安の軽減につながっている。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・特定不妊治療支援事業については、今後も事業の周知を図り、適正に助成を行っていく。 ・パパママ教室の安心・安全な開催を継続できるよう、感染症対策の実施と周知をする。また、感染症対策をとりつつも、参加者が体験し具体的なイメージが持てるよう、教室での指導や講義を行う。 ・妊娠期からの切れ目のない継続的な支援を継続する。

関連の深い事務事業名 ・母子保健・支援事業 ・子育て世代包括支援センター事業

R3	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・特定不妊治療に要した費用について、香川県特定不妊治療費助成事業に加えて一部助成 ・父親が参加しやすい日曜日にパパママ教室を8回開催(出産・育児をイメージしやすい指導や講義) ・妊娠届出時、アンケートをもとに母子保健コーディネーター(保健師)が相談や保健指導を行い、安心して出産・育児を迎えられるよう支援 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・特定不妊治療助成 香川県特定不妊治療助成事業の承認を受けた28件 ・パパママ教室 4回 (母36名・父34名・家族5名(延べ人数)) ・母子保健コーディネーター(保健師)による妊娠届出時の面接 185名(実施率100%)
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・特定不妊治療支援事業の申請者は前年度より減少しているが、妊娠・出産を希望する夫婦の経済的負担の軽減につながっている。 ・パパママ教室は新型コロナウイルス感染症対策のため、8回のうち4回を中止したが、1回あたりの参加者数は前年度と同程度あった。 ・妊娠届出時の母子保健コーディネーター(保健師)による面接を実施し、必要に応じてサービスの紹介や関係機関への連携を行い、妊娠・出産・育児を切れ目なく支援することで、不安の軽減につながっている。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・特定不妊治療支援事業については、香川県特定不妊治療助成事業の承認を受けた方が適切に申請し助成を受けられるよう事業の周知に努め、申請者に対しては適正な助成を行う。 ・パパママ教室の安心・安全な開催を継続できるよう、感染症対策の実施と周知をする。また、感染症対策をとりつつも、参加者が体験し具体的なイメージが持てるよう、教室での指導や講義を行う。 ・妊娠期からの切れ目のない継続的な支援を継続する。

関連の深い事務事業名 ・母子保健・支援事業 ・子育て世代包括支援センター事業

R4	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・特定不妊治療に要した費用について、香川県特定不妊治療費助成事業に加えて一部助成 ・父親が参加しやすい日曜日にパパママ教室を8回開催(出産・育児をイメージしやすい指導や講義) ・妊娠届出時、アンケートをもとに母子保健コーディネーター(保健師)が相談や保健指導を行い、安心して出産・育児を迎えられるよう支援 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・特定不妊治療支援事業(治療費の一部助成) 香川県特定不妊治療助成事業の承認を受けた15件 ・このとり応援事業(生殖補助医療費助成事業) 生殖補助医療による不妊治療を行った夫婦 8件 ・パパママ教室 8回(母64名・父61名(延べ人数)) ・母子保健コーディネーター(保健師)による妊娠届出時の面接 147名(実施率100%)
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・特定不妊治療支援事業の申請者は前年度より減少しているが、令和4年度から保険適用となった生殖補助医療(従来の特定不妊治療)に要した費用の一部を負担する、このとり応援事業を新たに開始したため、妊娠・出産を希望する夫婦の経済的負担の軽減につながっている。 ・パパママ教室は感染症対策のため定員を12組とし、妊娠届出数の減少から定員に満たない回もあったものの、夫婦での実参加率は100%と、夫婦がともに妊娠・出産・子育てについて学び考える機会となっている。 ・妊娠届出時の母子保健コーディネーター(保健師)による面接を実施し、必要に応じてサービスの紹介や関係機関への連携を行い、妊娠・出産・育児を切れ目なく支援することで、不安の軽減につながっている。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・特定不妊治療支援事業については、特定不妊治療が令和4年度に保険適用化したため、県の助成事業は令和4年度末で終了となったが、市事業の申請期限は県事業の承認後1年以内であるため、令和5年度まで事業を継続する。また、保険適用後の特定不妊治療(生殖補助医療という。)を受けた方には、このとり応援事業を継続し、適正な助成を行う。 ・パパママ教室の安心・安全な開催を継続できるよう、感染症対策をとりつつ、参加者が体験し具体的なイメージができ、参加者同士の交流がもてるよう、教室での指導や講義を行う。 ・妊娠期からの切れ目のない継続的な支援を継続する。

関連の深い事務事業名 ・母子保健・支援事業 ・子育て世代包括支援センター事業

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課 国保・健康課

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	3結婚・出産・子育ての希望をかなえる	(1)結婚・出産・子育て支援	出産の希望をかなえ、子育ての不安を解消する取組の推進

R5	<p>予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定不妊治療に要した費用について、香川県特定不妊治療費助成事業に加えて一部を助成 ・令和4年度から保険適用となった生殖補助医療(従来の特定不妊治療)に要した費用の一部を助成 ・父親が参加しやすい日曜日にパパママ教室を8回開催(出産・育児をイメージしやすい指導や講義) ・妊娠届出時、アンケートをもとに母子保健コーディネーター(保健師)が相談や保健指導を行い、安心して出産・育児を迎えられるよう支援 	<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定不妊治療支援事業助成延件数 1件 ・このとり応援事業(生殖補助医療費助成事業)助成延件数 40件 ・パパママ教室 8回(母64名・父61名(延人数)) ・母子保健コーディネーター(保健師)による妊娠届出時の面接 139名(実施率100%) 	
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県助成が令和4年度末で終了したことより、特定不妊治療支援事業の助成件数は減少している。保険適用となった生殖補助医療に要した費用の一部を負担するこのとり応援事業の助成件数は増加し、妊娠・出産を希望する夫婦の経済的負担の軽減につながっている。 ・パパママ教室は、夫婦での参加率が高く、夫婦が共に妊娠・出産・子育てについて学び考える機会となっている。 ・妊娠届出時の母子保健コーディネーター(保健師)による面接を実施し、必要に応じてサービスの紹介や関係機関への連携を行い、妊娠・出産・育児を切れ目なく支援することで、不安の軽減につながっている。 	<p>課題と改善策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定不妊治療支援事業は、令和5年度で終了したが、保険適用となった後も経済的な負担のある生殖補助医療費に対して助成を行い、妊娠・出産を希望する夫婦の経済的支援を行っていく必要がある。 ・パパママ教室の安心・安全な開催のため、感染対策を講じ、参加者が出産や育児を具体的にイメージできるよう、また参加者同士の交流が図れるような運営を継続していく。 ・妊娠期からの切れ目のない支援のため、新たに妊娠後期にアンケートを実施し、適宜面談を行い、出産準備への支援を行う。 	
<p>関連の深い事務事業名</p>		<p>・母子保健・支援事業 ・子育て世代包括支援センター事業</p>	

R6	<p>予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度から保険適用となった生殖補助医療に要した費用の一部を助成 ・父親が参加しやすい日曜日にパパママ教室を8回開催(出産・育児をイメージしやすい指導や講義) ・妊娠届出時や妊娠後期のアンケートをもとに母子保健コーディネーター(保健師)が相談や保健指導を行い、安心して出産・育児を迎えられるよう支援 	<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このとり応援事業(生殖補助医療費助成事業)助成延件数 46件 ・パパママ教室 8回(母63名・父56名(延人数)) ・母子保健コーディネーター(保健師)による妊娠届出時の面接 133名(実施率100%) 	
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定不妊治療支援事業は、令和5年度で終了。保険適用となった生殖補助医療に要した費用の一部を負担するこのとり応援事業の助成件数は増加し、妊娠・出産を希望する夫婦の経済的負担の軽減につながっている。 ・パパママ教室は、夫婦での参加率が高く、夫婦が共に妊娠・出産・子育てについて学び考える機会となっている。 ・妊娠届出時の母子保健コーディネーター(保健師)による面接を実施し、必要に応じてサービスの紹介や関係機関への連携を行い、妊娠・出産・育児を切れ目なく支援することで、不安の軽減につながっている。 	<p>課題と改善策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保険適用となった後も経済的な負担のある生殖補助医療費に対して助成を行い、妊娠・出産を希望する夫婦の経済的支援を行っていく必要がある。 ・パパママ教室では、参加者が出産や育児を具体的にイメージできるよう、また参加者同士の交流が図れるような運営を継続していく。 ・妊娠期からの切れ目のない支援のため、母子保健コーディネーター(保健師)による妊娠届出時の面接や妊娠後期のアンケートを継続し、出産・育児に向けた支援を継続する。 	
<p>関連の深い事務事業名</p>		<p>・母子保健・支援事業 ・子育て世代包括支援センター事業</p>	

本施策のKPI	単位		H30現状値	R2	R3	R4	R5	R6	最終年度に対する達成率と評価
			特定不妊治療費助成件数	件	計画値	—	45	45	
		実績値	33	34	28	23	41	46	
		達成率%	—	76	62	51	91	102	
		評価	—	C	C	C	B	A	
パパママ教室の参加者数	人	計画値	—	128	128	128	128	128	
		実績値	121	93	75	125	125	119	
		達成率%	—	73	59	98	98	93	
		評価	—	C	C	B	B	B	

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	子育て支援課
-----	--------

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	3結婚・出産・子育ての希望をかなえる	(1)結婚・出産・子育て支援	子ども医療費助成制度の推進

【「具体的な施策」に関する取組状況】

R2	予定	<ul style="list-style-type: none"> 子ども医療費の受給対象者に、保険診療に係る医療費の自己負担分を助成 令和2年8月診療分より、窓口負担無償化の制度拡充 	実績	<ul style="list-style-type: none"> 対象児2,763人 入院104件、外来29,759件に係る医療費のうち自己負担分67,833,759円を支給 県内医療機関の県内現物給付を開始（令和2年8月診療分より）
	評価	<ul style="list-style-type: none"> 県内現物給付の開始により、これまで大川保健医療圏域外で行っていた償還手続の煩雑さを解消できた。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> 日本スポーツ振興センター災害共済給付等、他制度との重複受給に留意するとともに、学校教育課と連携して制度の周知を行っていく。

関連の深い事務事業名 ・子ども医療費支給事業

R3	予定	<ul style="list-style-type: none"> 子ども医療費の受給対象者に、保険診療に係る医療費の自己負担分を助成 	実績	<ul style="list-style-type: none"> 対象児2,649人 入院69件、外来32,692件に係る医療費のうち自己負担分71,788,662円を支給
	評価	<ul style="list-style-type: none"> 県内現物給付の開始により、これまで大川保健医療圏域外で行っていた償還手続の煩雑さを解消できた。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> 日本スポーツ振興センター災害共済給付等、他制度との重複受給に留意するとともに、学校教育課と連携して制度の周知を行っていく。

関連の深い事務事業名 ・子ども医療費支給事業

R4	予定	<ul style="list-style-type: none"> 子ども医療費の受給対象者に、保険診療に係る医療費の自己負担分を助成 	実績	<ul style="list-style-type: none"> 対象児2,613人 入院58件、外来32,204件に係る医療費のうち自己負担分72,043,209円を支給
	評価	<ul style="list-style-type: none"> 県内現物給付の実施により、県内医療機関への受診しやすさを維持している。 県外医療機関の受診分については償還対応しているが、医療機関の証明がなくても領収書で医療費が確認できれば受付するなど、柔軟に対応している。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> 日本スポーツ振興センター災害共済給付等、他制度との重複受給に留意するなど、適正で趣旨に沿った医療費助成となるよう学校教育課との連携を密にする。

関連の深い事務事業名 ・子ども医療費支給事業

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	子育て支援課
-----	--------

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	3結婚・出産・子育ての希望をかなえる	(1)結婚・出産・子育て支援	子ども医療費助成制度の推進

R5	予定	<ul style="list-style-type: none"> 子ども医療費の受給対象者に、保険診療に係る医療費の自己負担分を助成 令和5年8月診療分より乳幼児医療費と子ども医療費の助成制度を一本化 対象児童の年齢を18歳年度末までに拡充 	実績	<ul style="list-style-type: none"> 対象児2,648人 入院91件、外来33,343件に係る医療費のうち自己負担分80,438,057円を支給
	評価	<ul style="list-style-type: none"> 県内現物給付の実施により、県内医療機関への受診しやすさを維持している。 県外医療機関の受診分については償還対応しているが、医療機関の証明がなくても領収書で医療費が確認できれば受付するなど、柔軟に対応している。 対象児童の年齢を18歳年度末までに拡充したことにより、さらなる子どもの健康増進・子育て世帯の経済的負担軽減につながっている。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> 日本スポーツ振興センター災害共済給付等、他制度との重複受給に留意するとともに、学校教育課と連携して制度の周知を行っていく。

関連の深い事務事業名 ・子ども医療費支給事業

R6	予定	<ul style="list-style-type: none"> 子ども医療費の受給対象者に、保険診療に係る医療費の自己負担分を助成 	実績	<ul style="list-style-type: none"> 対象児4,720人 入院386件、外来81,591件に係る医療費のうち自己負担分179,269,242円を支給
	評価	<ul style="list-style-type: none"> 県内現物給付の実施により、県内医療機関への受診しやすさを維持している。 県外医療機関の受診分については償還対応しているが、医療機関の証明がなくても領収書で医療費が確認できれば受付するなど、柔軟に対応している。 対象児童の年齢を18歳年度末までに拡充したことにより、さらなる子どもの健康増進・子育て世帯の経済的負担軽減につながっている。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> 日本スポーツ振興センター災害共済給付等、他制度との重複受給に留意するとともに、学校教育課と連携して制度の周知を行っていく。

関連の深い事務事業名 ・子ども医療費支給事業

本施策のKPI	単位		H30現状値	R2	R3	R4	R5	R6	最終年度に対する達成率と評価
子ども医療費の受給件数	人	計画値	—	36,000	38,000	37,600	37,300	37,000	222 A
		実績値	32,028	29,863	32,761	32,262	33,434	81,977	
		達成率%	—	83	86	86	90	222	
		評価	—	B	B	B	B	A	

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課

子育て支援課

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	3結婚・出産・子育ての希望をかなえる	(1)結婚・出産・子育て支援	放課後の居場所づくりの推進

【「具体的な施策」に関する取組状況】

R2	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブ入会児童 計画630人 ・放課後児童クラブ指導員 必要人数44名 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・入会児童 647人(年度途中入退会を含む) ・放課後主任児童指導員及び放課後児童指導員 38名
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年の加入率が増加したことにより、入会児童数が増えた。 ・児童の健全育成の充実を図るための指導員について、随時募集を行い積極的な採用を行った(当初32名であったが38名まで増加)ものの必要人数44名の確保には至らなかった。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、4年生までの受入れとしているが、5・6年生の受入れの検討が必要となっているものの、拡充に伴う指導員や施設が不足している。専用施設の整備や空き教室の活用も踏まえ、受入れの拡充を進める。

関連の深い事務事業名 ・放課後児童クラブ事業 ・志度放課後児童クラブ事業 ・鴨庄放課後児童クラブ事業 ・津田放課後児童クラブ事業

R3	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブ入会児童 計画630人 ・放課後児童クラブ指導員 必要人数44名 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・入会児童 649人(年度途中入退会を含む) ・放課後主任児童指導員及び放課後児童指導員 43名(年度途中離職者含む)
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年の加入率が増加したことにより、入会児童数が増えた。 ・学年拡充に向け、指導員の人員確保や処遇改善を行った。また、教育施設(学校・公民館)の利用ができるよう教育委員会及び学校と協議を行った。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、4年生までの受入れとしているが、令和5年4月1日から5・6年生の受入れを拡充する。拡充に伴う指導員や施設の不足については、主任児童指導員の増員や児童指導員の処遇改善を図るとともに、空き教室の活用も踏まえ、受入れの拡充を進める。

関連の深い事務事業名 ・放課後児童クラブ事業 ・志度放課後児童クラブ事業 ・鴨庄放課後児童クラブ事業 ・津田放課後児童クラブ事業

R4	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブ入会児童 計画630人 ・放課後児童クラブ指導員 必要人数47名 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・入会児童 691人(年度途中入退会を含む) ・放課後主任児童指導員及び放課後児童指導員 49名(年度途中離職者含む)
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年の加入率が増加したことにより、入会児童数が増えた。 ・学年拡充に向け、指導員の人員確保や処遇改善を行った。 ・一部の児童クラブでは定員オーバーになっており場所の確保が課題である。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年4月1日から5・6年生まで受入れを拡充するため、児童指導員の増員や処遇改善を図るとともに、空き教室の活用も踏まえ、受入体制の充実努める。 ・造田児童館から放課後児童クラブの小学校内への移転計画を進める。

関連の深い事務事業名 ・放課後児童クラブ事業 ・志度放課後児童クラブ事業 ・鴨庄放課後児童クラブ事業 ・津田放課後児童クラブ事業

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	子育て支援課
-----	--------

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	3結婚・出産・子育ての希望をかなえる	(1)結婚・出産・子育て支援	放課後の居場所づくりの推進

R5	予定	・放課後児童クラブ入会児童 計画644人 ・放課後児童クラブ指導員 必要人数47名	実績	・入会児童 731人(年度途中入退会を含む) ・放課後主任児童指導員及び放課後児童指導員 50名(年度途中離職者含む)
	評価	・低学年の加入率が増加したことにより、入会児童数が増えた。 ・安定的な運営に向け、児童支援員の人員確保や処遇改善を行った。 ・一部の児童クラブでは定員オーバーになっており場所の確保が課題である。 ・造田児童館から放課後児童クラブの小学校内への移転ができた	課題と改善策	・引き続き児童支援員の増員や処遇改善を図るとともに、空き教室の活用も踏まえ、受入体制の充実に努める。
関連の深い事務事業名		・放課後児童クラブ事業 ・志度放課後児童クラブ事業 ・鴨庄放課後児童クラブ事業 ・津田放課後児童クラブ事業		

R6	予定	・放課後児童クラブ入会児童 計画750人 ・放課後児童クラブ指導員 必要人数52名	実績	・入会児童 751人(年度途中入退会を含む) ・放課後主任児童指導員及び放課後児童指導員 47名(年度途中離職者含む)
	評価	・放課後児童支援員の安定的な確保及び運動場・体育館等の学校施設の活用により児童の受入体制の充実に努めた。しかし、共働き家庭の増加に伴い利用児童数も増加しており、十分な活動スペースの確保に苦慮している。	課題と改善策	・児童支援員の人材を確保し、研修による資質向上及び処遇改善を図るとともに、空き教室の活用も踏まえ、受入体制の充実に努める。
関連の深い事務事業名		放課後児童クラブ運営事業		

本施策のKPI	単位		H30現状値	R2	R3	R4	R5	R6	最終年度に対する達成率と評価
年間登録児童数(放課後児童クラブ)	人	計画値	—	630	630	750	750	750	
		実績値	624	647	649	691	731	751	
		達成率%	—	103	103	92	97	100	
		評価	—	A	A	B	B	A	A

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	3結婚・出産・子育ての希望をかなえる	(1)結婚・出産・子育て支援	安心して子育てできる環境づくりの推進

【「具体的な施策」に関する取組状況】

R2	予定	・スマートフォン向けの子育て支援アプリ「さぬきッズダイアリー」を用いて、子育て世帯向けの行政情報や児童の予防接種等の通知、児童館や病院等の子育て関連施設の情報を提供	実績	・乳幼児・妊産婦健診のお知らせ 14件 ・パパママ教室のお知らせ 8件 ・タッチケア教室のお知らせ 6件 ・1歳6か月等健診のお知らせ 35件
	評価	・広報紙やHPに掲載するだけでは他の情報に埋もれがちな子育て支援情報を、子育てをしている人に直接届けることができている。	課題と改善策	・現在、市からの情報発信は国保・健康課からのお知らせがほとんどであるので、子育て支援課や幼保こども園課からの情報発信も活発にする。

関連の深い事務事業名 ・子ども・子育て支援事業

R3	予定	・スマートフォン向けの子育て支援アプリ「さぬきッズダイアリー」を用いて、子育て世帯向けの行政情報や児童の予防接種等の通知、児童館や病院等の子育て関連施設の情報を提供	実績	・乳幼児・妊産婦相談のお知らせ 14件 ・パパママ教室のお知らせ 2件 ・タッチケア教室のお知らせ 6件 ・1歳6か月等健診のお知らせ 20件 ・子育て支援課からのお知らせ 4件
	評価	・広報紙やHPに掲載するだけでは他の情報に埋もれがちな子育て支援情報を、子育てをしている人に直接届けることができている。 ・子育て支援課のサービスや手続きについてのお知らせを掲載した。	課題と改善策	・現在、市からの情報発信は国保・健康課からのお知らせがほとんどであるので、今後も子育て支援課や幼保こども園課からの情報発信も活発にする。

関連の深い事務事業名 ・子ども・子育て支援事業

R4	予定	・スマートフォン向けの子育て支援アプリ「さぬきッズダイアリー」を用いて、子育て世帯向けの行政情報や児童の予防接種等の通知、児童館や病院等の子育て関連施設の情報を提供	実績	・乳幼児・妊産婦相談のお知らせ 12件 ・パパママ教室のお知らせ 4件 ・ベビーマッサージ教室のお知らせ 6件 ・1歳6か月等健診のお知らせ 24件 ・子育て支援課からのお知らせや地域イベント 5件 ・新型コロナウイルス感染症関連のお知らせ 4件
	評価	・広報誌やHPに掲載するだけでは他の情報に埋もれがちな子育て支援情報を、子育てをしている人に直接届けることができている。 ・子育て支援課のサービスや手続き、地域イベントについてのお知らせを掲載した。	課題と改善策	・現在、市からの情報発信は国保・健康課からのお知らせが中心であるので、今後も子育て支援課や幼保こども園課からの情報発信に努める。

関連の深い事務事業名 ・子ども・子育て支援事業

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	子育て支援課
-----	--------

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	3結婚・出産・子育ての希望をかなえる	(1)結婚・出産・子育て支援	安心して子育てできる環境づくりの推進

R5	予定	・スマートフォン向けの子育て支援アプリ「さぬきッズダイアリー」を用いて、子育て世帯向けの行政情報や児童の予防接種等の通知、児童館や病院等の子育て関連施設の情報を提供	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児・妊産婦相談のお知らせ 12件 ・パパママ教室のお知らせ 4件 ・ベビーマッサージ教室のお知らせ 6件 ・3,4か月健診のお知らせ 12件 ・妊娠8か月アンケートのお知らせ 10回 ・地域イベントのお知らせ 2件
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙やHPに掲載するだけでは他の情報に埋もれがちな子育て支援情報を、子育てをしている人に直接届けることができている。 ・地域イベントについてのお知らせを掲載した。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、市からの情報発信は国保・健康課からのお知らせが中心であるので、今後も子育て支援課や幼保こども園課からの情報発信に努める。
関連の深い事務事業名		子ども・子育て支援事業		

R6	予定	・スマートフォン向けの子育て支援アプリ「さぬきッズダイアリー」を用いて、子育て世帯向けの行政情報や児童の予防接種等の通知、児童館や病院等の子育て関連施設の情報を提供	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児・妊産婦相談のお知らせ 12件 ・パパママ教室のお知らせ 4件 ・ベビーマッサージ教室のお知らせ 6件 ・妊婦歯科健診のお知らせ 5件 ・妊娠8か月アンケートのお知らせ 12件 ・地域イベントのお知らせ 2件
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙やHPに掲載するだけでは他の情報に埋もれがちな子育て支援情報を、子育てをしている人に直接届けることができている。 ・地域イベントについてのお知らせを掲載した。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、市からの情報発信は国保・健康課からのお知らせが中心であるので、今後も子育て支援課や幼保こども園課からの情報発信に努める。
関連の深い事務事業名		子ども・子育て支援事業		

本施策のKPI	単位		H30現状値	R2	R3	R4	R5	R6	最終年度に対する達成率と評価
子育て支援アプリ登録者数	件	計画値	—	300	400	500	600	700	
		実績値	160	322	385	439	505	563	
		達成率%	—	107	96	88	84	80	
		評価	—	A	B	B	B	B	

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	商工観光課
-----	-------

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	3結婚・出産・子育ての希望をかなえる	(2)働き方改革の推進	ワーク・ライフ・バランスの推進

【「具体的な施策」に関する取組状況】

R2	予定	・ワークライフバランス取組促進に向けた普及啓発活動の実施	実績	・啓発チラシの配布 37社
	評価	・例年より多くの企業に啓発することができた。	課題と改善策	・市内にはワークライフバランス推進事業所が少ない状況なので、周知・啓発を引き続き行う。

関連の深い事務事業名	・地域就職サポートセンター事業
------------	-----------------

R3	予定	・ワークライフバランス取組促進に向けた普及啓発活動の実施	実績	・啓発チラシの配布 35社
	評価	予定の啓発数より多く啓発することができた。	課題と改善策	・市内にはワークライフバランス推進事業所が少ない状況なので、周知・啓発を引き続き行う。

関連の深い事務事業名	・地域就職サポートセンター事業
------------	-----------------

R4	予定	・ワークライフバランス取組促進に向けた普及啓発活動の実施	実績	・啓発チラシの配布 27社
	評価	予定の啓発数より多く啓発することができた。	課題と改善策	・市内にはワークライフバランス推進事業所が少ない状況なので、周知・啓発を引き続き行う。

関連の深い事務事業名	・地域就職サポートセンター事業
------------	-----------------

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	商工観光課
-----	-------

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	3結婚・出産・子育ての希望をかなえる	(2)働き方改革の推進	ワーク・ライフ・バランスの推進

R5	予定	・ワークライフバランス取組促進に向けた普及啓発活動の実施	実績	・啓発チラシの配布 34社
	評価	配布事業所数は計画に届かなかったものの、延べ配布数ベースでは予定の啓発数を上回るより多く啓発することができた。	課題と改善策	・市内にはワークライフバランス推進事業所が少ない状況なので、周知・啓発を引き続き行う。

関連の深い事務事業名 ・地域就職サポートセンター事業

R6	予定	・ワークライフバランス取組促進に向けた普及啓発活動の実施	実績	・啓発チラシの配布 44社
	評価	・企業に関連チラシやリーフレットを配布し、情報提供することを通して、ワーク・ライフ・バランスへの普及啓発を行うことができた。	課題と改善策	・市内においてはワーク・ライフ・バランスを推進する企業が少ない現状がある。(厚生労働省が指定するくみん認定企業2社) 誰もが働きやすい職場環境づくりのための取組は労働局や県の助成金が活用できるケースもあるため、引き続き有益な情報提供ができるよう取り組む。

関連の深い事務事業名 ・地域就職サポートセンター事業

本施策のKPI	単位		H30現状値	R2	R3	R4	R5	R6	最終年度に対する達成率と評価
ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた市内企業への啓発数	社	計画値	—	25	25	35	35	35	
		実績値	25	37	35	27	34		
		達成率%	—	148	140	77	97	126	126
		評価	—	A	A	C	B	A	A

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	3結婚・出産・子育ての希望をかなえる	(2)働き方改革の推進	事業所等における女性活躍推進の支援

【「具体的な施策」に関する取組状況】

R2	予定	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画週間パネル展での啓発 HPでの啓発 市商工会青年部への啓発 人権・同和問題企業研修での啓発 	実績	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画週間パネル展で、関連データ、市内先進事例の紹介、啓発ポスター等を展示(6/20~6/27) HPでの啓発(県国事業の周知) 市商工会青年部員への女性活躍アンケート実施、情報提供 56事業所 執行部との意見交換会の実施 5事業所 人権・同和問題企業研修で、県内企業トップによる取組事例の紹介、チラシ配布 31事業所
	評価	<p>市広報媒体等を使い広く市民に周知するとともに、事業主に対するアプローチも行き、より具体的な取組の第一歩となった。</p>	課題と改善策	<p>女性活躍の推進は、事業所や地域の持続可能な発展のためには欠かすことのできない取組である。より実効性のあるものとするために、関係者との「対話」「協働」を重視した取組を行う。</p>

関連の深い事務事業名	男女共同参画推進事業
------------	------------

R3	予定	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画週間パネル展での啓発 HPでの啓発 市商工会青年部への啓発 人権・同和問題企業研修での啓発 	実績	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画週間パネル展で、関連データ、市内先進事例の紹介、啓発ポスター等を展示(6/19~6/26) HPでの啓発(国事業の周知等) 市商工会青年部員を対象とした女性活躍推進セミナー開催、執行部との意見交換会の実施 事業所への情報提供 38事業所
	評価	<p>引続き、市広報媒体等を使い広く市民に周知した。また、事業主に対する取組をより実効性のあるものとするために、関係者との「対話」「協働」を重視し、理解促進・意識啓発を図ったところ、女性活躍推進に関する理解や自社の課題についての認識を深めることにつながった。</p>	課題と改善策	<p>各事業所が具体的な取組を実践できるよう引続き支援するとともに、制度周知等より広く啓発を行う。</p>

関連の深い事務事業名	男女共同参画推進事業
------------	------------

R4	予定	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画週間パネル展での啓発 HPでの啓発 市商工会への啓発 人権・同和問題企業研修での啓発 	実績	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画週間パネル展で、関連データ、啓発ポスター等を展示(6/18~6/25) HPでの啓発(国事業の周知等) 市商工会青年部員を対象とした女性活躍推進セミナー開催、執行部との意見交換会の実施、市内女性活躍取組事業所の紹介 事業所への情報提供 28事業所
	評価	<p>市広報媒体等を使い広く市民に周知するとともに、事業主が課題と感じている職場でのコミュニケーション向上を図るための研修を実施した。事業主の主体的な取組への支援を継続し、女性活躍に関する取組を実施した先進事業所の紹介を行うことにつながった。</p>	課題と改善策	<p>パネル展や研修等の機会を活用し、制度周知等、広く啓発を行う。また事業所に対しても、具体的な女性活躍に関する取組の実施につながるような情報提供を引続き実施する。</p>

関連の深い事務事業名	男女共同参画推進事業
------------	------------

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	人権推進課・商工観光課
-----	-------------

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	3結婚・出産・子育ての希望をかなえる	(2)働き方改革の推進	事業所等における女性活躍推進の支援

R5	予定	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画週間パネル展での啓発 HPでの啓発 事業所への情報提供 市商工会への啓発 人権・同和問題企業研修での啓発 	実績	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画週間パネル展で、関連データ、啓発ポスター等を展示(6/17~6/23) HPでの啓発(国事業の周知等) 事業所への情報提供 43事業所 市商工会青年部員対象の女性活躍推進セミナー開催 9事業所 人権・同和問題企業研修の開催(テーマ:はたらきやすい職場、女性活躍推進) 23事業所
	評価	市広報媒体を使い広く市民に周知するとともに、制度等について事業主への積極的な情報提供を行った。また、セミナーや研修の開催を通じ、誰もが対等・協力関係にある組織づくりの重要性や、女性が活躍できる職場環境の整備が事業所にもたらす効果への理解を深めることにつながったと考える。	課題と改善策	今後も引続き、広く市民に対する制度等についての情報提供を行うとともに、研修等女性活躍推進の重要性や事業所での取組のヒントを得られるような機会の提供に取組む。
関連の深い事務事業名		男女共同参画推進事業		

R6	予定	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画週間パネル展での啓発 HPでの啓発 事業所への情報提供 市商工会への啓発 人権・同和問題企業研修での啓発 	実績	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画週間パネル展で、関連データ、啓発ポスター等を展示(6/22~6/28) HPでの啓発(国事業の周知等) 事業所への情報提供 65事業所 市商工会青年部員対象の女性活躍推進セミナー開催 8事業所 人権・同和問題企業研修の開催(テーマ:誰もがはたらきやすい職場づくり、女性活躍) 27事業所
	評価	市広報媒体を使い広く市民に周知を行った。セミナーや研修の開催を通じ、誰もが活躍できる職場環境の整備の重要性及び効果について理解を深める事業に取り組んだ。	課題と改善策	今後も引続き、国や県の制度についての情報提供を行うとともに、講演会や研修により、市民や事業所が女性活躍推進の重要性や取組のヒントを得られるような機会を提供する。
関連の深い事務事業名		男女共同参画推進事業		

本施策のKPI	単位		H30現状値	R2	R3	R4	R5	R6	最終年度に対する達成率と評価
女性活躍推進に向けた市内企業への啓発数	社	計画値	—	40	40	40	40	40	
		実績値	38	56	38	38	43		
		達成率%	—	140	95	95	108	163	163
		評価	—	A	B	B	A	A	A

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	3結婚・出産・子育ての希望をかなえる	(2)働き方改革の推進	病児・病後児保育の継続

【「具体的な施策」に関する取組状況】

R2	予定	・病気の子どもを預かる「病児・病後児保育室」業務委託の継続	実績	・年間243日開室 ・病児・病後児利用人数 1日平均1.0人 年間231人
	評価	・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、利用人数が大幅に減少した。 ・利用人数の減少に伴い、利用を断った割合は減少している。	課題と改善策	・共働き家庭は増加しており、今後も子育て支援の一環として施設の周知等、利用に関する広報活動を行うことで、稼働率の増加を図る。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、今後も利用人数が減少した状態が継続する可能性があり、状況を確認しながら病児保育の受入体制の見直しを検討する必要がある。

関連の深い事務事業名	・病児・病後児保育事業
------------	-------------

R3	予定	・病気の子どもを預かる「病児・病後児保育室」業務委託の継続	実績	病児・病後児保育室「コスモス」 定員4人 ・年間242日開室 ・病児・病後児利用人数 1日平均1.7人 年間411人 病児保育室「心愛」 定員2人 ・年間241日開室 ・病児・病後児利用人数 1日平均0.2人 年間56人
	評価	・病児保育室「心愛」の新設により市内の病児保育施設が2施設となり、利用者の利便性が向上した。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により利用者は減少しているものの、令和2年度より改善している。	課題と改善策	・共働き家庭は増加しており、今後も子育て支援の一環として利用を促進する。施設の周知等、利用に関する広報活動を行うことで、稼働率の増加を図る。

関連の深い事務事業名	・病児・病後児保育事業
------------	-------------

R4	予定	・病気の子どもを預かる「病児・病後児保育室」業務委託の継続 ・病児保育事業の委託(市内2施設)	実績	病児・病後児保育室「コスモス」 定員4人 ・年間243日開室 ・病児・病後児利用人数 1日平均1.8人 年間441人 病児保育室「心愛」 定員2人 ・年間242日開室 ・病児・病後児利用人数 1日平均0.2人 年間62人
	評価	・令和3年度の病児保育室「心愛」新設により市内の病児保育施設が2施設となり、利用者の利便性が向上した。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により減少していた利用者数は回復傾向である。	課題と改善策	・核家族化の進展に加えて、共働き世帯も増加傾向であり、今後も子育て支援の一環として利用を促進する。受入れ施設の周知等、利用に関する広報活動を行うことで、稼働率の増加を図る。

関連の深い事務事業名	・病児・病後児保育事業
------------	-------------

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	子育て支援課・市民病院
-----	-------------

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	3結婚・出産・子育ての希望をかなえる	(2)働き方改革の推進	病児・病後児保育の継続

R5	予定	・病気の子どもを預かる「病児・病後児保育室」業務委託の継続(市内2施設)	実績	病児・病後児保育室「コスモス」 定員4人 ・年間243日開室 ・病児・病後児利用人数 1日平均2.0人 年間496人 病児保育室「心愛」 定員2人 ・年間204日開室 ・病児・病後児利用人数 1日平均0.3人 年間60人
	評価	・利用者数は、新型コロナウイルス感染症拡大以前と同程度まで回復しつつある。 ・従事する職員の休職に伴い一時的に病児保育室「心愛」を休止したため、利用者に近隣施設を紹介して対応した。	課題と改善策	・核家族化の進展に加えて、共働き世帯も増加傾向であり、今後も子育て支援の一環として利用を促進する。引き続き受入れ施設の周知等、利用に関する広報活動を行うことで、稼働率の増加を図る。
関連の深い事務事業名		・病児・病後児保育事業		

R6	予定	・病気の子どもを預かる「病児・病後児保育室」業務委託の継続(市内2施設)	実績	病児・病後児保育室「コスモス」 定員4人 ・年間250日開室 ・病児・病後児利用人数1日平均1.08人年間269人 病児保育室「心愛」 定員2人 ・年間240日開室 ・病児・病後児利用人数1日平均0.24人年間57人
	評価	・利用者数は、R5年度は前年度より増加したが、R6年度は、減少が見られた。 ・利用するまでに手続きの煩雑さや方法の種類の少なさ、時間が掛かるといった利用する為のハードルがある様子である。	課題と改善策	・核家族化の進展に加えて、共働き世帯も増加傾向であり、今後も子育て支援の一環として利用を促進する。引き続き受入れ施設の周知等、利用に関する広報活動を行うことで、稼働率の増加を図る。
関連の深い事務事業名		さぬき市病児・病後児保育事業		

本施策のKPI	単位		H30現状値	R2	R3	R4	R5	R6	最終年度に対する達成率と評価
年間受入延べ人数 ※病児・病後児保育室	人 (延べ人数)	計画値	—	650	800	450	450	450	
		実績値	627	231	467	503	556	326	
		達成率%	—	36	58	112	124	72	72
		評価	—	C	C	A	A	C	C

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	3結婚・出産・子育ての希望をかなえる	(3)多様性のある人材の育成	ふるさと教育の推進

【「具体的な施策」に関する取組状況】

R2	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・さぬき北小学校と志度中学校についてふるさとを教材とした学習活動を推進する研究校に指定 ・その他の学校においては、地域の自然や産業、公共施設等を活用して、校区を中心とするふるさとの良さに触れ、学習する活動を展開 ・市初任者研修会を「前山おへんろ交流サロン」で行い、現地研修を実施 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・研究指定校の校長2名により取組の成果等を2月の市内園長・校長研修会で発表
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、校外での学習は満足に行うことはできなかったが、各校で工夫を凝らし、校内でしっかりと学習を深めることができた。 ・初任者研修では、ふるさとについて学びを深めることができ、参加者からも高評価を得た。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・校内での活動が多かったことから、次年度は校外で実物に触れる機会を多く設定する。困難な際は、ICT機器を活用し、リモート学習等で学習が深められるよう工夫する。 ・過去に一度も研究指定を受けていない学校があるため、R4年度は必ずその学校を指定することとする。

関連の深い事務事業名	・学校教育推進事業
------------	-----------

R3	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・さぬき北小学校と志度中学校は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により十分な活動ができなかったため、引き続きふるさとを教材とした学習活動を推進する研究校に指定 ・その他の学校においては、地域の自然や産業、公共施設等を活用して、校区を中心とするふるさとの良さに触れ、学習する活動を展開 ・市初任者研修会を「平賀源内記念館」で行い、現地研修を実施 ・社会科副読本「わたしたちのさぬき市」の全面改訂 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・研究指定校の校長2名により取組の成果等を2月の市内園長・校長研修会で発表 ・社会科副読本「わたしたちのさぬき市」の全面改訂を実施
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・研究指定校では、コロナ禍の中、工夫した取組を実施し、子どもたちはふるさとについて考える機会をもつことができた。 ・コロナだからできないではなく、学校でできる新しい視点の取組を工夫し、実践できた。 ・初任者研修では、予定を変更して「雨滝自然科学館」で現地研修を行った。フィールドワークを通してふるさとについて学びを深めることができ、参加者からも高評価を得た。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の状況によって、計画通り取り組みが実施できなかった。それに伴い、地域の人との交流の回数が減ってしまった。 ・オンラインを活用するなど、代替案を工夫したい。

関連の深い事務事業名	・学校教育推進事業
------------	-----------

R4	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・さぬき南小学校と長尾中学校をふるさと教育の研究校に指定し、ふるさとを教材とした学習活動を実施 ・その他の学校においては、地域の自然や産業、公共施設等を活用して、校区を中心とするふるさとの良さに触れ、学習する活動を展開 ・社会科副読本「わたしたちのさぬき市」を追加配布 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・研究指定校の校長2名により取組の成果等を2月の市内園長・校長研修会で発表 ・市内の小学3年生に社会科副読本「わたしたちのさぬき市」の配布
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・研究指定校では、コロナ禍の中、工夫した取組を実施し、子どもたちはふるさとについて考える機会をもつことができた。 ・前年度より地域に出て学習できる機会が増えた。感染症対策を講じながら地域の施設等を活用した学習を実践し、ふるさとの良さに触れることができた。 ・初任者研修では、「富田茶臼山古墳」「さぬき市歴史民俗資料館」で現地研修を行った。フィールドワークを通してふるさとについての学びを深めることができ、参加者からも高評価を得た。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の状況によって、地域の人との交流の回数が減っている。 ・オンラインを活用するなど、代替案を工夫したい。

関連の深い事務事業名	・学校教育推進事業
------------	-----------

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	学校教育課
-----	-------

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	3結婚・出産・子育ての希望をかなえる	(3)多様性のある人材の育成	ふるさと教育の推進

R5	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・長尾小学校と長尾中学校をふるさと教育の研究校に指定し、ふるさとを教材とした学習活動を実施 ・その他の学校においては、地域の自然や産業、公共施設等を活用して、校区を中心とするふるさとの良さに触れ、学習する活動を展開 ・社会科副読本「わたしたちのさぬき市」を追加配布 ・市主催の初任者研修で地域の施設を活用して、研修を実施 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・長尾小学校と長尾中学校をふるさと教育の研究校に指定し、ふるさとを教材とした学習活動を実施した。また、その成果を園長・校長研修会において発表した。 ・各学校が市内の文化財や施設、学校支援ボランティア等を活用し工夫した取り組みを行った。 ・新小学3年生に社会科副読本「わたしたちのさぬき市」を配布した。 ・市主催の初任者研修を、へんろ資料館において行った。
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科副読本を活用した授業や、市内の文化財や施設、学校支援ボランティア等を活用した取り組みを行ったことで、ふるさとに対する愛着や誇りの心を育むことができた。また、研究指定校の実践発表により、ふるさとを教材とした学習活動や地域人材を活用した取り組みについて共有することができた。 ・市主催の初任者研修では、若い教員が地元の歴史やお接待文化について知り、ふるさと教育への意欲を高めることができた。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は、地域のことを教えてもらったり、体験させてもらったりすることに加え、地域の一員として、地域に働きかけていこうとする意欲や態度、実践力を育む学習活動の推進が必要である。

関連の深い事務事業名	・学校教育推進事業
------------	-----------

R6	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・津田小学校とさぬき南中学校をふるさと教育の研究校に指定し、ふるさとを教材とした学習活動を実施 ・その他の学校においては、地域の自然や産業、公共施設等を活用して、校区を中心とするふるさとの良さに触れ、学習する活動を展開 ・社会科副読本「わたしたちのさぬき市」の改訂 ・市主催の初任者研修で地域の施設を活用した研修の実施 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・津田小学校とさぬき南中学校をふるさと教育の研究校に指定し、ふるさとを教材とした学習活動を実施した。また、その成果を園長・校長研修会において発表した。 ・各学校が市内の文化財や施設、学校支援ボランティア等を活用し工夫した取り組みを行った。 ・新小学3年生に社会科副読本「わたしたちのさぬき市」を配布した。 ・市主催の初任者研修を、ウラツダエリアにおいて行った。
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科副読本を活用した授業や、市内の文化財や施設、学校支援ボランティア等を活用した取り組みを行ったことで、ふるさとに対する愛着や誇りの心を育むことができた。また、研究指定校の実践発表により、ふるさとを教材とした学習活動や地域人材を活用した取り組みについて共有することができた。 ・市主催の初任者研修では、津田町を中心に地域振興に力を入れている株式会社ゲンナイ代表取締役黒川氏を講師に招き「まちづくりの視点から見る学校の役割について」と題した講話をいただいたり、実際にウラツダエリアを散策したりして、ふるさと教育への意欲を高めることができた。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特色についての知識を得たり、体験活動をしたりに加え、地域の一員として、地域に働きかけていこうとする意欲や態度、実践力を育む、広がりや深まりのある活動につなげていく必要がある。

関連の深い事務事業名	・学校教育推進事業
------------	-----------

本施策のKPI	単位	H30現状値	R2	R3	R4	R5	R6	最終年度に対する達成率と評価		
「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」の割合 ※全国学力・学習状況調査質問紙調査	%	計画値(小6)	—	58.0	58.0	58.5	58.5		59.0	
		計画値(中3)	—	40.0	40.0	40.5	40.5		41.0	
		実績値(小6)	50.7	調査なし	52.5	39.4	73.1		85.9	
		実績値(中3)	37.7	調査なし	45.7	40.4	62.5		80.2	
		達成率(小6)	—	—	91	67.00	125.00		146.00	146
		達成率(中3)	—	—	114	100.00	154.00		196.00	196
		達成率%	—	—	103	84.00	140.00		171.00	171
		評価	—	—	D	A	B	A	A	A

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	学校教育課
-----	-------

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	3結婚・出産・子育ての希望をかなえる	(3)多様性のある人材の育成	ひとりひとりの頑張りを評価する教育の推進

【「具体的な施策」に関する取組状況】

R2	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・面談等を通して児童生徒・保護者等が抱える問題に対応するスクールソーシャルワーカー3名を、市内小中学校10校に配置 ・問題の未然防止や早期対応に取り組むため、グループワークやソーシャルスキルトレーニングの実施 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士等としての専門性を生かし、生活の中で悩みを抱える児童生徒やその保護者との面談等を通して、学校を中心とする関係者が問題を共有し、対応することができた。 ・グループワークやソーシャルスキルトレーニングの実施や学校内でのチーム体制の構築などの支援を行い、問題の未然防止や早期対応に取り組んだ。
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム学校としての意識が向上し、情報交換や対応事例研究も充実したことから、保護者・担任とのつながりが密になり、好転した事例も多く見られた。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談体制に係る人員配置について、実態等を踏まえ、流動的に配置できるよう検討する必要がある。 ・不登校児童生徒数が増加傾向となる中で、詳細な実態把握を行い、単に不登校児童生徒数の減少を目指すのではなく、適切な支援のあり方を考えられるような研修の充実を図る。

関連の深い事務事業名	・教育相談体制支援事業
------------	-------------

R3	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・面談等を通して児童生徒・保護者等が抱える問題に対応するスクールソーシャルワーカー3名を、市内小中学校10校に配置 ・問題の未然防止や早期対応に取り組むため、グループワークやソーシャルスキルトレーニングの実施 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士等としての専門性を生かし、生活の中で悩みを抱える児童生徒やその保護者との面談等を通して、学校を中心とする関係者が問題を共有し、対応することができた。 ・グループワークやソーシャルスキルトレーニングの実施、学校内での支援・指導体制の構築などの支援を行い、問題の未然防止や早期対応に取り組んだ。
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・学校内で定期的にケース会を開く等の支援・指導体制が構築され、情報交換や対応事例研究も充実したことから、児童生徒と関わる教職員等と支援や指導の共有を図ることができ、好転した事例も多く見られた。 ・児童生徒や保護者、学校の必要に応じて、グループワークやスクールソーシャルトレーニングを実施した。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談体制に係る人員配置について、実態等を踏まえ、流動的に配置できるよう検討する必要がある。 ・不登校児童生徒数が増加傾向となる中で、詳細な実態把握を行い、新たな不登校を生まないために必要な支援だけでなく、不登校児童生徒への支援の在り方についても、研修・協議する場を設ける。

関連の深い事務事業名	・教育相談体制支援事業
------------	-------------

R4	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・面談等を通して児童生徒・保護者等が抱える問題に対応するスクールソーシャルワーカー3名を、市内小中学校10校に配置 ・問題の未然防止や早期対応に取り組むため、グループワークやソーシャルスキルトレーニングの実施 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士等としての専門性を生かし、生活の中で悩みを抱える児童生徒やその保護者との面談等を通して、学校を中心とする関係者が問題を共有し、対応することができた。 ・グループワークやソーシャルスキルトレーニングの実施、学校内での支援・指導体制の構築などの支援を行い、問題の未然防止や早期対応に取り組んだ。
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・学校内で定期的にケース会を開く等の支援・指導体制が構築され、情報交換や対応事例研究も充実したことから、児童生徒と関わる教職員等と支援や指導の共有を図ることができ、好転した事例も多く見られた。 ・児童生徒や保護者、学校の必要に応じて、グループワークやソーシャルスキルトレーニングの実施によって、人とよりよく関わる力の育成や学級の仲間づくりに役立った例が見られた。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談体制に係る人員配置について、実態等を踏まえ、流動的に配置できるよう検討する必要がある。 ・不登校児童生徒数が増加傾向となる中で、詳細な実態把握を行い、新たな不登校児童生徒を生まないために必要な支援だけでなく、不登校児童生徒への支援の在り方について、研修・協議する場の充実を図る。

関連の深い事務事業名	・教育相談体制支援事業
------------	-------------

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	学校教育課
-----	-------

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	3結婚・出産・子育ての希望をかなえる	(3)多様性のある人材の育成	ひとりひとりの頑張りを評価する教育の推進

R5	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・面談等を通して児童生徒・保護者等が抱える問題に対応するスクールソーシャルワーカー3名を、市内小中学校10校に配置 ・問題の未然防止や早期対応に取り組むため、各学校において、グループワークやソーシャルスキルトレーニングの実施 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士等としての専門性を生かし、悩みを抱える児童・生徒やその保護者との面談等を行い、校内で共通理解を図りながら問題に対応することができた。また、必要に応じて医療・福祉等の関係機関と連携し、課題解決に取り組んだ。 ・グループワークやソーシャルスキルトレーニングの実施、ケース会議への参加、校内の支援体制の構築などの支援を行い、問題の未然防止や早期対応に取り組んだ。
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・学校内で定期的にケース会を開く等の支援体制が構築され、情報交換や対応事例研究も充実したことから、児童・生徒と関わる教職員等と支援や指導の共有を図ることができた。また、関係機関とうまく連携したことで好転した事例も多く見られた。 ・必要に応じて、グループワークやソーシャルスキルトレーニングを実施し、人とよりよく関わる力の育成や学級の仲間づくりに役立った例が見られた。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を抱える児童・生徒、不登校児童・生徒の数が年々増加する中で、詳細な実態把握を行い一人一人に応じた適切な対応を行うためには、各校において教育相談体制に係る人員が不足している状態である。人員配置の充実に努める必要がある。

関連の深い事務事業名 | 教育相談体制支援事業

R6	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・面談等を通して児童生徒・保護者等が抱える問題に対応するスクールソーシャルワーカー4名を、市内小中学校10校に配置 ・問題の未然防止や早期対応に取り組むため、各学校において、グループワークやソーシャルスキルトレーニングの実施 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士等としての専門性を生かし、悩みを抱える児童・生徒やその保護者との面談等を行い、校内で共通理解を図りながら問題に対応することができた。また、必要に応じて医療・福祉等の関係機関と連携し、課題解決に取り組んだ。 ・グループワークやソーシャルスキルトレーニングの実施、ケース会議への参加、校内の支援体制の構築などの支援を行い、問題の未然防止や早期対応に取り組んだ。
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・学校内で定期的にケース会を開く等の支援体制が構築され、情報交換や対応事例研究も充実したことから、児童・生徒と関わる教職員等と支援や指導の共有を図ることができた。また、関係機関とうまく連携したことで好転した事例も多く見られた。 ・必要に応じて、グループワークやソーシャルスキルトレーニングを実施し、人とよりよく関わる力の育成や学級の仲間づくりに役立った例が見られた。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒と関わる教職員、SC、SSWが連携して支援や指導を行ったことで、不登校児童・生徒の数が小・中学校で昨年度比-27名となった。しかし、多様な課題を抱える児童・生徒に対し、詳細な実態把握を行い一人一人に応じた適切な対応を行うためには、各校において教育相談体制に係る人員が不足している状態である。人員配置の充実に努める必要がある。

関連の深い事務事業名 | 教育相談体制支援事業

本施策のKPI	単位		H30現状値	R2	R3	R4	R5	R6	最終年度に対する達成率と評価
			計画値(小6)	—	82.0	82.0	82.0	82.5	
「自分には、よいところがあると思いますか」の割合 ※全国学力・学習状況調査質問紙調査	%	計画値(中3)	—	77.0	77.0	77.0	77.5	77.5	
		実績値(小6)	80.1	調査なし	74.4	80.3	81.9	84.1	
		実績値(中3)	75.2	調査なし	77.6	77.9	77.9	78.0	
		達成率(小6)	—	—	91	98	99	102	102
		達成率(中3)	—	—	101	101	101	101	101
		達成率%	—	—	96	100	100	102	102
		評価	—	D	B	B	A	A	A

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	3結婚・出産・子育ての希望をかなえる	(3)多様性のある人材の育成	国際社会を担う子どもたちの育成支援

【「具体的な施策」に関する取組状況】

R2	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手(ALT)を市内全中学校(3校)に1名ずつ配置 各中学校に年間140日程度派遣 ・外国語指導助手(ALT)を市立の各保育所・幼稚園・こども園・小学校に年間5日～20日程度派遣 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・年度を通じて2名体制で各学校へ派遣 (長尾中学校を拠点校とするALT1名が、新型コロナウイルス感染症の影響により4月に帰国したため) ・各中学校 年間95日程度 ・各保育所・幼稚園・こども園・小学校 2日～15日程度派遣
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校へのALT派遣日数の減により、英語を母国語とするALTと直に接する機会は減少したものの、2名体制で各学校への派遣回数が均等となるよう調整し、外国語学習や異文化理解の促進を図った。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTが2名体制となっていることにより、外国人と触れ合う機会が前年度比で減少しているため、3名体制に戻すことで異文化や外国語に親しむ機会を増やす。

関連の深い事務事業名 ・国際理解教育推進事業

R3	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手(ALT)を市内全中学校(3校)に1名ずつ配置 各中学校に年間140日程度派遣 ・外国語指導助手(ALT)を市立の各保育所・幼稚園・こども園・小学校に年間5日～20日程度派遣 ・学校以外での教育活動として、外国語や異文化理解を深めるイベントの実施(年1回) 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により、新規ALTが日本へ入国できず、年度当初から2名体制で各学校へ派遣した。令和3年度はALTの任期満了に伴い、年度当初から任用していた2名が7月下旬に退任し、新たに3名が着任する予定であったが、新規任用のALTも入国規制により着任が遅れ9月及び10月来日の2名体制となり、残り1名については年度内に任用できなかった。 ・各中学校 年間85日程度、各小学校 2日～5日程度 ・保育所、幼稚園、こども園 1日～4日程度
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校へのALT派遣日数の減により、英語を母国語とするALTと学校で接する機会は減少したものの、令和3年度から新たに校外型の国際理解教育に係るイベントを実施し、学校外においても外国語学習や異文化理解への促進を図った。 ※小学5、6年生を対象として、令和3年7月10日(土)に開催した。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・日本への入国規制が緩和され次第着任するALT残り1名の受け入れを迅速に行い、3名体制で市内の各学校へ派遣することで、新型コロナウイルスの影響により近年減少傾向であった英語を母国語とするALTと直に接する機会を増やす必要がある。

関連の深い事務事業名 ・国際理解教育推進事業

R4	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手(ALT)を市内全中学校(3校)に1名ずつ配置 各中学校に年間150日程度派遣 ・外国語指導助手(ALT)を市立の各保育所・幼稚園・こども園・小学校に年間5日～20日程度派遣 ・学校以外での教育活動として、外国語や異文化理解を深めるイベントの実施(年1回) 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初から任用していた1名が任期満了に伴い7月下旬で退任したことから、新たに1名の外国語指導助手が8月から着任した。 ・各中学校への派遣 年間160日～170日程度、各小学校への派遣 年間4日～7日程度 ・保育所、幼稚園、こども園への派遣 年間1日～3日程度 ・外国語や異文化理解を深めるイベントの実施 年1回
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校への派遣日数に関して、学校及び園へ計画通り派遣することができ、外国語学習の促進を図れた。また、国際理解教育に係るイベント(※)を実施したことで、学校外においても外国語学習や異文化理解への促進を図れた。 ※小学5、6年生を対象として、令和4年7月16日(土)に開催した。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度に引き続き、市内の3中学校へALTを計画的に派遣できるよう学校と連絡調整を行い、外国語学習の向上に努める。また、校内だけではなく、校外でも外国語や外国の文化を体験できるイベントを開催し、国際理解教育の推進を図る。

関連の深い事務事業名 ・国際理解教育推進事業

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	学校教育課
-----	-------

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	3結婚・出産・子育ての希望をかなえる	(3)多様性のある人材の育成	国際社会を担う子どもたちの育成支援

R5	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手(ALT)を市内全中学校(3校)に1名ずつ配置 各中学校に年間150日程度派遣 ・外国語指導助手(ALT)を市立の各保育所・幼稚園・こども園・小学校に年間5日～20日程度派遣 ・学校以外での教育活動として、外国語や異文化理解を深めるイベントの実施(年1回) 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初から任用していた1名が任期満了に伴い7月下旬で退任したことから、新たに1名の外国語指導助手が8月から着任した。 ・各中学校への派遣 年間160日程度、各小学校への派遣 年間4日～14日程度 ・保育所、幼稚園、こども園への派遣 年間1日～3日程度 ・外国語や異文化理解を深めるイベントの実施 年1回
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校への派遣日数に関して、学校及び園へ計画通り派遣することができ、外国語学習の促進を図れた。また、国際理解教育に係るイベント(※)を実施したことで、学校外においても外国語学習や異文化理解への促進を図れた。 ※小学5、6年生を対象として、令和5年7月8日(土)に開催した。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語や文化に興味を持ってもらうためには、英語に接する機会の提供が必要である。このため、児童生徒がALTや外国語支援員と英語を聞く・話すといった基礎的なコミュニケーションを楽しめるよう引き続き適正な配置を行う。

関連の深い事務事業名	・国際理解教育推進事業
------------	-------------

R6	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手(ALT)を市内全中学校(3校)に1名ずつ配置 各中学校に年間150日程度派遣 ・外国語指導助手(ALT)を市立の各保育所・幼稚園・こども園・小学校に年間5日～20日程度派遣 ・学校以外での教育活動として、外国語や異文化理解を深めるイベントの実施(年1回) 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに1名のALTが7月下旬に着任し、年度当初から任用していた1名が任期満了に伴い8月上旬で退任した。 ・各中学校への派遣 年間100日～160日程度、各小学校への派遣 年間4日～15日程度 ・保育所、幼稚園、こども園への派遣 年間1日～2日程度 ・外国語や異文化理解を深めるイベントの実施 年1回
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT1名が1学期の間やむを得ず勤務できなくなったことに伴い、当該機関については2名体制での派遣対応となった。 ・国際理解教育に係るイベント(※)を実施したことで、学校外においても外国語学習や異文化理解への促進を図れた。 ※小学5、6年生を対象として、令和6年7月6日(土)に開催した。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が英語を聞く・話すといった基礎的なコミュニケーションを楽しめるようALTの適正な配置を行う。 ・早期から外国語や外国文化への関心を高めるため、ALTの主たる勤務校を中学校から小学校へ変更し、学校生活における英語仕様の機会を充実させることを検討する。

関連の深い事務事業名	・国際理解教育推進事業
------------	-------------

本施策のKPI	単位	H30現状値	R2	R3	R4	R5	R6	最終年度に対する達成率と評価		
「外国の人と友達になったり、外国語のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか」の割合 ※全国学力・学習状況調査質問紙調査	%	計画値(小6)	—	64.3	64.5	64.5	65.0		65.0	
		計画値(中3)	—	63.2	63.5	63.5	64.0		64.5	
		実績値(小6)	調査なし	調査なし	67.5	調査なし	68.7		調査なし	
		実績値(中3)	調査なし	調査なし	46.0	調査なし	61.9		調査なし	
		達成率(小6)	—	—	105	—	106		—	106
		達成率(中3)	—	—	72	—	97		—	96
		達成率%	—	—	89	—	102		—	101
		評価	—	D	B	D	A		D	A

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	3結婚・出産・子育ての希望をかなえる	(3)多様性のある人材の育成	地域ぐるみで子どもを育てる体制の整備

【「具体的な施策」に関する取組状況】

R2	予定	<ul style="list-style-type: none"> 各地区に1名学校支援ボランティアコーディネーターを配置 学校支援ボランティアだより「ふれあい」の発行 年3回 ボランティア養成講座の実施 年2回 	実績	<ul style="list-style-type: none"> 各地区に1名学校支援ボランティアコーディネーターを配置 学校支援ボランティアだより「ふれあい」の発行およびHPへの掲載 年3回 新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりボランティア養成講座は中止
	評価	<ul style="list-style-type: none"> 学校支援ボランティア登録者は増加しているが、高齢化が進んでいる。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ボランティアを利用する活動が減少している。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> 新規ボランティア登録者を確保しつつ、コロナ禍でも活動を継続できるよう、ボランティアだよりによる活動内容の紹介と、養成講座を実施する。

関連の深い事務事業名	・学校支援ボランティア推進事業
------------	-----------------

R3	予定	<ul style="list-style-type: none"> 各地区に1名学校支援ボランティアコーディネーターを配置 学校支援ボランティアだより「ふれあい」の発行 年3回 ボランティア養成講座の実施 年2回 	実績	<ul style="list-style-type: none"> 各地区に1名学校支援ボランティアコーディネーターを配置 学校支援ボランティアだより「ふれあい」の発行およびHPへの掲載 年3回 新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりボランティア養成講座は中止
	評価	<ul style="list-style-type: none"> 学校での新型コロナウイルス感染状況を受け、ボランティアの利用減少や参加人数の制限などがあり、活動は減少している。 新規ボランティア登録者はいるものの、高齢化が進んでいる。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> 新規ボランティア登録者を確保しつつ、コロナ禍でも活動を継続できるよう、ボランティアだよりによる活動内容の紹介と、養成講座を実施する。

関連の深い事務事業名	・学校支援ボランティア推進事業
------------	-----------------

R4	予定	<ul style="list-style-type: none"> 各地区に1名学校支援ボランティアコーディネーターを配置 学校支援ボランティアだより「ふれあい」の発行 年3回 ボランティア養成講座の実施 年2回 	実績	<ul style="list-style-type: none"> 各地区に1名学校支援ボランティアコーディネーターを配置 学校支援ボランティアだより「ふれあい」の発行及びHPへの掲載 年3回 新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりボランティア養成講座は中止
	評価	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策のため、活動の中止・縮小が続いているが、一部では行事等を再開しつつある。 新型コロナウイルス感染症対策による活動の縮小と高齢化等により、活動に参加できていないボランティア登録者がいる。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> 活動の再開に向けて、ボランティアを確保するため、ボランティアだよりによる活動内容の紹介と養成講座を実施する。

関連の深い事務事業名	・学校支援ボランティア推進事業
------------	-----------------

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課 生涯学習課・学校教育課

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	3結婚・出産・子育ての希望をかなえる	(3)多様性のある人材の育成	地域ぐるみで子どもを育てる体制の整備

R5	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区に1名学校支援ボランティアコーディネーターを配置 ・学校支援ボランティアだより「ふれあい」の発行 年3回 ・ボランティア養成講座の実施 年2回 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区に1名学校支援ボランティアコーディネーターを配置 ・学校支援ボランティアだより「ふれあい」の発行及びHPへの掲載 年3回 ・ボランティア養成講座を実施 1回
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症が5類になったことにより、学校支援ボランティアへの依頼数が増加している。 ・ボランティアの高齢化や活動に参加するボランティアの固定化が進んでいる。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアを確保するため、ボランティア募集用紙の配布や、ボランティアだよりによる活動内容の紹介、養成講座を実施する。
関連の深い事務事業名		・学校支援ボランティア推進事業		

R6	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区に1名学校支援ボランティアコーディネーターを配置 ・学校支援ボランティアだより「ふれあい」の発行 年3回 ・ボランティア養成講座の実施 年1回 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区に1名学校支援ボランティアコーディネーターを配置 ・学校支援ボランティアだより「ふれあい」の発行及びHPへの掲載 年3回 ・ボランティア養成講座を実施 1回
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援ボランティアの多様な依頼が増加している。各地域を越えてボランティアを派遣している。 ・少しずつ新規ボランティア登録はあるが、高齢化で勇退する方が多くなっている。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの高齢化によりボランティアが年々減少している。 ・学校支援ボランティアだより「ふれあい」の発行し活動内容を紹介、養成講座を実施し、新規ボランティアを募集する。
関連の深い事務事業名		・学校支援ボランティア推進事業		

本施策のKPI	単位		H30現状値	R2	R3	R4	R5	R6	最終年度に対する達成率と評価
学校支援ボランティア数	人	計画値	—	760	770	780	790	800	
		実績値	739	829	786	791	732	732	
		達成率%	—	109	102	101	93	92	92
		評価	—	A	A	A	B	B	B

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	4生きがいをもって、安心して住み続けられる地域社会をつくる	(1)さぬき市民病院による、健康に暮らし続けるためのサポート	周産期医療の充実

【「具体的な施策」に関する取組状況】

R2	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・周産期の母体や胎児、新生児の生命に関わる事態に的確に対応するため、産科と小児科双方からの総合的な周産期医療の提供 ・大川地区で唯一の分べん取扱機関として安全安心の医療の提供 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・院内助産による分べん件数 5件 ・他の医療機関への紹介件数 116件
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・産婦人科医師の退職に伴い、令和元年8月以降分べんの取扱いを一時休止していたが、香川大学附属病院の協力によって令和2年10月に産婦人科医師が着任したため、令和3年1月から院内助産(制限あり)による分べんの取扱いを再開することができた。一部制限はあるものの、早々に分べんの取扱いを再開したいという目標は達成することができた。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・助産師が経験を積み、手技が上達していくことにより、取り扱う分べん件数の増加につなげる。

関連の深い事務事業名 ・病院事業(病院事業会計)

R3	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・周産期の母体や胎児、新生児の生命に関わる事態に的確に対応するため、産科と小児科双方からの総合的な周産期医療の提供 ・大川地区で唯一の分べん取扱機関として安全安心の医療の提供 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・分べん件数 30件 ・セミオープンシステム利用者数 36件 ・他の医療機関への紹介件数 76件
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤の産婦人科医師は1名であるが、香川大学附属病院の協力のもと、院内助産を主軸とした分べんの取扱いとともに、セミオープンシステムの拡充にも努めた。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤の産婦人科医師の確保に努めるとともに、引き続き助産師が経験を積み、手技が上達していくことにより、取り扱う分べん件数の増加につなげる。

関連の深い事務事業名 ・病院事業(病院事業会計)

R4	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・周産期の母体や胎児、新生児の生命に関わる事態に的確に対応するため、産科と小児科双方からの総合的な周産期医療の提供 ・大川地区で唯一の分べん取扱機関として安全安心の医療の提供 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・分べん件数 66件 ・セミオープンシステム利用者数 18件 ・他の医療機関への紹介件数 56件
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤の産婦人科医師は1名であるが、香川大学附属病院の協力のもと、前年度に引き続き院内助産を主軸とした分べんを取扱った。 ・助産師の経験と技術の向上により、前年度と比べ、分べん取扱件数が増加した。 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・東讃地区における周産期医療を担う医療機関として現状を維持し、分べん件数等を継続していくことが必要があり、引き続き常勤の産婦人科医師の確保に努めるとともに、助産師の技術の向上が必要不可欠である。

関連の深い事務事業名 ・病院事業(病院事業会計)

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	市民病院
-----	------

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	4生きがいをもって、安心して住み続けられる地域社会をつくる	(1)さぬき市民病院による、健康に暮らし続けるためのサポート	周産期医療の充実

R5	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・周産期の母体や胎児、新生児の生命に関わる事態に的確に対応するため、産科と小児科双方からの総合的な周産期医療の提供 ・大川地区で唯一の分べん取扱機関として安全安心の医療の提供 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・分べん件数 43件 ・セミオープンシステム利用者数 15件 ・他の医療機関への紹介件数 41件
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤の産婦人科医師は1名であるが、香川大学附属病院の協力のもと、前年度に引き続き院内助産を主軸とした分べんを取扱った。 ・さぬき市及び東かがわ市の出生件数の減に伴い、分べん件数は減少した。 <p>〈参考〉 さぬき市出生数 R4:170名、R5:143名(27名減) 東かがわ市出生数 R4: 95名、R5: 76名(19名減)</p>	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・東讃地区における周産期医療を担う医療機関として人口減少がみられる中、出生数に対する分べん件数の比率を維持することが必要であり、引き続き常勤の産婦人科医師の確保に努めることが、助産師の技術の向上と合わせ必要不可欠である。

関連の深い事務事業名	・病院事業(病院事業会計)
------------	---------------

R6	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・周産期の母体や胎児、新生児の生命に関わる事態に的確に対応するため、産科と小児科双方からの総合的な周産期医療の提供 ・大川地区で唯一の分べん取扱機関として安全安心の医療の提供 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・分べん件数 23件 ・セミオープンシステム利用者数 17件 ・他の医療機関への紹介件数 52件
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤の産婦人科医師は1名であるが、香川大学医学部附属病院の協力のもと、前年度に引き続き院内助産を主軸とした分べん体制を維持した。 ・さぬき市及び東かがわ市の出生件数の減に伴い、分べん件数は減少した。 <p>〈参考〉 さぬき市出生数 R5:143名、R6:96名(47名減) 東かがわ市出生数 R5: 76名、R6:85名(9名増)</p>	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・東讃地区唯一の分べん機関として、安定した周産期医療を提供するため、医師や助産師といった職員の確保は不可欠であるものの、十分な状況とは言い難く、引き続き、積極的な公募活動を行い、適正人員の確保に努める。

関連の深い事務事業名	・病院事業(病院事業会計)
------------	---------------

本施策のKPI	単位		H30現状値	R2	R3	R4	R5	R6	最終年度に対する達成率と評価
分べん件数・紹介件数	件	計画値	—	92	92	92	92	92	
		実績値	226	121	106	122	84	75	
		達成率%	—	132	115	133	91	82	
		評価	—	A	A	A	B	B	

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	4生きがいをもって、安心して住み続けられる地域社会をつくる	(1)さぬき市民病院による、健康に暮らし続けるためのサポート	大川地区小児夜間急病診察室の継続

【「具体的な施策」に関する取組状況】

R2	予定	・大川地区小児夜間急病診察室の開設 (毎日(年間365日)19時30分から22時までの間、大川地区医師会及び香川大学医学部小児科学講座と協力のうえ、内科系小児患者の診療に当たる。)	実績	・大川地区小児夜間急病診療室利用者数 612人
	評価	・前年度に引き続き、毎日(年間365日)医療を安定して提供できた。	課題と改善策	・勤務する医師の減少及び少子化の影響による患者数の減少に歯止めがかからないことが課題である。

関連の深い事務事業名	・病院事業(病院事業会計)
------------	---------------

R3	予定	・大川地区小児夜間急病診察室の開設 (毎日(年間365日)19時30分から22時までの間、大川地区医師会及び香川大学医学部小児科学講座と協力のうえ、内科系小児患者の診療に当たる。)	実績	・大川地区小児夜間急病診療室利用者数 845人
	評価	・前年度に引き続き、毎日(年間365日)医療を安定して提供できたが、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、受診控えが目立つようになり患者数の減少がみられた。なお、新型コロナウイルス感染症による患者数の減少についてはやや持ち直しの傾向が現れている。	課題と改善策	・勤務する医師の減少及び少子化の影響による患者数の減少に歯止めがかからないことが課題である。

関連の深い事務事業名	・病院事業(病院事業会計)
------------	---------------

R4	予定	・大川地区小児夜間急病診察室の開設 (毎日(年間365日)19時30分から22時までの間、大川地区医師会及び香川大学医学部小児科学講座と協力のうえ、内科系小児患者の診療に当たる。)	実績	・大川地区小児夜間急病診療室利用者数 850人
	評価	・前年度に引き続き、毎日(年間365日)医療を安定して提供できた。 ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴う受診控えは解消されたものの、受診患者数の停滞がみられた。	課題と改善策	・勤務する医師の減少及び少子化の影響による患者数の減少に歯止めがかからないことが課題である。

関連の深い事務事業名	・病院事業(病院事業会計)
------------	---------------

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	市民病院
-----	------

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	4生きがいをもって、安心して住み続けられる地域社会をつくる	(1)さぬき市民病院による、健康に暮らし続けるためのサポート	大川地区小児夜間急病診察室の継続

R5	予定	・大川地区小児夜間急病診察室の開設 (毎日(年間365日)19時30分から22時までの間、大川地区医師会及び香川大学医学部小児科学講座と協力のうえ、内科系小児患者の診療に当たる。)	実績	・大川地区小児夜間急病診療室利用者数 1,032人
	評価	・前年度に引き続き、毎日(年間365日)医療を安定して提供できた。 ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴う受診控えは解消され、受信患者数の増加がみられた。	課題と改善策	・勤務する医師の減少に歯止めがかからないこと及び少子化の影響があるものの、患者数をコロナ禍前の件数にしていくことが課題である。
関連の深い事務事業名		・病院事業(病院事業会計)		

R6	予定	・大川地区小児夜間急病診察室の開設 (毎日(年間365日)19時30分から22時までの間、大川地区医師会及び香川大学医学部小児科学講座と協力のうえ、内科系小児患者の診療に当たる。)	実績	・大川地区小児夜間急病診療室利用者数 857人
	評価	・予定どおり年間を通じて365日の診療を実施することができた。 ・医師の働き方改革などの新たな法改正が施行されたが、その基準に基づき、適正な医療提供体制を維持することができた。	課題と改善策	・当該診察室の診療医は、大川地区医師会の小児科医、内科小児科医、香川大学医学部小児科学講座の医師及び当院の小児科医が当番制で担当しているが、参加医師の減少に伴い、その負担は年々大きくなっており、今後、継続的な運営が危ぶまれているものの、現時点ではその打開策が見出せていない。
関連の深い事務事業名		・病院事業(病院事業会計)		

本施策のKPI	単位		H30現状値	R2	R3	R4	R5	R6	最終年度 に対する 達成率と 評価
利用者数 ※大川地区小児夜間急病診療室	人	計画値	—	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
		実績値	1,958	612	845	850	1,032	857	
		達成率%	—	31	42	43	52	43	
		評価	—	C	C	C	C	C	

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	4生きがいをもって、安心して住み続けられる地域社会をつくる	(1)さぬき市民病院による、健康に暮らし続けるためのサポート	救急医療における提供体制の維持

【「具体的な施策」に関する取組状況】

R2	予定	・二次救急医療の病院群輪番制当番医として、年間183日の時間外・休日診療の請負（当番日は内科医、非当番日は外科系医師が救急患者の診療に当たる。）	実績	・救急患者受入人数 1,902人
	評価	・慢性的な内科医不足と新型コロナウイルス感染症対策に苦慮する状況にあったが、救急患者受入人数が前年度に比べ大幅に増加した。	課題と改善策	・医師確保が困難な状況下、医師1人あたりの当直回数が年々増加傾向にあり、働き方改革の推進に資する負担軽減を図ることが喫緊の課題である。

関連の深い事務事業名 ・病院事業(病院事業会計)

R3	予定	・二次救急医療の病院群輪番制当番医として、年間183日の時間外・休日診療の請負（当番日は内科医、非当番日は外科系医師が救急患者の診療に当たる。）	実績	・救急患者受入人数 2,112人
	評価	・前年度と同様に慢性的な内科医不足と新型コロナウイルス感染症対策に苦慮する状況に変わりはないが、前年度に比べ、より多くの救急患者を受け入れることができた。	課題と改善策	・医師確保が困難な状況下、医師1人あたりの当直回数が年々増加傾向にあり、働き方改革の推進に資する負担軽減を図ることが喫緊の課題である。なお、特に医師の働き方改革への対応いかんによっては、深夜帯の救急診療体制の縮小を余儀なくされる可能性がある。

関連の深い事務事業名 ・病院事業(病院事業会計)

R4	予定	・二次救急医療の病院群輪番制当番医として、年間183日の時間外・休日診療の請負（当番日は内科医、非当番日は外科系医師が救急患者の診療に当たる。）	実績	・救急患者受入人数 2,087人
	評価	・前年度と同様に慢性的な内科医不足並びに新型コロナウイルス感染症拡大の影響により病棟運営に苦慮する状況となったが、前年度と同程度の救急患者を受け入れることができた。	課題と改善策	・医師確保が困難な状況下、医師1人あたりの当直回数が年々増加傾向にあり、働き方改革の推進に資する負担軽減を図ることが喫緊の課題である。なお、特に医師の働き方改革への対応いかんによっては、深夜帯の救急診療体制の縮小を余儀なくされる可能性がある。

関連の深い事務事業名 ・病院事業(病院事業会計)

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	市民病院
-----	------

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	4生きがいをもって、安心して住み続けられる地域社会をつくる	(1)さぬき市民病院による、健康に暮らし続けるためのサポート	救急医療における提供体制の維持

R5	予定	・二次救急医療の病院群輪番制当番医として、年間184日の時間外・休日診療の請負（当番日は内科医、非当番日は外科系医師が救急患者の診療に当たる。）	実績	・救急患者受入人数 1,851人
	評価	・慢性的な内科医不足並びに新型コロナウイルス感染症の影響で、病棟運営に苦慮する状況となり、受入救急患者数は前年度を下回る結果となった。	課題と改善策	・医師確保が困難な状況下、医師1人あたりの当直回数が年々増加傾向にあり、働き方改革の推進に資する負担軽減を図ることが喫緊の課題である。 なお、特に医師の働き方改革への対応いかんによっては、深夜帯の救急診療体制の縮小を余儀なくされる可能性がある。
関連の深い事務事業名		・病院事業(病院事業会計)		

R6	予定	・二次救急医療の病院群輪番制当番医として、年間182日の時間外・休日診療の提供（当番日は内科医、非当番日は外科系医師が救急患者の診療に当たる。）	実績	・救急患者受入人数 2,213人(ウォークインを含む) ・当初予定の182日に加え下半期は20日間多く担当した。
	評価	・大川地区の輪番制救急医療提供体制を安定的に維持するため、輪番制当番日を予定日数より多く担当するなど積極的に救急医療の提供体制に貢献した。	課題と改善策	・時間外・休日の担当医は各診療科の医師が交代で1名体制によって対応している。そのため担当医の専門外領域における診療要請時などの受入れは困難な場合があり、やむを得ず応需拒否に至ることがある。
関連の深い事務事業名		・病院事業(病院事業会計)		

本施策のKPI	単位		H30現状値	R2	R3	R4	R5	R6	最終年度に対する達成率と評価
救急患者受入人数(小児夜間急病診察室患者を除く)	人	計画値	—	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	
		実績値	1,738	1,902	2,112	2,087	1,851	2,213	
		達成率%	—	106	117	116	103	123	
		評価	—	A	A	A	A	A	

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	4生きがいをもって、安心して住み続けられる地域社会をつくる	(1)さぬき市民病院による、健康に暮らし続けるためのサポート	地域包括ケア病棟の運営

【「具体的な施策」に関する取組状況】

R2	予定	・地域包括ケアシステムを支える役割を担い、医療・介護の充実した街づくりに貢献する地域包括ケア病棟の運営	実績	・地域包括ケア病棟の延入院患者数 10,218人
	評価	・急性期治療を経過した患者及び在宅において療養を行っている患者等の受入れ及び患者の在宅復帰支援等を行う機能を有する地域包括ケア病棟は病床利用率が急性期病棟よりも高く、地域ニーズに合致している。	課題と改善策	・地域包括ケア病棟の病床利用率は年々増加傾向にあったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により利用率が伸び悩んでいる。

関連の深い事務事業名 ・病院事業(病院事業会計)

R3	予定	・地域包括ケアシステムを支える役割を担い、医療・介護の充実した街づくりに貢献する地域包括ケア病棟の運営	実績	・地域包括ケア病棟の延入院患者数 10,815人
	評価	・急性期治療を経過した患者及び在宅において療養を行っている患者等の受入れ及び患者の在宅復帰支援等を行う機能を有する地域包括ケア病棟は病床利用率が急性期病棟よりも高く、地域ニーズに合致している。	課題と改善策	・地域包括ケア病棟の病床利用率は年々増加傾向にあったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により利用率が伸び悩んでいる。

関連の深い事務事業名 ・病院事業(病院事業会計)

R4	予定	・地域包括ケアシステムを支える役割を担い、医療・介護の充実した街づくりに貢献する地域包括ケア病棟の運営	実績	・地域包括ケア病棟の延入院患者数 11,093人
	評価	・急性期治療を経過した患者及び在宅において療養を行っている患者等の受入れ及び患者の在宅復帰支援等を行う機能を有する地域包括ケア病棟は病床利用率が急性期病棟よりも高く、地域ニーズに合致している。	課題と改善策	・地域包括ケア病棟の病床利用率は年々増加傾向にあったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により利用率が少し低下した。徐々に回復しているが、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準までは回復していない。

関連の深い事務事業名 ・病院事業(病院事業会計)

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	市民病院
-----	------

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	4生きがいをもって、安心して住み続けられる地域社会をつくる	(1)さぬき市民病院による、健康に暮らし続けるためのサポート	地域包括ケア病棟の運営

R5	予定	・地域包括ケアシステムを支える役割を担い、医療・介護の充実した街づくりに貢献する地域包括ケア病棟の運営	実績	・地域包括ケア病棟の延入院患者数 10,715人
	評価	・急性期治療を経過した患者及び在宅において療養を行っている患者等の受入れ及び患者の在宅復帰支援等を行う機能を有する地域包括ケア病棟は病床利用率が急性期病棟よりも高く、地域ニーズに合致している。	課題と改善策	・地域包括ケア病棟の病床利用率は昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により利用率が少し低下した。徐々に回復しているが、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準までは回復していない。
関連の深い事務事業名		・病院事業(病院事業会計)		

R6	予定	・地域包括ケアシステムを支える役割を担い、医療・介護の充実した街づくりに貢献する地域包括ケア病棟の運営	実績	・地域包括ケア病棟の延入院患者数 11,139人
	評価	・当年度の地域包括ケア病棟における病床利用率は87.2%と、高い利用状況となっており、地域ニーズに合致した医療施策が提供出来ていると評価する。	課題と改善策	・現行の地域包括ケア病棟は、1病棟の35床において運営しているところだが、満床となる場合が見受けられ、病床数の拡大や類似機能を持つ病棟の再編等が必要であると考えており、計画的な病棟再編に努めたいと考えている。
関連の深い事務事業名		・病院事業(病院事業会計)		

本施策のKPI	単位		H30現状値	R2	R3	R4	R5	R6	最終年度 に対する 達成率と 評価	
病床利用率 ※地域包括ケア病棟	%	計画値	—	90	90	90	90	90		
		実績値	91	81	85	87	84	87		
		達成率%	—	90	94	97	93	97		97
		評価	—	B	B	B	B	B	B	

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	4生きがいをもって、安心して住み続けられる地域社会をつくる	(1)さぬき市民病院による、健康に暮らし続けるためのサポート	認知症専門外来の継続

【「具体的な施策」に関する取組状況】

R2	予定	・認知症になっても出来る限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるための、認知症専門外来の設置	実績	・認知症専門外来利用者実人数 712人
	評価	・認知症専門外来担当医師は1名であったが、診療枠を維持し、年間を通じて安定した認知症患者の診療に当たった。	課題と改善策	・高齢者の多い本市にとって、認知症対策は急務であるが、認知症専門外来担当医師が1名であり、ニーズがあっても現在の診療規模が限界である。

関連の深い事務事業名	・病院事業(病院事業会計)
------------	---------------

R3	予定	・認知症になっても出来る限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるための、認知症専門外来の設置	実績	・認知症専門外来利用者実人数 755人
	評価	・認知症専門外来担当医師は1名であったが、診療枠を維持し、年間を通じて安定した認知症患者の診療に当たった。	課題と改善策	・高齢者の多い本市にとって、認知症対策は急務であるが、認知症専門外来担当医師が1名であり、ニーズがあっても現在の診療規模が限界である。

関連の深い事務事業名	・病院事業(病院事業会計)
------------	---------------

R4	予定	・認知症になっても出来る限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるための、認知症専門外来の設置	実績	・認知症専門外来利用者実人数 639人
	評価	・認知症専門外来担当医師は1名であったが、診療枠を維持し、年間を通じて安定した認知症患者の診療に当たった。 ・対象患者の減少に伴い、実人数は減少となった。	課題と改善策	・高齢者の多い本市にとって、認知症対策は急務であるが、認知症専門外来担当医師が1名であり、ニーズがあっても現在の診療規模が限界である。

関連の深い事務事業名	・病院事業(病院事業会計)
------------	---------------

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	市民病院
-----	------

施策体系	基本目標		基本施策		具体的な施策	
	4生きがいをもって、安心して住み続けられる地域社会をつくる		(1)さぬき市民病院による、健康に暮らし続けるためのサポート		認知症専門外来の継続	

R5	予定	・認知症になっても出来る限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるための、認知症専門外来の設置	実績	・認知症専門外来利用者実人数 706人
	評価	・認知症専門外来担当医師は1名であったが、診療枠を維持し、年間を通じて安定した認知症患者の診療に当たった。	課題と改善策	・高齢者の多い本市にとって、認知症対策は急務であるが、認知症専門外来担当医師が1名であり、ニーズがあっても現在の診療規模が限界である。

関連の深い事務事業名 | ・病院事業(病院事業会計)

R6	予定	・認知症になっても出来る限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるための、認知症専門外来の設置	実績	・認知症専門外来利用者実人数 619人
	評価	・認知症専門外来担当医師は1名であったが、診療枠を維持し、年間を通じて安定した認知症患者の診療に当たった。	課題と改善策	・高齢者の多い本市にとって、認知症対策は不可欠であるため、当院においても引き続き現在の診療規模を維持し認知症専門外来の診療を行っていく。

関連の深い事務事業名 | ・病院事業(病院事業会計)

本施策のKPI	単位		H30現状値	R2	R3	R4	R5	R6	最終年度 に対する 達成率と 評価
認知症専門外来利用者実人数	人	計画値	—	730	730	730	730	730	
		実績値	712	712	755	639	706	619	
		達成率%	—	98	103	88	97	85	
		評価	—	B	A	B	B	B	

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	4生きがいをもって、安心して住み続けられる地域社会をつくる	(1)さぬき市民病院による、健康に暮らし続けるためのサポート	在宅療養支援の推進

【「具体的な施策」に関する取組状況】

R2	予定	・地域医療部内の在宅療養支援室と総合支援室の2室の連携を密にし、患者一人ひとりの情報共有に努めることで最善の支援を実施する。	実績	・地域医療部への退院支援や在宅療養に関する相談件数 577件
	評価	・地域医療部内の2室が密に連携し、在宅療養を行う患者やその家族が抱える問題、不安等の解消を図り、安心した生活が送れるよう、患者とその家族に対してきめ細やかな在宅療養支援ができた。	課題と改善策	・質を低下させることなく、患者とその家族に対してきめ細やかな在宅療養支援を継続していく。

関連の深い事務事業名 ・病院事業(病院事業会計)

R3	予定	・地域医療部内の在宅療養支援室と総合支援室の2室の連携を密にし、患者一人ひとりの情報共有に努めることで最善の支援を実施する。	実績	・地域医療部への退院支援や在宅療養に関する相談件数 608件
	評価	・地域医療部内の2室が密に連携し、在宅療養を行う患者やその家族が抱える問題、不安等の解消を図り、安心した生活が送れるよう、患者とその家族に対してきめ細やかな在宅療養支援ができた。	課題と改善策	・質を低下させることなく、患者とその家族に対してきめ細やかな在宅療養支援を継続していく。

関連の深い事務事業名 ・病院事業(病院事業会計)

R4	予定	・地域医療部内の在宅療養支援室と総合支援室の2室の連携を密にし、患者一人ひとりの情報共有に努めることで最善の支援を実施する。	実績	・地域医療部への退院支援や在宅療養に関する相談件数 558件
	評価	・地域医療部内の2室が密に連携し、在宅療養を行う患者やその家族が抱える問題、不安等の解消を図り、安心した生活が送れるよう、患者とその家族に対してきめ細やかな在宅療養支援ができた。 ・入院患者数の減少に伴い、件数は減少となった。	課題と改善策	・質を低下させることなく、患者とその家族に対してきめ細やかな在宅療養支援を継続していく。

関連の深い事務事業名 ・病院事業(病院事業会計)

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	市民病院
-----	------

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	4生きがいをもって、安心して住み続けられる地域社会をつくる	(1)さぬき市民病院による、健康に暮らし続けるためのサポート	在宅療養支援の推進

R5	予定	・地域医療部内の在宅療養支援室と総合支援室の2室の連携を密にし、患者一人ひとりの情報共有に努めることで最善の支援を実施する。	実績	・地域医療部への退院支援や在宅療養に関する相談件数 1,097件
	評価	・地域医療部内の2室が密に連携し、在宅療養を行う患者やその家族が抱える問題、不安等の解消を図り、安心した生活が送れるよう、患者とその家族に対してきめ細やかな在宅療養支援ができた。 ・入院患者数は減少傾向だが、身寄りのない、あるいは経済的な課題を持つ患者が急激に増加したこと、対応するスタッフを1名増員したことで多くの患者に対応できるようになり、相談件数の総数が上昇している。	課題と改善策	・質を低下させることなく、患者とその家族に対してきめ細やかな在宅療養支援を継続していく。
関連の深い事務事業名		・病院事業(病院事業会計)		

R6	予定	・地域医療部の2部署が1ブースで業務を行うことになったことにより、部署間での情報共有が図りやすくなった。必要に応じて部内での協力体制を強化するなど、患者ニーズに合致した最善の支援を実施する。	実績	・地域医療部が取り扱った退院支援や在宅療養に関する相談件数 1,053件
	評価	・地域医療部内の2室が密に連携し、在宅療養を行う患者やその家族が抱える問題、不安等の解消を図り、安心した生活が送れるよう、患者とその家族に対してきめ細やかな在宅医療及び看護が提供できた。 ・身寄りのない又は経済的な課題を持つ患者に対する相談件数は、昨年度より微減したものの高い実績値となった。	課題と改善策	・急激に高齢化率が上昇する中で、在宅医療に関する相談件数は数年間で大幅に増加している。医療、介護、福祉の連携はより一層重要であり、当院では、当該部署を中心且つ渉外的窓口として、患者の相談から、そのニーズに沿った退院後の生活支援に努めたい。
関連の深い事務事業名		・病院事業(病院事業会計)		

本施策のKPI	単位		H30現状値	R2	R3	R4	R5	R6	最終年度に対する達成率と評価
相談利用者数 ※地域医療部への退院支援や在宅療養に関する相談	人	計画値	—	650	650	650	650	650	
		実績値	637	577	608	558	1,097	1,053	
		達成率%	—	89	94	86	169	162	
		評価	—	B	B	B	A	A	

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	4生きがいをもって、安心して住み続けられる地域社会をつくる	(2)高齢になっても安心して暮らせる地域づくり	小さな交流拠点づくり

【「具体的な施策」に関する取組状況】

R2	予定	・コミュニティを形成する場所や機会の提供 (社会福祉協議会に業務委託)	実績	・ふれあいサロン開催団体数 145団体 開催回数980回 延参加人数12,480名
	評価	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集まる機会や場を設けることが困難であった。	課題と改善策	・年々参加者数が減少傾向であることや、一定期間支援を継続したことで団体の自主的な運営を期待できることから、事業の見直しを行う必要がある。

関連の深い事務事業名 ・自治振興事業

R3	予定	・コミュニティを形成する場所や機会の提供 (社会福祉協議会に業務を委託)	実績	・ふれあいサロン開催団体数 133団体 開催回数833回 延参加人数11,776名
	評価	・昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集まる機会や場を設けることが困難であった。	課題と改善策	・年々参加者数が減少傾向であることや、一定期間支援を継続したことで団体の自主的な運営を期待できることから、事業の見直しを行う必要がある。

関連の深い事務事業名 ・自治振興事業

R4	予定	・コミュニティを形成する場所や機会の提供 (社会福祉協議会に業務を委託)	実績	・ふれあいサロン開催団体数 132団体 開催回数1,043回 延参加人数14,201名
	評価	・昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集まる機会や場を設けることが困難な状況が続いたが、昨年度に比べ、開催回数が増加し、持ち直しの動きがみられる。	課題と改善策	・年々参加者数が減少傾向であることや、一定期間支援を継続したことで団体の自主的な運営を期待できることから、事業の見直しを行う必要がある。

関連の深い事務事業名 ・自治振興事業

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	生活環境課
-----	-------

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	4生きがいをもって、安心して住み続けられる地域社会をつくる	(2)高齢になっても安心して暮らせる地域づくり	小さな交流拠点づくり

R5	予定	・コミュニティを形成する場所や機会の提供 (社会福祉協議会に業務委託)	実績	・ふれあいサロン開催団体数 131団体 開催回数1,303回 延参加人数17,415名
	評価	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集まる機会や場を設けることが困難な状況が続いたが、昨年度と同様に、開催回数及び延参加人数が増加し、持ち直しの動きがみられる。	課題と改善策	・年々参加者数が減少傾向であることや、一定期間支援を継続したことで団体の自主的な運営を期待できることから、事業の見直しを含め検討する必要がある。
関連の深い事務事業名		・自治振興事業		

R6	予定	・コミュニティを形成する場所や機会の提供 (社会福祉協議会に業務委託)	実績	・ふれあいサロン開催団体数 133団体 開催回数1,314回 延参加人数18,090名
	評価	昨年度と同様に、開催回数及び延参加人数の増加がみられる。	課題と改善策	・年々参加者数が減少傾向であることや、一定期間支援を継続したことで団体の自主的な運営を期待できることから、事業の見直しを含め検討する必要がある。
関連の深い事務事業名		自治振興事業		

本施策のKPI	単位		H30現状値	R2	R3	R4	R5	R6	最終年度に対する達成率と評価
ふれあいサロン開催団体数	団体	計画値	—	175	180	185	190	195	68
		実績値	171	145	133	132	131	133	
		達成率%	—	83	74	71	69	68	
		評価	—	B	C	C	C	C	

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	4生きがいをもって、安心して住み続けられる地域社会をつくる	(2)高齢になっても安心して暮らせる地域づくり	高齢者の元気づくり支援(介護予防・日常生活支援総合事業)

【「具体的な施策」に関する取組状況】

R2	予定	・認知症サポーター養成講座の開催 (地域における認知症高齢者の見守り体制のため、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対して温かい目で見守ることのできる「応援者」を増やす。)	実績	・認知症サポーター養成講座 実施回数10回、養成人数389人 内訳)住民対象講座:1回、10人 職域対象講座:1回、10人 学校(小学校)対象講座:8回、369人
	評価	・毎年継続実施している小学校での実施は、市内すべての小学校で実施できた。 ・地域住民や職域を対象とした講座は、例年に比べ実施回数が少なく、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地域等での開催につながらなかったと考えられる。	課題と改善策	・認知症サポーター養成講座を実施する、キャラバン・メイトの協力により、住民や職域での開催ができるようにする。 ・住民に対して、養成講座の普及啓発を行う。

関連の深い事務事業名	・任意事業(介護保険事業特別会計)
------------	-------------------

R3	予定	・認知症サポーター養成講座の継続実施	実績	・認知症サポーター養成講座 実施回数9回、養成人数314人 内訳)住民対象講座:1回、5人 職域対象講座:2回、39人 学校(小学校)対象講座:6回、270人
	評価	・新型コロナウイルス感染症により職域対象講座や住民対象講座の実施回数は昨年同様に少ない状況だったが、小学校対象講座は7校中6校実施することができた。	課題と改善策	・地域のキャラバンメイトの協力のもと、養成講座の開催を実施できるようにする。 ・新型コロナウイルス感染症による影響は出ている状況だが、安全性を考えた周知方法について検討をしていく。

関連の深い事務事業名	・任意事業(介護保険事業特別会計)
------------	-------------------

R4	予定	・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら認知症サポーターの養成講座を実施する。	実績	・認知症サポーター養成講座 実施回数11回、養成人数417人 内訳)住民対象講座:2回、50人 職域対象講座:2回、25人 学校(小学校)対象講座:7回、342人
	評価	・毎年継続実施している小学校での実施は、市内すべての小学校で実施できた。 ・地域住民や職域を対象とした講座は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いつつ、実施回数は少ないが地域等で開催することができた。	課題と改善策	・認知症サポーター養成講座を実施する、キャラバン・メイトの協力により、住民や職域での開催ができるようにする。 ・住民に対して、養成講座を行うことができるように広報等で啓発を行う。

関連の深い事務事業名	・任意事業(介護保険事業特別会計)
------------	-------------------

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課 長寿介護課

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	4生きがいをもって、安心して住み続けられる地域社会をつくる	(2)高齢になっても安心して暮らせる地域づくり	高齢者の元気づくり支援(介護予防・日常生活支援総合事業)

R5	予定	・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら認知症サポーターの養成講座を継続する。	実績	・認知症サポーター養成講座 実施回数9回、養成人数288人 内訳)住民対象講座:2回、3人 学校(小学校)対象講座:7回、285人
	評価	・毎年継続実施している小学校での実施は、市内すべての小学校で実施できた。 ・地域住民を対象とした講座は、感染症防止対策を行いつつ、少人数で開催した。	課題と改善策	・地域のキャラバンメイトの協力のもと、キッズサポーター養成講座の開催を実施できるようにする。 ・感染症対策を行いながら、安全性を考えて啓発方法を検討をしていく。 ・職域での啓発が実施できるように、個別の周知を行っていく。

関連の深い事務事業名 任意事業(介護保険事業特別会計)

R6	予定	認知症の理解の普及啓発のために、感染症対策を行いながら認知症サポーターの養成講座を継続する。	実績	・認知症サポーター養成講座 実施回数13回、養成人数432人 内訳)住民対象講座:4回、83人 職域対象講座:2回、12人 小学校対象講座:7回、337人
	評価	・毎年継続実施している小学校での実施は、市内すべての小学校で実施できた。 ・地域住民や職域を対象とした講座は、例年より多く開催することができた。なかでも、高校生を対象とした講座も開催することができた。	課題と改善策	・地域のキャラバンメイトの協力のもと、キッズサポーター養成講座の開催を継続実施していく。 ・住民や職域での養成講座が実施できるように、周知を行っていく。

関連の深い事務事業名 任意事業(介護保険事業特別会計)

本施策のKPI	単位		H30現状値	R2	R3	R4	R5	R6	最終年度 に対する 達成率と 評価
認知症サポーター養成数	人	計画値	—	3,500	3,900	4,300	4,650	4,950	
		実績値	2,443	3,560	3,874	4,291	4,576	5,011	
		達成率%	—	102	99	99	98	101	
		評価	—	A	B	B	B	A	A

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	都市整備課
-----	-------

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	4生きがいをもって、安心して住み続けられる地域社会をつくる	(2)高齢になっても安心して暮らせる地域づくり	目的に応じて選択できる公共交通の推進

【「具体的な施策」に関する取組状況】

R2	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスの再編 ・地域公共交通計画の策定 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通会議の開催 4回 ・コミュニティバス再編路線の実証運行実施 令和2年11月1日～令和3年3月31日 ・地域公共交通計画の策定(令和3年3月31日)
	評価	<p>・予定通りの実績を残せたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による外出控えと休校等により、コミュニティバスを含む市内公共交通利用者は大きく減少した。</p>	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通網の維持・充実が課題である。 ・公共交通事業者と協力しながら地域公共交通計画掲載事業の実施に努める。特に、地域力を活用した移動手段の確保についての検討が必要である。

関連の深い事務事業名	・コミュニティバス事業
------------	-------------

R3	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通会議の開催 2回 ・コミュニティバス路線・ダイヤ改正 令和3年4月1日～ ・地域公共交通計画の公表・掲載事業の実施 令和3年4月1日～ 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通会議の開催 2回 ・コミュニティバス路線・ダイヤ改正 令和3年4月1日～ ・地域公共交通計画の公表・掲載事業の実施 令和3年4月1日～
	評価	<p>・予定通りの実績を残せたが、新型コロナウイルス感染症の影響による外出控えとテレワークの推進等により、コミュニティバスを含む市内公共交通利用者の減少が続いている。</p>	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・住民主体の地域公共交通を使った外出支援に関する取組が進みだったが、公共交通事業者のマンパワー不足が課題。 ・引き続き、公共交通事業者と協力しながら地域公共交通計画掲載事業に取り組み、市内公共交通網の維持を目指す。

関連の深い事務事業名	・コミュニティバス事業
------------	-------------

R4	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通会議の開催 2回 ・地域公共交通計画掲載事業の実施 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通会議の開催 2回 ・地域公共交通計画掲載事業の実施 令和4年4月1日～
	評価	<p>・令和3年度に比べてコミュニティバス利用者が8,975人増加した。(令和3年度62,267人、令和4年度71,242人)</p>	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数の増加から、アフターコロナによる外出意欲の高まり等を感じるが、各地から、高齢化の進行に基づく新たなニーズが寄せられており、かつ、県立高校統廃合等による通学利用の激変が予測される。 ・5年後のさぬき市を見据え、改めて、公共交通網の再編について地域公共交通会議等で議論し、対策を講じていく。

関連の深い事務事業名	・コミュニティバス事業
------------	-------------

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課 都市整備課

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	4生きがいをもって、安心して住み続けられる地域社会をつくる	(2)高齢になっても安心して暮らせる地域づくり	目的に応じて選択できる公共交通の推進

R5	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通会議の開催 3回 ・地域公共交通計画掲載事業の実施 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通会議の開催 3回 ・地域公共交通計画掲載事業の実施 令和5年4月1日～ ・デマンドタクシー実験運行の実施 令和5年12月5日～ ・コミュニティバスのダイヤ改正(一部路線) 令和6年3月16日改正
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度に比べてコミュニティバス利用者数が4,320人増加した。(令和4年度71,242人、令和5年度75,562人) 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年4月1日に徳島文理大学香川キャンパスの市外移転により、利用者の減少が見込まれる。 ・令和6年度中に新ダイヤ等を検討し、今まで以上に、通院・買物等の日常生活に役立つコミュニティバスを目指す。

関連の深い事務事業名 ・コミュニティバス事業

R6	予定	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通会議の開催 4回 ・地域公共交通計画掲載事業の実施 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通会議の開催 4回 ・地域公共交通計画掲載事業の実施 令和6年4月1日～ ・デマンドタクシー実験運行の実施 令和5年12月5日～令和7年3月31日 ・コミュニティバスのダイヤ・ルート改正に向けた取組 令和7年4月1日改正
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度に比べてコミュニティバス利用者数が7,418人増加した。(令和5年度75,562人、令和6年度82,980人) 	課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年4月1日の徳島文理大学香川キャンパスの市外移転による利用者の減少を見込んだ令和7年4月1日のコミュニティバスのルート・ダイヤ改正の影響を踏まえながら、これまで以上に、通院・買物等の日常生活に役立つコミュニティバスを目指す。

関連の深い事務事業名 ・コミュニティバス事業

本施策のKPI	単位	H30現状値	R2	R3	R4	R5	R6	最終年度に対する達成率と評価	
公共交通網の充実に対する市民満足度 ※さぬき市総合計画のためのアンケート調査結果	—	計画値	—	調査なし	-1	調査なし	調査なし	0	
		実績値	-1.5	調査なし	-1.1	調査なし	調査なし	調査なし	
		達成率%	—	—	80	—	—	—	27
		評価	—	D	B	D	D	D	C

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	4生きがいをもって、安心して住み続けられる地域社会をつくる	(3)災害に強いまちづくり	自主防災組織の訓練支援

【「具体的な施策」に関する取組状況】

R2	予定	・連合自治会支会等広域化した自主防災組織による防災訓練や防災研修に対する支援	実績	・訓練等の実施 6団体
	評価	・令和元年度に補助金交付要綱を改正し、支援を拡充したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、一部の訓練等が中止されたことから実施回数が減少した。	課題と改善策	・連合自治会支会等広域化した自主防災組織のうち4団体が訓練未実施となっていることから、継続的に実施を促す。

関連の深い事務事業名	・防災支援事業
------------	---------

R3	予定	・連合自治会支会等広域化した自主防災組織による防災訓練や防災研修に対する支援	実績	・訓練等の実施 4団体
	評価	・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、訓練等の実施回数が減少、また縮小したが、感染防対策を徹底し、コロナ禍における工夫を凝らした防災訓練が実施できた。	課題と改善策	・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底しつつ、いかに広域化した自主防災組織に訓練の実施を促すかが課題となるが、訓練実施時の感染防止対策の目安等を示すことにより訓練の継続性を確保する。

関連の深い事務事業名	・防災支援事業
------------	---------

R4	予定	・連合自治会支会等広域化した自主防災組織による防災訓練や防災研修に対する支援	実績	・訓練等の実施 8団体
	評価	・炊き出し訓練や防災講話など新型コロナウイルス感染症拡大防止対策で出来ていなかった訓練が復活するなど、実態に即した防災訓練が実施できた。	課題と改善策	・コロナ禍前の実施団体数に戻ってきたが、未だ防災訓練未実施の支会等もあることから、支会等に対し訓練実施の依頼や助言等を引き続き行う必要がある。今後は防災士の継続研修において、支会での訓練実施のリーダーとなってもらうよう依頼するとともに、訓練実施に必要なスキルを身に付けられる研修内容とする。

関連の深い事務事業名	・防災支援事業
------------	---------

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	危機管理課
-----	-------

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	4生きがいをもって、安心して住み続けられる地域社会をつくる	(3)災害に強いまちづくり	自主防災組織の訓練支援

R5	予定	・連合自治会支会等広域化した自主防災組織による防災訓練や防災研修に対する支援	実績	・訓練等の実施 8団体
	評価	・各支会単位の自主防災組織において、創意工夫を凝らした防災訓練が実施できた。市公式LINEを使った情報収集の仕方を学んだり、新聞紙でスリッパを作成する方法等を学ぶブースを設けるなど、参加者が各家庭で防災について取組むための参考となる内容となっていた。また、地域の外国人へ訓練への参加呼びかけもあり、外国人の参加も見られ、時代にマッチした訓練となっていた。	課題と改善策	・未だ訓練が実施できていない支会もあることから、かがわ自主ぼうの協力を得ながら、訓練実施の支援を継続的に実施し、全ての支会で訓練が開催できるよう取り組むとともに、訓練実施の主体となるべき防災士の資質向上に努める。
関連の深い事務事業名		・防災支援事業		

R6	予定	・連合自治会支会等広域的な自主防災組織による防災訓練や防災研修に対する支援を実施する。	実績	・訓練等の実施 8団体 参加者数:1,456人
	評価	・各支会単位の自主防災組織において、創意工夫を凝らした防災訓練が実施できた。今年度から包括連携協定を締結しているあいおいニッセイ同和損保の支援を受け、ハイブリッド車を活用した災害時対応について学んだりするなど、参加者が各家庭で防災について取り組むための参考となる内容となっていた。また、小学校において防災体験授業を展開するなど新たな取組も行われた。	課題と改善策	・未だ訓練が実施できていない支会もあることから、かがわ自主ぼう連絡協議会、包括連携協定締結団体等の協力を得ながら、訓練実施の支援を継続的に実施し、全ての支会で訓練が開催できるよう取り組むとともに、訓練実施の主体となるべき防災士の資質向上に努める。
関連の深い事務事業名		・防災支援事業		

本施策のKPI	単位		H30現状値	R2	R3	R4	R5	R6	最終年度に対する達成率と評価
広域化自主防災組織訓練等実施回数 ※年間の訓練等実施回数	回	計画値	—	10	11	11	12	12	
		実績値	10	6	4	8	8	8	
		達成率%	—	60	36	73	67	67	
		評価	—	C	C	C	C	C	C

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	4生きがいをもって、安心して住み続けられる地域社会をつくる	(3)災害に強いまちづくり	地域防災、減災体制の強化と向上

【「具体的な施策」に関する取組状況】

R2	予定	・香川大学が実施する防災士養成講座への申込や必要経費の一部を市が負担するなどの支援	実績	・防災士養成 5人
	評価	・HPやCATV文字放送を活用し、広く周知することができた。	課題と改善策	・申込者が少ない場合は、自主防災会へ働きかけるなどにより、防災士の養成を促す。

関連の深い事務事業名	・防災支援事業
------------	---------

R3	予定	・香川大学が実施する防災士養成講座への申込や必要経費の一部を市が負担するなどの支援	実績	・防災士養成 6人
	評価	・HPやCATV文字放送を活用し、広く周知することができた。	課題と改善策	・申込者が少ない場合は、自主防災会へ働きかけるなどにより、防災士の養成を促す。

関連の深い事務事業名	・防災支援事業
------------	---------

R4	予定	市単独による防災士養成講座を開催するとともに、香川大学が実施する防災士養成講座への申込や必要経費の一部を市が負担するなどの支援	実績	・防災士養成 香川大学主催 3人 さぬき市主催 43人 計46人
	評価	・HPやCATV文字放送を活用し、広く周知することができた。 ・支会長会で受講生を推薦してもらおうよう依頼するとともに、自主防災組織に対し案内することで多くの方に参加していただいた。	課題と改善策	・市主催の防災士養成講座を定期的を開催することが防災士養成に繋がるが、多額の費用が必要となるため、隔年で実施するなど工夫が必要と考える。

関連の深い事務事業名	・防災支援事業
------------	---------

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票

担当課	危機管理課
-----	-------

施策体系	基本目標	基本施策	具体的な施策
	4生きがいをもって、安心して住み続けられる地域社会をつくる	(3)災害に強いまちづくり	地域防災、減災体制の強化と向上

R5	予定	香川大学が実施する防災士養成講座への申込や必要経費の一部を市が負担するなどの支援	実績	・防災士養成講座 香川大学主催 8人
	評価	・HPやCATV文字放送を活用し、広く周知することができた。 ・支会長等から受講について周知してもらい多くの方に受講していただいた。	課題と改善策	・市主催の防災士養成講座を定期的を開催することが防災士養成に繋がるが、多額の費用が必要となるため、隔年で実施するなど工夫が必要と考える。
関連の深い事務事業名		・防災支援事業		

R6	予定	香川大学が実施する防災士養成講座への申込や必要経費の一部を市が負担するなどの支援	実績	・防災士養成講座 香川大学主催 8人受講:7名資格取得
	評価	・市HPや市公式LINEを活用し、広く周知することができた。 ・支会長等から受講について周知してもらい多くの方に受講していただいた。	課題と改善策	・市主催の防災士養成講座を定期的を開催することが防災士養成に繋がるが、多額の費用が必要となるため、隔年で実施するなど工夫が必要と考える。
関連の深い事務事業名		・防災支援事業		

本施策のKPI	単位		H30現状値	R2	R3	R4	R5	R6	最終年度 に対する 達成率と 評価
防災士資格取得者数 ※防災士資格取得者数の累計	人	計画値	—	80	85	90	95	100	
		実績値	75	87	93	139	147	154	
		達成率%	—	109	109	154	155	154	154
		評価	—	A	A	A	A	A	A